

II. 病院経営管理指標に関する調査研究結果

1. 平成 27 年度病院経営管理指標データからみた病院経営の概況

平成 27 年度の指標の詳細については、別冊「平成 27 年度病院経営管理指標」を参照されたい。以下ではこの指標データを用いて、その概況を述べる。

※有効回答が 5 以下の項目には表中に網掛けをしている。

(1) 回答病院の概況

本調査の集計対象病院は、病院種別では一般病院が 651 病院（49.2%）と最も多く、約半数を一般病院が占めている。

また、開設者別では医療法人立が 749 病院（56.7%）と最も多い。

図表 II-1 病院種別・開設者別病院数

（単位：病院）

	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	合計	構成割合
医療法人	233	239	162	115	749	56.7%
自治体	319	92	9	29	449	40.0%
旧社会保険関係団体	25	5			30	2.3%
その他公的	74	16	3	1	94	7.1%
合計	651	352	174	145	1,322	100%
構成割合	49.2%	26.6%	13.2%	11.0%	100%	

(2) 平均病床数

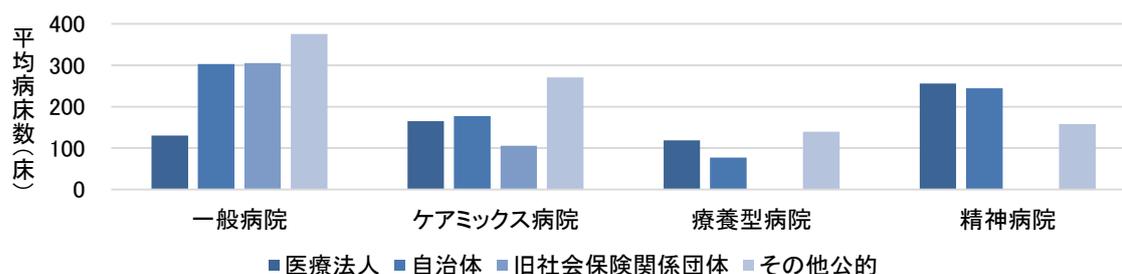
一般病院の平均病床数を開設者別で集計すると、医療法人立病院の 130.4 床に対し、自治体立、旧社会保険関係団体立、その他公的に分類される公的病院では 300 床以上である。

一方で療養型病院、精神科病院では自治体立病院より医療法人立病院の方が、病床数の多い病院からの回答が多い。

図表 II-2 病院種別・開設者別平均病床数(稼働病床数)

（単位：床）

	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	合計
医療法人	130.4	165.0	118.9	256.2	158.1
自治体	302.8	177.0	77.0	244.6	269.6
旧社会保険関係団体	305.2	105.3			277.6
その他公的	375.8	270.5	139.7	158.0	351.5
合計	249.7	171.4	117.1	253.2	212.6



(3) 黒字病院比率

経常損益が黒字の病院の比率は医療法人立病院の 70.2%、旧社会保険関係団体立病院の 75.9%に対して、自治体立病院が 45.9%、その他公的病院が 45.6%であり、黒字病院が少ない（前年度と同様の傾向）。

なお、自治体は一般会計からの繰入金が医業外収益として扱われるため、医業本体の経営状況は経常利益率よりも医業利益率の方が実態を表している。医業収益における黒字病院の比率は医療法人立病院が 64.8%、旧社会保険関係団体立病院が 51.7%、その他公的病院が 36.7%、自治体立病院が 12.1%となり、自治体立の黒字病院が少ないことがわかる。

図表Ⅱ-3 病院種別・開設者別黒字病院の比率(経常利益)

(単位：%)

開設者	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院		精神科病院		合計	
	黒字	回答数	黒字	回答数	黒字	回答数	黒字	回答数	黒字	回答数
医療法人	67.8%	211	69.5%	220	67.3%	147	80.2%	111	70.2%	689
自治体	46.0%	298	40.0%	90	55.6%	9	60.7%	28	45.9%	425
旧社会保険関係団体	80.0%	25	50.0%	4		0		0	75.9%	29
その他公的	47.2%	72	33.3%	15	100%	2	0.0%	1	45.6%	90
合計	55.1%	606	59.6%	329	67.1%	158	75.7%	140	60.2%	1,233

図表Ⅱ-4 病院種別・開設者別黒字病院の比率(医業利益)

(単位：%)

開設者	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院		精神科病院		合計	
	黒字	回答数	黒字	回答数	黒字	回答数	黒字	回答数	黒字	回答数
医療法人	62.9%	213	63.6%	220	63.1%	149	73.2%	112	64.8%	694
自治体	15.3%	295	2.2%	89	0.0%	9	14.3%	28	12.1%	421
旧社会保険関係団体	56.0%	25	25.0%	4		0		0	51.7%	29
その他公的	37.5%	72	26.7%	15	100%	2	0.0%	1	36.7%	90
合計	36.4%	605	44.8%	328	60.0%	160	61.0%	141	44.5%	1,234

(注) 有効回答のみを集計対象としているため、上表とは合計数が一致しない。

(4) 一般病院間比較

我が国の病院の過半は一般病院である。厚生労働省の医療施設調査等では一般病床を有する病院を一般病院と定義しているが、本調査では一般病床が病床全体の80%以上を占める病院と定義している。

一般病床は精神病床や療養病床等の病床以外のその他の病床であり、機能が不明確であることから、一般病床から構成される一般病院も、その機能が曖昧である。

そこで、この一般病院がどのような機能を有しているのかを把握するため機能別に分類し、次にその機能別にどのような経営状況にあるのか、総数の多い医療法人において確認する。機能別分類に何をを用いるかは議論の分かれるところではあるが、一般的に機能を表す指標として入院患者1人1日あたり入院収益（以下、入院単価）、平均在院日数、看護配置が利用されるため、この3点について分類するとともに、さらに全身麻酔手術患者数別も加えてそれぞれ分類した。

以降の表の一部において相関分析を行っており、表の右横に r （相関係数）が示してある場合、この値（プラス・マイナスに関わらない絶対値）が大きいほど相関が強いことを意味する。また、 p は有意確率を示し、この値が 0.05 未満である場合、有意な相関があると言える。相関係数が相対的に高いケースで有意確率が 0.05 未満の場合のみ、該当する指標の右横に r 、 p の数値を示した。なお、入院単価のような数値ではなく看護配置基準の分類をベースとしているようなものは、相関分析ではなく、区分間ごと（例えば看護配置 7 対 1、看護配置 10 対 1 等）と各指標間の統計的検定¹を行った。 p の値が 0.05 未満である場合、区分間ごとに統計的に有意な差があると言える。統計的有意差があるものにだけ該当する指標の右横に p の数値を示している。

① 入院単価別比較

急性期病院の特色が強く出ると考えられる指標として、平均在院日数、医師 1 人当たり入院患者数、看護師 1 人あたり入院患者数、職員 1 人あたり入院患者数、ケアカンファレンス実施率、二次医療圏外からの在院患者数、1 床あたり固定資産額を取り上げた（図表Ⅱ-5）。

入院単価が 3 万円未満の病院では平均在院日数が 39.6 日に対して、7 万円以上の病院では 8.8 日であり、4.5 倍の開きがある。入院単価が高い病院ほど平均在院日数が短くなる相関関係がある（ $r=-0.463$ ）。

医師 1 人あたり入院患者数は、入院単価が 3 万円未満の病院での 7.3 人に対して、7 万円以上の病院では 2.7 人であり、入院単価が高いほど医師 1 人あたりの入院患者数は少ない関係がある（ $r=-0.477$ ）。看護師 1 人あたり入院患者数（ $r=-0.550$ ）、職員 1 人あたりの入院患者数（ $r=-0.471$ ）でも同様の傾向が見られる。

ケアカンファレンスの実施率は入院単価とは反比例していることがわかる（ $r=-0.351$ ）。

二次医療圏外からの在院患者数割合は、入院単価が 3 万円未満の病院では 10.2% であるが、7 万円以上の病院では 26.8% と 2.9 倍の差がある。また、入院単価が高いほど二次医療圏外からの在院患者数が多い傾向がある（ $r=0.305$ ）。

1 床あたりの固定資産額と入院単価にも一定の相関が見られ（ $r=0.431$ ）、入院単価が 3 万円未満の病院では 10,687 千円であるのに対し、7 万円以上の病院では 26,339 千円であり、単価の高い病院は設備や機器に投資していることが窺える。

これら機能性指標、安全性指標の多くは、入院単価が高いほど急性期機能が強くなることを示唆している。

一方、収益性指標である材料費比率とは正の相関（ $r=0.404$ ）、固定費比率、人件費比率とは負の相関（それぞれ $r=-0.339$ 、 $r=-0.396$ ）が見られる。

また、入院単価と平均稼働病床数にも相関があり、病床数が多い病院ほど入院単価が高い傾向がある（ $r=0.310$ ）。

¹ 2 群間 ; Mann-Whitney 検定、3 群間以上 ; Kruskal-Wallis 検定

図表Ⅱ-5 入院単価別比較(医療法人・一般病院)

	(病院数) (平均稼働病床数)	一般病院				r=0.310	p=0.000
		医療法人					
		3万円未満 (34)	3万円以上～ 5万円未満 (79)	5万円以上～ 7万円未満 (52)	7万円以上 (16)		
収益性							
医業利益率	(%)	-2.0	2.2	1.2	5.1	r=0.191	p=0.010
総資本医業利益率	(%)	0.2	3.7	3.3	2.9		
経常利益率	(%)	-2.1	2.8	2.0	4.1	r=0.165	p=0.027
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	1.1	6.6	6.6	10.5	r=0.268	p=0.000
病床利用率	(%)	77.6	81.2	81.1	73.3		
固定費比率	(%)	67.5	65.2	61.9	52.4	r=-0.339	p=0.000
材料費比率	(%)	15.5	17.1	20.8	27.5	r=0.404	p=0.000
医薬品費比率	(%)	9.0	9.0	9.4	11.1		
人件費比率	(%)	58.5	56.4	51.9	42.9	r=-0.396	p=0.000
委託費比率	(%)	6.6	6.1	5.0	3.9	r=-0.247	p=0.001
設備関係費比率	(%)	8.2	8.0	9.2	8.8		
減価償却費比率	(%)	3.5	4.4	5.3	5.4	r=0.213	p=0.004
経費比率	(%)	8.3	8.0	6.8	8.6		
金利負担率	(%)	0.6	0.7	0.8	0.7		
総資本回転率	(%)	117.8	123.7	117.3	117.8		
固定資産回転率	(%)	181.2	206.7	207.7	200.5		
医師人件費比率	(%)	14.7	13.7	13.7	15.4		
常勤医師人件費比率	(%)	10.8	9.8	10.9	12.8		
非常勤医師人件費比率	(%)	5.1	5.0	3.3	3.1	r=-0.321	p=0.000
看護師人件費比率	(%)	21.9	17.4	17.6	12.9	r=-0.331	p=0.000
常勤看護師人件費比率	(%)	20.0	17.1	17.1	12.4	r=-0.308	p=0.000
非常勤看護師人件費比率	(%)	3.4	1.4	0.8	0.9	r=-0.449	p=0.000
その他職員人件費比率	(%)	18.8	18.0	15.4	12.5	r=-0.224	p=0.006
常勤その他職員人件費比率	(%)	18.3	17.7	14.8	11.9	r=-0.237	p=0.004
非常勤その他職員人件費比率	(%)	2.0	1.3	0.9	0.9		
常勤医師1人あたり人件費	(千円)	21,132	19,783	19,864	20,414		
常勤看護師1人あたり人件費	(千円)	5,073	5,167	5,192	4,928		
職員1人あたり人件費	(千円)	6,599	6,562	6,550	6,810		
職員1人あたり医業収益	(千円)	11,354	11,945	12,698	16,415	r=0.308	p=0.000
1床あたり医業収益	(千円)	14,451	19,302	26,866	36,046	r=0.613	p=0.000
安全性							
自己資本比率	(%)	43.9	26.3	26.5	41.0		
固定長期適合率	(%)	74.7	78.1	94.5	76.4		
借入金比率	(%)	43.2	47.9	51.5	84.0		
償還期間	(年)	9.0	9.2	9.6	12.9		
流動比率	(%)	337.7	314.4	279.0	446.5		
1床あたり固定資産額	(千円)	10,687	13,089	16,363	26,339	r=0.431	p=0.000
償却金利前経常利益率	(%)	1.8	7.6	7.5	10.7	r=0.252	p=0.001
機能性							
平均在院日数	(日)	39.6	25.8	14.0	8.8	r=-0.463	p=0.000
外来/入院比	(倍)	2.0	2.2	2.6	6.7	r=0.194	p=0.010
1床あたり1日平均外来患者数	(人)	1.5	1.5	1.5	1.8		
患者1人1日あたり入院収益	(円)	23,862	39,272	58,502	91,262	-	-
患者1人1日あたり入院収益(室料差額除く)	(円)	23,425	38,352	57,457	88,962	r=0.999	p=0.000
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	12,036	11,821	12,961	15,665	r=0.167	p=0.027
医師1人あたり入院患者数	(人)	7.3	6.5	4.4	2.7	r=-0.477	p=0.000
医師1人あたり外来患者数	(人)	12.0	11.3	8.9	9.4	r=-0.194	p=0.010
看護師1人あたり入院患者数	(人)	1.4	1.2	0.9	0.7	r=-0.550	p=0.000
看護師1人あたり外来患者数	(人)	2.5	2.3	1.9	3.2		
職員1人あたり入院患者数	(人)	0.6	0.5	0.4	0.3	r=-0.471	p=0.000
職員1人あたり外来患者数	(人)	1.1	1.0	0.8	1.1		
ケアカンファレンス実施率	(%)	9.1	8.0	2.6	0.3	r=-0.351	p=0.012
紹介率	(%)	26.3	42.4	70.1	71.4	r=0.302	p=0.001
逆紹介率	(%)	17.3	21.1	31.2	29.3	r=0.244	p=0.007
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	(%)	12.1	12.7	17.2	16.0	r=0.288	p=0.008
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	(%)	24.8	14.8	18.3			
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	91.2	83.2	84.2	77.7	r=-0.286	p=0.026
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	10.2	17.1	16.0	26.8	r=0.305	p=0.020
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	6.2	16.5	18.3	29.3	r=0.292	p=0.042

② 平均在院日数別比較

医療法人の一般病院について、平均在院日数別に各指標を算出したのが右の表である。

収益性指標では病床利用率 ($r=0.330$) と看護師人件費比率 ($r=0.399$) に正の相関が見られ、材料費比率 ($r=-0.341$)、1床あたり医業収益 ($r=-0.447$) は負の相関が見られる。機能性指標では医師1人あたり入院患者数 ($r=0.627$)、看護師1人あたり入院患者数 ($r=0.661$)、職員1人あたり入院患者数 ($r=0.541$) に正の相関が見られ、看護必要度の高い患者割合（一般病棟） ($r=-0.471$)、患者1人1日あたり入院収益 ($r=-0.463$) には負の相関が見られる。医業利益率や経常利益率にはその傾向は見られないが、平均在院日数が短いと入院単価が高く、看護師人件費比率が低下する傾向が見られる。

図表Ⅱ-6 平均在院日数別比較(医療法人・一般病院)

	(病院数)	一般病院					r=	p=
		医療法人						
		10日未満	10日以上～ 15日未満	15日以上～ 20日未満	20日以上～ 25日未満	25日以上		
(平均稼働病床数)	(39)	(44)	(57)	(23)	(61)			
		(77.2)	(212.8)	(136.2)	(133.1)	(105.2)		
収益性								
医業利益率	(%)	1.9	1.1	-0.6	0.7	0.6		
総資本医業利益率	(%)	3.7	2.8	-0.5	1.5	4.0		
経常利益率	(%)	4.7	1.9	-0.4	1.1	1.4		
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	9.5	5.8	4.0	4.9	4.5		
病床利用率	(%)	52.2	82.1	78.0	81.6	82.8	r=0.330	p=0.000
固定費比率	(%)	55.6	61.4	59.7	67.7	67.4	r=0.230	p=0.001
材料費比率	(%)	18.1	23.6	21.0	16.1	13.9	r=-0.341	p=0.000
医薬品費比率	(%)	10.0	11.8	10.7	8.3	7.2	r=-0.238	p=0.001
人件費比率	(%)	46.9	52.4	52.1	59.3	58.3	r=0.263	p=0.000
委託費比率	(%)	5.1	5.3	5.9	5.7	5.7		
設備関係費比率	(%)	7.7	8.5	8.0	7.9	8.2		
減価償却費比率	(%)	4.7	4.7	4.8	4.4	3.8	r=-0.224	p=0.002
経費比率	(%)	10.6	6.6	7.6	7.9	8.7		
金利負担率	(%)	0.8	0.6	0.8	0.6	0.8		
総資本回転率	(%)	111.3	132.6	107.1	114.5	121.6		
固定資産回転率	(%)	170.7	197.4	203.6	179.2	240.3	r=0.218	p=0.003
医師人件費率	(%)	12.3	14.9	13.9	14.4	13.3		
常勤医師人件費率	(%)	8.9	12.4	10.1	10.5	9.7		
非常勤医師人件費率	(%)	4.2	3.4	4.9	4.5	4.4		
看護師人件費率	(%)	12.9	16.4	18.2	19.1	20.1	r=0.399	p=0.000
常勤看護師人件費率	(%)	11.9	16.7	17.0	18.5	19.1	r=0.411	p=0.000
非常勤看護師人件費率	(%)	1.5	0.9	1.4	1.1	2.0	r=0.295	p=0.006
その他職員人件費比率	(%)	16	13	19	18	20		
常勤その他職員人件費比率	(%)	15	13	18	18	19		
非常勤その他職員人件費比率	(%)	1	1	2	1	1		
常勤医師1人あたり人件費	(千円)	18,147	19,450	20,531	19,439	19,615		
常勤看護師1人あたり人件費	(千円)	4,774	5,297	5,283	4,736	5,115		
職員1人あたり人件費	(千円)	7,242	6,932	6,593	6,448	6,325		
職員1人あたり医業収益	(千円)	15,227	13,471	12,351	11,034	10,740	r=-0.229	p=0.001
1床あたり医業収益	(千円)	29,494	27,968	21,214	18,219	14,523	r=-0.447	p=0.000
安全性								
自己資本比率	(%)	36.7	26.3	27.8	31.9	33.4		
固定長期適合率	(%)	60.8	81.0	101.3	74.7	64.6		
借入金比率	(%)	68.0	38.7	46.6	44.5	61.0		
償還期間	(年)	7.0	12.2	15.7	9.7	11.0		
流動比率	(%)	386.0	272.0	278.5	356.0	341.1		
1床あたり固定資産額	(千円)	21,646	15,330	14,261	13,926	10,952	r=-0.344	p=0.000
償却金利前経常利益率	(%)	9.7	6.9	4.7	5.8	5.4		
機能性								
平均在院日数	(日)	5.5	12.6	17.2	22.3	45.1	-	-
外来/入院比	(倍)	11.0	2.6	2.2	1.7	1.5	r=0.285	p=0.000
1床あたり1日平均外来患者数	(人)	2.3	1.8	1.6	1.3	1.2	r=-0.349	p=0.000
患者1人1日あたり入院収益	(円)	69,669	57,878	43,221	38,843	32,765	r=-0.463	p=0.000
患者1人1日あたり入院収益(室料差額除く)	(円)	67,646	56,616	42,335	38,179	32,251	r=-0.455	p=0.000
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	11,096	15,493	13,102	11,340	9,483		
医師1人あたり入院患者数	(人)	2.7	3.9	5.6	6.6	8.0	r=0.627	p=0.000
医師1人あたり外来患者数	(人)	15.2	9.7	11.2	10.6	10.1	r=-0.196	p=0.004
看護師1人あたり入院患者数	(人)	0.6	0.9	1.1	1.0	1.4	r=0.661	p=0.000
看護師1人あたり外来患者数	(人)	4.3	2.1	2.3	1.8	2.1	r=-0.257	p=0.000
職員1人あたり入院患者数	(人)	0.3	0.4	0.5	0.5	0.6	r=0.541	p=0.000
職員1人あたり外来患者数	(人)	1.4	1.0	1.0	0.8	0.9	r=-0.228	p=0.001
ケアカンファレンス実施率	(%)	7.4	2.1	2.5	13.2	8.5		
紹介率	(%)	41.3	72.0	51.9	42.1	35.4	r=-0.238	p=0.004
逆紹介率	(%)	19.9	31.2	22.6	17.2	20.3		
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	(%)	16.9	17.1	14.1	12.8	7.0	r=-0.471	p=0.000
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	(%)		21.6	14.2	6.7	18.3		
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	83.3	78.2	88.8	69.9	88.6		
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	19.0	18.4	10.4	17.3	14.2		
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	16.6	26.1	8.5	11.9	26.3	r=0.301	p=0.024

③ 看護師配置別比較

医療法人の一般病院について、一般病院入院基本料から看護師配置別（7対1、10対1、13対1、15対1）に各指標を算出したのが右の表である。

病床規模を表す平均稼働病床数と比較すると、病床規模の大きな病院ほど看護師配置が手厚い。

収益性指標では看護師配置が手厚い病院ほど減価償却費比率が高い傾向が見られる。また、15：1の病院では非常勤医師人件費比率が高い。医業利益率や経常利益率は有意な差ではないものの15：1の病院で特に低い。

安全性指標である1床あたり固定資産額は看護師配置が手厚い病院ほど高い傾向が見られる。

機能性指標は看護師配置により有意な差が見られ、看護師配置の手厚い病院ほど平均在院日数が短い、入院単価が高い等、急性期病院としての特色が出ている。

図表Ⅱ-7 看護師配置別比較(医療法人・一般病院)

	(病院数) (平均稼働病床数)	一般病院				p=0.000
		医療法人				
		7対1 (72) (226.6)	10対1 (101) (101.7)	13対1 (2) (68.9)	15対1 (27) (53.4)	
収益性						
医業利益率	(%)	1.3	-0.2	3.2	-2.8	
総資本医業利益率	(%)	2.3	1.3	9.6	-0.4	
経常利益率	(%)	1.9	1.6	3.5	-3.2	
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	6.6	4.8	7.2	0.7	p=0.010
病床利用率	(%)	81.1	74.5	69.2	75.8	p=0.028
固定費比率	(%)	62.2	62.2	56.3	66.1	
材料費比率	(%)	22.6	17.1	15.1	16.5	p=0.000
医薬品費比率	(%)	10.6	9.2	9.1	8.8	
人件費比率	(%)	52.6	54.2	49.5	57.2	p=0.031
委託費比率	(%)	5.3	5.6	6.3	5.5	
設備関係費比率	(%)	8.9	7.8	6.4	8.3	
減価償却費比率	(%)	5.3	4.2	3.4	3.4	p=0.000
経費比率	(%)	6.3	9.0	9.1	9.1	p=0.000
金利負担率	(%)	0.8	0.7	0.6	0.6	
総資本回転率	(%)	124.4	113.3	123.8	117.7	
固定資産回転率	(%)	202.7	200.4	203.1	236.2	
医師人件費率	(%)	14.3	13.5	11.3	14.8	
常勤医師人件費率	(%)	11.3	9.8	8.3	10.7	
非常勤医師人件費率	(%)	3.5	4.7	3.8	6.4	p=0.010
看護師人件費率	(%)	17.3	17.9	20.5	18.3	
常勤看護師人件費率	(%)	16.8	17.1	19.8	17.4	
非常勤看護師人件費率	(%)	1.2	1.2	2.1	3.9	
その他職員人件費比率	(%)	14.5	18.4	18.0	19.0	p=0.008
常勤その他職員人件費比率	(%)	13.8	18.1	17.7	18.4	p=0.004
非常勤その他職員人件費比率	(%)	1.3	1.0	0.9	3.1	
常勤医師1人あたり人件費	(千円)	19,127	20,254	21,104	17,553	
常勤看護師1人あたり人件費	(千円)	5,024	5,245	5,793	4,891	
職員1人あたり人件費	(千円)	6,555	6,846	7,094	6,420	
職員1人あたり医業収益	(千円)	12,841	12,543	13,255	10,992	p=0.043
1床あたり医業収益	(千円)	26,845	21,309	16,401	12,774	p=0.000
安全性						
自己資本比率	(%)	24.5	30.1	53.2	44.0	
固定長期適合率	(%)	97.3	70.1	70.4	72.5	
借入金比率	(%)	52.8	47.8	36.2	50.6	
償還期間	(年)	10.8	8.4	5.1	14.2	
流動比率	(%)	289.0	298.8	353.3	348.1	
1床あたり固定資産額	(千円)	16,732	15,332	11,938	8,100	p=0.000
償却金利前経常利益率	(%)	8.0	5.8	5.8	0.5	p=0.001
機能性						
平均在院日数	(日)	15.0	19.9	31.8	39.7	p=0.000
外来/入院比	(倍)	2.0	3.6	5.8	2.2	
1床あたり1日平均外来患者数	(人)	1.5	1.6	1.6	1.6	
患者1人1日あたり入院収益	(円)	58,869	42,539	34,909	24,744	p=0.000
患者1人1日あたり入院収益(室料差額除く)	(円)	57,743	41,649	34,012	24,187	p=0.000
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	14,223	11,318	14,524	7,975	p=0.000
医師1人あたり入院患者数	(人)	4.4	5.7	6.9	6.5	p=0.000
医師1人あたり外来患者数	(人)	7.7	12.7	13.5	13.0	p=0.000
看護師1人あたり入院患者数	(人)	0.9	1.0	1.2	1.4	p=0.000
看護師1人あたり外来患者数	(人)	1.7	2.8	2.8	3.0	p=0.000
職員1人あたり入院患者数	(人)	0.4	0.5	0.5	0.6	p=0.000
職員1人あたり外来患者数	(人)	0.8	1.1	1.2	1.4	p=0.000
ケアカンファレンス実施率	(%)	3.8	7.9	0.9	9.8	
紹介率	(%)	69.9	39.6	28.4	18.8	p=0.000
逆紹介率	(%)	29.2	20.3	15.3	16.4	p=0.007
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	(%)	17.2	11.9	10.4	2.9	p=0.000
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	(%)	16.6	15.4	0.3	17.6	
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	82.0	80.4	94.9	90.2	
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	18.3	13.1	5.1	12.2	
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	22.8	13.7	3.5	31.9	

④ 全身麻酔手術患者数別

医療法人の一般病院を対象に、全身麻酔手術患者数別に指標を算出したのが右の表である。

まず目を引くのが機能性指標の患者1人1日あたり入院収益（入院単価）であり、全身麻酔手術件数が多いほど入院単価が高く、正の相関が見られる（ $r=0.598$ ）。

収益性指標では全身麻酔手術患者数と材料費比率（ $r=0.415$ ）、1床あたり医業収益（ $r=0.446$ ）に正の相関が見られる一方で、経費比率（ $r=-0.308$ ）、非常勤医師人件費比率（ $r=-0.321$ ）、非常勤看護師人件費比率（ $r=-0.343$ ）とは負の相関が見られる。また、医業利益率や経常利益率は400人以上～800人未満までは全身麻酔患者数が多いほど利益率が高まるがそれ以上全身麻酔手術件数が増えると逆に収益率が低下する傾向が見られる。

機能性指標では全身麻酔手術患者数と紹介率（ $r=0.496$ ）、逆紹介率（ $r=0.352$ ）、二次医療圏外からの在院患者割合（ $r=0.392$ ）と弱い正の相関があり、医師1人あたり入院患者数（ $r=-0.327$ ）とも弱い負の相関がある。

以上より、全身麻酔患者数が多いほど急性期機能の強さをよく表わしている。

図表Ⅱ-8 全身麻酔手術患者数別(医療法人・一般病院)

	(病院数)	一般病院					r=0.737	p=0.000
		医療法人						
		100人未満	100人以上~400人未満	400人以上~800人未満	800人以上~1,200人未満	1,200人以上		
(平均稼働病床数)	(73)	(41)	(26)	(17)	(29)			
収益性								
医業利益率	(%)	-0.5	1.6	2.3	1.8	-0.1		
総資本医業利益率	(%)	1.7	2.4	4.6	2.6	0.2		
経常利益率	(%)	1.3	1.8	3.0	2.2	0.9		
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	5.2	5.9	6.9	6.0	5.6		
病床利用率	(%)	74.5	74.9	76.5	85.4	85.4	r=0.210	p=0.004
固定費比率	(%)	64.1	61.4	62.9	59.2	61.2		
材料費比率	(%)	14.8	18.2	20.8	19.2	25.4	r=0.415	p=0.000
医薬品費比率	(%)	8.7	9.5	11.3	6.8	11.5		
人件費比率	(%)	56.0	53.2	53.7	50.6	50.9	r=-0.172	p=0.024
委託費比率	(%)	5.6	6.1	5.3	4.7	4.8		
設備関係費比率	(%)	8.3	7.6	8.6	7.8	9.5		
減価償却費比率	(%)	4.3	4.5	4.6	4.0	5.7		
経費比率	(%)	8.7	9.3	6.8	7.9	5.4	r=-0.308	p=0.000
金利負担率	(%)	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8		
総資本回転率	(%)	110.1	114.5	142.2	129.4	120.1		
固定資産回転率	(%)	199.9	205.3	214.4	268.4	167.9		
医師人件費率	(%)	13.5	13.1	14.8	13.4	15.0		
常勤医師人件費率	(%)	9.7	9.1	11.2	10.7	12.8	r=0.294	p=0.001
非常勤医師人件費率	(%)	5.1	4.6	4.9	3.2	2.5	r=-0.321	p=0.001
看護師人件費率	(%)	18.4	19.2	16.0	17.9	16.9		
常勤看護師人件費率	(%)	17.7	17.3	16.0	17.5	16.5		
非常勤看護師人件費率	(%)	1.8	1.6	1.3	0.6	0.7	r=-0.343	p=0.003
その他職員人件費比率	(%)	18.5	16.9	16.3	14.9	13.4	r=-0.212	p=0.013
常勤その他職員人件費比率	(%)	18.1	16.1	16.6	14.8	12.5	r=-0.225	p=0.009
非常勤その他職員人件費比率	(%)	1.1	1.3	0.9	0.2	1.2		
常勤医師1人あたり人件費	(千円)	19,514	19,263	22,804	19,357	17,727		
常勤看護師1人あたり人件費	(千円)	4,849	5,143	5,367	5,696	5,039		
職員1人あたり人件費	(千円)	6,418	6,834	6,855	6,830	6,492		
職員1人あたり医業収益	(千円)	11,278	12,903	13,008	12,974	13,087	r=0.166	p=0.029
1床あたり医業収益	(千円)	18,069	20,573	23,050	26,410	30,252	r=0.446	p=0.000
安全性								
自己資本比率	(%)	37.7	31.1	28.9	7.7	28.9		
固定長期適合率	(%)	61.2	68.1	83.5	76.0	131.5	r=0.180	p=0.030
借入金比率	(%)	53.1	40.4	39.9	54.2	52.6		
償還期間	(年)	10.3	19.5	6.1	13.6	12.3		
流動比率	(%)	381.6	322.8	291.6	273.0	201.5		
1床あたり固定資産額	(千円)	12,186	14,907	12,753	13,655	19,896	r=0.247	p=0.003
償却金利前経常利益率	(%)	5.4	6.3	8.3	6.6	7.0		
機能性								
平均在院日数	(日)	30.4	18.5	17.4	16.8	13.5	r=-0.252	p=0.001
外来/入院比	(倍)	5.1	3.2	2.5	2.3	1.9		
1床あたり1日平均外来患者数	(人)	1.6	1.4	1.7	1.5	1.4		
患者1人1日あたり入院収益	(円)	34,097	45,341	46,859	54,998	64,775	r=0.598	p=0.000
患者1人1日あたり入院収益(室料差額除く)	(円)	33,325	44,526	45,764	54,044	63,553	r=0.593	p=0.000
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	9,545	12,177	12,651	12,581	14,550	r=0.268	p=0.001
医師1人あたり入院患者数	(人)	6.4	6.0	4.8	5.0	3.6	r=-0.327	p=0.000
医師1人あたり外来患者数	(人)	13.2	11.4	10.5	8.6	6.3	r=-0.346	p=0.000
看護師1人あたり入院患者数	(人)	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9	r=-0.202	p=0.006
看護師1人あたり外来患者数	(人)	2.9	2.6	2.4	2.1	1.6	r=-0.192	p=0.009
職員1人あたり入院患者数	(人)	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	r=-0.191	p=0.010
職員1人あたり外来患者数	(人)	1.1	1.0	1.0	0.9	0.7	r=-0.212	p=0.004
ケアカンファレンス実施率	(%)	8.7	9.2	1.4	5.6	1.8		
紹介率	(%)	29.7	45.2	47.3	61.2	89.8	r=0.496	p=0.000
逆紹介率	(%)	18.2	19.2	18.8	32.1	36.1	r=0.352	p=0.000
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	(%)	13.8	12.4	13.4	12.5	16.7		
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	(%)	18.8	11.0	22.6	3.1	14.7		
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	86.8	84.1	73.2	79.9	79.9		
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	9.4	9.3	26.8	20.1	20.0	r=0.329	p=0.008
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	16.0	8.4	23.5	24.8	20.1		

(5) 病床規模別比較

① 病床規模別比較

図表Ⅱ-9は開設者別・病院種別の病床規模の分布である。図表Ⅱ-10は開設者別・病院種別・病床規模別の経常利益率を表し、図表Ⅱ-11は病床規模別・病院種別の経常利益率の分布を表している。開設者別・病院種別での病床規模ごとの相関はない（医療法人・精神科病院では $r=0.192$ 、 $p=0.047$ 、自治体・一般病院では $r=0.217$ 、 $p=0.000$ ）。

図表Ⅱ-9 病床規模別比較(病院数)

(単位：病院)

開設者	病床規模別	一般病院	ケアミックス 病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	20～49床	56	4	30	45
	50～99床	83	54	62	
	100～199床	43	117	48	
	200～299床	23	29	13	
	300～399床	17	5	3	
	400床～	9	10	5	
自治体	20～49床	26	3	0	13
	50～99床	36	27	6	
	100～199床	57	37	3	
	200～299床	46	8	0	
	300～399床	53	6	0	
	400床～	100	7	0	
旧社会保険関係団体	20～49床	0	1	0	0
	50～99床	1	2	0	
	100～199床	7	1	0	
	200～299床	7	0	0	
	300～399床	5	0	0	
	400床～	5	0	0	
その他公的	20～49床	2	0	0	1
	50～99床	3	0	0	
	100～199床	11	3	3	
	200～299床	11	4	0	
	300～399床	14	4	0	
	400床～	33	1	0	

図表Ⅱ-10 病床規模別経常利益率

(単位：%)

開設者	病床規模別	一般病院	ケアミックス 病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	20～49床	-0.3	0.5	1.3	2.1
	50～99床	1.9	2.7	2.3	
	100～199床	3.1	2.3	5.3	
	200～299床	1.6	4.6	4.6	
	300～399床	1.5	2.2	7.3	
	400床～	1.4	3.6	5.4	
自治体	20～49床	-4.5	-0.4	—	-5.4
	50～99床	-0.0	-0.9	0.1	
	100～199床	-6.9	-4.6	-3.4	
	200～299床	-2.6	-11.6	—	
	300～399床	-2.6	-8.9	—	
	400床～	-0.6	-9.2	—	
旧社会保険関係団体	20～49床	—	—	—	—
	50～99床	-8.1	-6.2	—	
	100～199床	0.4	0.5	—	
	200～299床	2.3	—	—	
	300～399床	-0.6	—	—	
	400床～	2.4	—	—	
その他公的	20～49床	0.2	—	—	-1.7
	50～99床	-5.0	—	—	
	100～199床	-1.8	2.9	13.6	
	200～299床	-1.0	-3.3	—	
	300～399床	-1.3	0.1	—	
	400床～	0.6	6.9	—	

図表Ⅱ-11 全開設者を対象とした病床規模別経常利益率

(単位：%)

	一般病院	ケアミックス 病院	療養型病院	精神科病院
20～49床	-1.5	0.1	1.3	0.5
50～99床	1.1	1.3	2.1	
100～199床	-2.4	0.6	5.1	
200～299床	-0.9	0.5	4.6	
300～399床	-1.5	-3.0	7.3	
400床～	-0.1	-1.2	5.4	

r=0.156
p=0.040

② 医療法人立の一般病院における病床規模別比較

医療法人立の一般病院に限定し、病床規模別の経常利益及び病院の三大コストである人件費比率、材料費比率、資本費比率（減価償却費比率＋金利負担率）について分析した。

病床規模と一定の相関があるのは、診療材料費比率（図表Ⅱ-14： $r=0.335$ ）のみであり、20～49床の病院では300～399床の病院に比べ6ポイント程度低い。経常利益率含め、その他コスト指標との相関は見られない。

図表Ⅱ-12 経常利益率（医療法人・一般病院）【再掲】

(単位：%)

病床規模別	経常利益率
20～49床	-0.3
50～99床	1.9
100～199床	3.1
200～299床	1.6
300～399床	1.5
400床～	1.4
全病床	1.6

$r=0.036$
 $p=0.608$

図表Ⅱ-13 人件費比率（医療法人・一般病院）

(単位：%)

病床規模別	人件費比率
20～49床	52.5
50～99床	52.9
100～199床	57.5
200～299床	51.5
300～399床	51.1
400床～	51.4
全病床	53.3

$r=-0.045$
 $p=0.519$

図表Ⅱ-14 材料費比率(医薬品費・診療材料費・その他材料)（医療法人・一般病院）

(単位：%)

病床規模別	材料費比率	医薬品費比率	診療材料費比率	その他材料費比率
20～49床	17.8	9.8	6.3	2.4
50～99床	16.8	8.9	6.4	1.8
100～199床	16.9	8.8	6.7	1.8
200～299床	22.4	10.9	11.1	1.5
300～399床	25.0	11.6	12.3	1.2
400床～	23.1	11.3	9.9	1.9
全病床	18.6	9.6	7.6	1.9

$r=0.307$ $r=0.161$ $r=0.335$ $r=-0.107$
 $p=0.000$ $p=0.024$ $p=0.000$ $p=0.148$

図表Ⅱ-15 資本費比率(減価償却費・金利負担率)（医療法人・一般病院）

(単位：%)

病床規模別	資本費比率	減価償却費比率	金利負担率
20～49床	5.3	4.3	0.7
50～99床	5.0	4.2	0.7
100～199床	5.0	4.1	0.7
200～299床	5.9	5.1	0.7
300～399床	6.7	5.6	0.8
400床～	6.4	5.5	0.9
全病床	5.4	4.5	0.7

$r=0.136$ $r=0.146$ $r=0.070$
 $p=0.066$ $p=0.038$ $p=0.326$

2. 回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟に関する分析

平成 26 年から地域包括ケア病棟（床）の基準が設けられたことを受け、本年度調査では回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病棟（病棟単位に限る）に関する調査項目を設けた。両病棟に関する指標は以下の通りである。

(1) 開設者別の病棟設置数

回復期リハビリテーション病棟は回答病院全体の 18%で設置されており、そのうち医療法人立病院では 21%と公的病院より設置率が高い。一方、地域包括ケア病棟は回答病院全体の 20%で設置されており、旧社会保険関係団体立病院で 43%、その他公的病院で 32%と公的病院での設置割合が高い。

図表Ⅱ-16 開設者別回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟設置状況

	病院数	回復期リハビリテーション病棟		地域包括ケア病棟	
		設置病院数	設置割合	設置病院数	設置割合
医療法人	749	161	21%	133	18%
自治体	449	53	12%	95	21%
旧社会保険関係団体	30	6	20%	13	43%
その他公的	94	13	14%	30	32%
全体	1,322	233	18%	271	20%

(2) 開設者別の病棟設置時期

平成 27 年度期初時点で開設後半年以上が経過しているか訊ねたところ、回復期リハビリテーション病棟では 66%が平成 26 年度上期以前から設置されている。また、地域包括ケア病棟は 35%が平成 26 年度の上期以前に設置されている。裏を返せば設置されている回復期リハビリテーション病棟の 34%、地域包括ケア病棟の 65%は平成 26 年度下期以降に設置されている。これらの病棟は近年の増加率が高いことが分かる。

図表Ⅱ-17 回復期リハビリテーション病棟の設置時期

	一般病棟			療養病棟			合計		回答数	
	設置数	開設が 26 年度 上期以前		設置数	開設が 26 年度 上期以前		設置数	開設が 26 年度 上期以前		
医療法人	71	50	70%	99	34	34%	170	112	66%	159
自治体	42	30	71%	10	7	70%	52	37	71%	52
旧社会保険関係団体	6	5	83%	0	0		6	5	83%	6
その他公的	10	4	40%	3	1	33%	13	5	38%	13
全体	129	89	69%	112	70	63%	241	159	66%	230

(注) 双方に設置している病院があるため、設置数の合計と回答数は一致しない

図表Ⅱ-18 地域包括ケア病棟の設置時期

	一般病棟			療養病棟			合計		回答数	
	設置数	開設が 26 年度 上期以前		設置数	開設が 26 年度 上期以前		設置数	開設が 26 年度 上期以前		
医療法人	119	52	44%	15	7	47%	134	59	44%	130
自治体	89	22	25%	2	1	50%	91	23	25%	91
旧社会保険関係団体	13	5	38%	0	0		13	5	38%	13
その他公的	28	5	18%	2	1	50%	30	6	20%	30
全体	249	84	34%	19	9	47%	268	93	35%	264

(注) 双方に設置している病院があるため、設置数の合計と回答数は一致しない

(3) 病棟種別設置数

既出ではあるが、両病棟は一般病棟、療養病棟に設置されている。回復期リハビリテーション病棟は一般病棟への設置が 129 病院 (53.5%)、療養病棟への設置が 112 病院 (46.5%) と大きな差はない。一方で、地域包括ケア病棟では一般病棟への設置が 249 病院 (92.9%)、療養病棟への設置が 19 病院 (7.1%) と一般病棟に設置されているケースが大半である。

なお、一つの病院内で一般病棟、療養病棟の双方に回復期リハビリテーション病棟を持つのは 11 病院、地域包括ケア病棟を持つのは 4 病院である。

図表 II-19 病棟種別の回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟の設置数
(単位：件)

	回復期リハビリテーション病棟		地域包括ケア病棟	
	設置数	割合	設置数	割合
一般病棟	129	53.5%	249	92.9%
療養病棟	112	46.5%	19	7.1%
全体	241		268	

(4) 病床利用率

回復期リハビリテーション病棟の平均病床利用率は 85.0% であり、開設が平成 26 年度上期以前では 83.8%、それ以降では 86.6% と設置時期が新しい方が病床利用率がやや高い。一方、地域包括ケア病棟の平均病床利用率は 62.3% で、開設が平成 26 年度上期以前の場合 70.4% であるが、それ以降の開設の場合は 57.7% と開設間もない病院の利用率が低い。

病床規模別では全病床数との間に相関は見られない (回復期リハビリテーション一般病棟： $r=-0.144$ 等) が、病棟の病床数については、回復期リハビリテーション一般病棟は病床規模が大きいほど病床利用率が高い等、一般的に病床数が多いほど病床利用率が高まるように見える。但し、 $r=-0.051$ 、 $p=0.570$ であり統計的に有意な相関とは言えない。

図表 II-20 回復期リハビリテーション病棟および地域包括ケア病棟の病床利用率
(単位：%)

	開設が 26 年度 上期以前	開設が 26 年度 下期以降	全体
回復期リハビリテーション病棟	83.8	86.6	85.0
地域包括ケア病棟	70.4	57.7	62.3

図表 II-21 病床規模別(全病床)の病床利用率

(単位：%)

病床規模(全病床)	回復期リハビリテーション病棟		地域包括ケア病棟	
	一般病棟 (N=110)	療養病棟 (N=97)	一般病棟 (N=205)	療養病棟 (N=11)
20~49 床	85.4	98.7	45.4	67.4
50~99 床	88.1	91.7	68.1	
100~199 床	89.6	89.1	65.5	74.4
200~299 床	79.9	85.5	56.7	81.2
300~399 床	81.3	84.8	54.3	29.9
400 床~	74.7	85.3	61.3	54.2
	$r=-0.144$ $p=0.132$	$r=-0.144$ $p=0.165$	$r=-0.052$ $p=0.461$	$r=-0.467$ $p=0.173$

図表Ⅱ-22 病床規模別(病棟)の病床利用率

(単位：%)

病床規模(病棟)	回復期リハビリテーション		地域包括ケア病棟	
	一般病棟 (N=111)	療養病棟 (N=97)	一般病棟 (N=205)	療養病棟 (N=10)
20~49床	82.4	84.6	61.8	73.4
50~99床	86.2	91.7	64.5	70.6
100~199床	95.3	94.3	79.9	
200~299床	99.6	89.8		
	r=-0.051 p=0.570	r=-0.125 p=0.192	r=0.047 p=0.499	r=-0.293 p=0.254

また、一般病棟に設置された回復期リハビリテーション病棟では、医師数 (r=-0.122)、看護師数 (r=-0.121)、一般病床の稼働病床数 (r=-0.163) との間に相関は見られない。これは療養病棟に設置された回復期リハビリテーション病棟でも同様の傾向にある。

一方で、地域包括ケア病棟では一般病棟に設置されている場合は各項目との相関は見られないが、療養病棟に設置されている場合、医師数 (r=-0.754) や看護師数 (r=-0.698) と負の相関が見られる(但し、この場合の回答数は11と少ない)。

図表Ⅱ-23 回復期リハビリテーション病棟の病床利用率と概況項目との相関係数

項目	回復期リハビリテーション病棟設置区分			
	一般病棟設置		療養病棟設置	
	r	p	r	p
医師数	-0.122	0.000	-0.145	0.000
看護師数	-0.121	0.000	-0.135	0.000
一般病床の稼働病床数	-0.163	0.000	-0.248	0.000
患者1人1日あたり入院収益	0.045	0.135	0.096	0.001
平均在院日数	0.162	0.000	0.050	0.075
全身麻酔手術患者数	-0.125	0.000	-0.214	0.000
自院以外を交えたカンファレンス記録のある患者数(年間)	0.079	0.071	0.209	0.000
回復期リハ紹介率	-0.015	0.879	-0.020	0.844
回復期リハ平均在院日数	0.032	0.652	0.141	0.046

図表Ⅱ-24 地域包括ケア病棟の病床利用率と概況項目との相関係数

項目	地域包括ケア病棟設置区分			
	一般病棟設置		療養病棟設置	
	r	p	r	p
医師数	-0.057	0.037	-0.754	0.000
看護師数	-0.079	0.004	-0.698	0.000
一般病床の稼働病床数	-0.086	0.005	-0.747	0.000
患者1人1日あたり入院収益	-0.038	0.197	-0.282	0.000
平均在院日数	0.245	0.000	0.298	0.000
全身麻酔手術患者数	-0.009	0.771	-0.580	0.000
自院以外を交えたカンファレンス記録のある患者数(年間)	0.091	0.037	-0.353	0.000
地域包括ケア紹介率	0.005	0.972	0.576	0.000
地域包括ケア平均在院日数	0.200	0.005	0.209	0.003

病院機能別に回復期リハビリテーション、地域包括ケア病棟の病床利用率と患者1人1日あたり入院収益(入院単価)の相関をみると、療養型病院の療養病棟に設置されている回復期リハビリテーション病棟では入院単価が高いと病床利用率が高くなる関係 (r=0.461; 図表Ⅱ-25) にある。また、ケアミックス病院では療養病棟に設置されている回復期リハビリテーション病棟の病床利用率と病院全体の紹介率と弱い負の相関がある (r=-0.319; 図表Ⅱ-27)。

図表Ⅱ-25 回復期リハビリテーション病棟の病床利用率と患者1人1日あたり入院収益の相関

設置病棟区分	病院機能種別					
	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院	
	r	p	r	p	r	p
一般病棟設置（回復期リハビリテーション）	0.029	0.802	0.225	0.241	—	—
療養病棟設置（回復期リハビリテーション）	0.611	0.389	0.155	0.271	0.461	0.014

図表Ⅱ-26 回復期リハビリテーション病棟の病床利用率と回復期リハ病棟への紹介率の相関

設置病棟区分	病院機能種別					
	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院	
	r	p	r	p	r	p
一般病棟設置（回復期リハビリテーション）	0.084	0.643	-0.399	0.225	—	—
療養病棟設置（回復期リハビリテーション）	—	—	-0.196	0.336	0.150	0.439

図表Ⅱ-27 回復期リハビリテーション病棟の病床利用率と紹介率（病院全体）の相関

設置病棟区分	病院機能種別					
	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院	
	r	p	r	p	r	p
一般病棟設置（回復期リハビリテーション）	-0.176	0.164	-0.237	0.314	—	—
療養病棟設置（回復期リハビリテーション）	0.401	0.737	-0.319	0.051	0.054	0.833

図表Ⅱ-28 地域包括ケア病棟の病床利用率と患者1人1日あたり入院収益との相関

設置病棟区分	病院機能種別					
	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院	
	r	p	r	p	r	p
一般病棟設置（地域包括ケア病棟）	-0.005	0.955	0.150	0.205	—	—
療養病棟設置（地域包括ケア病棟）	—	—	0.010	0.983	—	—

図表Ⅱ-29 地域包括ケア病棟の病床利用率と地域包括ケア病棟への紹介率との相関

設置病棟区分	病院機能種別					
	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院	
	r	p	r	p	r	p
一般病棟設置（地域包括ケア病棟）	0.028	0.885	0.071	0.741	—	—
療養病棟設置（地域包括ケア病棟）	—	—	0.512	0.378	—	—

図表Ⅱ-30 地域包括ケア病棟の病床利用率と紹介率（病院全体）との相関

設置病棟区分	病院機能種別					
	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院	
	r	p	r	p	r	p
一般病棟設置（地域包括ケア病棟）	0.030	0.763	-0.108	0.394	—	—
療養病棟設置（地域包括ケア病棟）	—	—	0.231	0.709	—	—

(5) 紹介率

回復期リハビリテーション病棟では全体の紹介率が 83.0%であるが、開設が平成 26 年度上期以前の場合は 77.1%、それ以降の場合は 90.2%である。回復期リハビリテーション病棟が増加したことにより既存施設の紹介率が減少したのかもしれないが、患者獲得方法が変化した可能性もある。

一方、地域包括ケア病棟では紹介率が 64.5%であるが、平成 26 年度上期以前開設の場合は 69.2%、それ以降は 62.1%と新設施設の方がやや低い。

また、紹介率と病床利用率の間に相関は見られない（図表Ⅱ-23、Ⅱ-24）。

図表Ⅱ-31 回復期リハビリテーション病棟および地域包括ケア病棟の紹介率

(単位：%)

	開設が 26 年度上期以前	開設が 26 年度下期以降	全体
回復期リハビリテーション病棟	77.1	90.2	83.0
地域包括ケア病棟	69.2	62.1	64.5

(6) 平均在院日数

回復期リハビリテーション病棟の平均在院日数は 85.8 日、地域包括ケア病棟の平均在院日数は 39.6 日である。

一般病棟に設置されている回復期リハビリテーション病棟の平均在院日数は療養病棟設置より 2.8 日長い。一方、地域包括ケア病棟では療養病棟設置の方が 13.6 日長い。

図表Ⅱ-32 回復期リハビリテーション病棟の平均在院日数

(単位：日)

施設数	回復期リハビリテーション病棟設置区分			全体
	一般病棟設置	療養病棟設置	双方に設置	
	118	101	11	230
回復期リハビリテーション病棟の平均在院日数	87.5	84.7	88.7	85.8

図表Ⅱ-33 地域包括ケア病棟の平均在院日数

(単位：日)

施設数	地域包括ケア病棟設置区分			全体
	一般病棟設置	療養病棟設置	双方に設置	
	245	15	4	264
地域包括ケア病棟の平均在院日数	39.6	53.2	29.5	39.6

(7) 回復期リハビリテーション病棟の有無による経営指標への影響

① 回答病院全体の傾向

回復期リハビリテーション病棟を有する病院は、医業利益率がケアミックス病院では 8.3 ポイント、療養型病院では 3.0 ポイント高い等の影響が見られる。主な経営指標への影響は次の通りである。

医業利益率	ケアミックス病院と療養型病院は統計的に優位な差がある。 一般病院も 1.2 ポイント高いが、統計的に有意な差とは言えない。
病床利用率	一般病院とケアミックス病院は、回復期リハビリテーション病棟を有する方が病床利用率が高い（統計的に有意。以下同）。
患者 1 人 1 日あたり 入院収益	回復期リハビリテーション病棟を有する方が、一般病院では入院単価が 1 割弱下がるものの、ケアミックス病院と療養型病院は単価が相当に上昇する。
看護必要度の高い 患者割合	回復期リハビリテーション病棟を有する病院の一般病棟における看護必要度の高い患者割合は、一般病院とケアミックス病院で相対的に低く、重症で手厚い看護の必要な患者が相対的に少ない病院が多いと推察される。
材料費比率	回復期リハビリテーション病棟を有する一般病院とケアミックス病院では材料費比率も相対的に低く、重症な患者が少ないとの推定を裏付けている。

一見すると、回復期リハビリテーション病棟を設置することで医業利益率、病床利用率等が高くなる効果があるようにも見える。しかし一方で、回復期リハビリテーション病棟を設置する病院と設置しない病院とでは看護必要度の高い患者割合や材料費比率が異なることを勘案すると、設置する病院と設置しない病院では、そもそも提供する医療機能に差異があり、一概に回復期リハビリテーション病棟設置したから医業利益率等が向上したとは言えない。回復期リハビリテーション病棟を設置した病院は、自院の患者構成から病床選択の最適化を図ったと考えられ、これにより利益率等を向上させた可能性がある。また、療養型病院では患者 1 人 1 日あたり入院収益が増加することで利益率が向上した可能性がある（療養型病院の医業収益率 $p=0.068$ ）。なお、平成 28 年度診療報酬改定で重症度、医療看護必要度の基準を満たす患者割合が 7 対 1 入院基本料の病棟では 15% から 25% に引き上げられたため、看護必要度の高い患者の多い病院でも回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟を開設している例もあるようである。

② 開設者別の特性

開設者が自治体、旧社会保険関係団体、その他公的の場合は、回復期リハビリテーション病棟を有する病院の医業利益率が高くなる傾向はほぼ同様であるが、統計的に有意な差があるとは言えない。自治体立の一般病院に限っては、医業利益率が 1.2 ポイント低い。病床利用率も概して高いが、有意な差ではなく、上記の全体の傾向は回復期リハビリテーション病棟が多い医療法人立病院の影響を多分に受けている（図表Ⅱ-35～38）。

図表Ⅱ-34 回復期リハビリテーション病棟有無別、病院機能別の経営管理指標【抜粋】

	全開設者						一般 病院	ケア ミックス 病院	療養型 病院
	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院				
	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし			
(病院数)	(131)	(520)	(109)	(243)	(40)	(134)			
(平均稼働病床数)	(260.0)	(247.1)	(197.5)	(159.2)	(134.1)	(112.0)	p=0.012	p=0.000	
収益性									
収益性									
医業利益率	(%)	-6.7	-7.9	-0.4	-8.7	4.1	1.1	p=0.000	
総資本医業利益率	(%)	-2.8	-4.0	1.7	-3.6	5.6	0.9	p=0.000	
経常利益率	(%)	-0.9	-0.8	2.6	-0.8	4.7	2.8	p=0.003	
償却前医業利益率（補正指標）	(%)	-0.2	-1.2	4.5	-2.4	8.0	4.1	p=0.000	
病床利用率	(%)	78.6	73.4	84.2	79.0	88.1	88.8	p=0.001	
材料費比率	(%)	19.9	23.3	13.3	15.4	6.7	10.9	p=0.000	
医薬品費比率	(%)	11.0	13.5	6.7	8.5	3.6	5.9	p=0.000	
人件費比率	(%)	61.0	57.3	59.8	63.2	59.0	57.6	p=0.001	
職員1人あたり医業収益	(千円)	11,844	13,184	9,605	10,155	8,757	9,143	p=0.000	
1床当たり医業収益	(千円)	19,713	22,440	14,099	11,357	11,787	8,105	p=0.002	
機能性									
平均在院日数	(日)	26.8	22.7	55.3	88.9	134.8	299.8	p=0.000	
外来/入院比	(倍)	1.7	2.7	1.1	1.4	0.5	0.8	p=0.000	
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.1	1.5	0.9	0.9	0.4	0.5	p=0.000	
患者1人1日当たり入院収益	(円)	45,599	48,955	34,051	27,232	30,094	18,981	p=0.000	
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	13,151	13,545	11,423	9,665	10,380	8,265	p=0.000	
医師1人当たり入院患者数	(人)	5.9	4.7	10.8	11.5	15.3	19.9	p=0.000	
医師1人当たり外来患者数	(人)	8.0	9.6	8.8	10.4	5.0	8.3	p=0.026	
ケアカンファレンス実施率	(%)	4.3	4.6	10.2	7.9	25.9	12.5	p=0.003	
紹介率	(%)	78.5	74.5	49.6	50.9	58.3	30.4	p=0.003	
逆紹介率	(%)	37.7	34.6	25.9	20.3	34.8	18.7	p=0.016	
看護必要度の高い患者割合（一般病棟）	(%)	12.4	15.0	7.0	10.0	9.9	1.4	p=0.000	
看護必要度の高い患者割合（回復リハ病棟）	(%)	13.9		11.5		13.6		p=0.001	
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	81.6	81.7	82.8	88.0	82.3	88.3		
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	17.6	16.3	13.8	14.5	15.2	11.7		
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	23.9	20.5	20.9	19.3	20.8	26.9		
回復期リハ病床利用率	(%)	84.1		86.1		84.5			
回復期リハ紹介率	(%)	75.7		82.6		91.8			
回復期リハ平均在院日数	(日)	85.9		88.5		78.3			

図表Ⅱ-35 医療法人の回復期リハビリテーション病棟有無別の経営管理指標【抜粋】

	医療法人						一般 病院	ケア ミックス 病院	療養型 病院
	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院				
	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし			
(病院数)	(51)	(182)	(92)	(147)	(37)	(125)			
(平均稼働病床数)	(193.8)	(112.5)	(180.3)	(154.9)	(133.2)	(114.6)	p=0.000	p=0.000	p=0.029
収益性									
医療利益率	(%)	1.4	0.4	3.5	0.6	4.5	2.2		
総資本医療利益率	(%)	3.1	1.9	3.8	1.8	6.0	1.5	p=0.002	
経常利益率	(%)	2.3	1.3	3.7	1.9	4.9	2.9	p=0.003	
償却前医療利益率(補正指標)	(%)	6.2	5.2	7.8	4.6	8.2	5.2	p=0.020	
病床利用率	(%)	83.3	73.5	85.6	83.5	88.1	88.7	p=0.041	p=0.047
材料費比率	(%)	15.4	19.6	12.4	13.8	7.2	10.7	p=0.000	p=0.001
医薬品費比率	(%)	7.2	10.5	6.2	7.6	3.9	5.9	p=0.003	p=0.000
人件費比率	(%)	58.5	51.7	57.2	56.9	60.4	56.2	p=0.000	p=0.000
職員1人あたり医療収益	(千円)	11,300	12,978	9,477	10,027	8,805	9,198	p=0.001	p=0.007
1床当たり医療収益	(千円)	18,943	22,634	14,249	10,682	11,874	8,119	p=0.003	p=0.023
機能性									
平均在院日数	(日)	31.0	19.9	59.3	128.8	140.1	308.7	p=0.000	p=0.029
外来/入院比	(倍)	1.4	4.0	1.0	1.1	0.6	0.7	p=0.000	p=0.000
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.1	1.7	0.8	0.7	0.5	0.5	p=0.000	p=0.000
患者1人1日当たり入院収益	(円)	44,926	47,065	33,436	25,909	29,994	19,134		
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	11,570	12,811	11,337	9,650	10,589	8,339	p=0.000	p=0.023
医師1人当たり入院患者数	(人)	6.9	5.1	11.2	13.9	14.6	19.9	p=0.000	p=0.002
医師1人当たり外来患者数	(人)	8.1	12.2	8.7	9.4	5.4	8.0	p=0.000	p=0.034
ケアカンファレンス実施率	(%)	4.6	6.5	9.7	8.5	25.9	12.2		
紹介率	(%)	57.0	47.4	48.8	43.3	58.3	30.2	p=0.009	
逆紹介率	(%)	28.5	21.4	24.5	18.2	32.4	18.8		
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	(%)	11.4	15.1	6.3	10.1	9.9	1.4	p=0.006	p=0.013
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	(%)	15.6		11.4		13.6		p=0.013	p=0.008
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	81.0	83.6	83.4	88.2	80.4	89.2		p=0.005
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	16.2	15.5	11.9	14.6	17.3	12.7		
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	21.0	17.5	19.8	24.6	23.7	28.3		
回復期リハ病床利用率	(%)	90.6		86.2		84.1			
回復期リハ紹介率	(%)	82.7		82.1		90.9			
回復期リハ平均在院日数	(日)	85.5		86.5		79.1			

図表Ⅱ-36 自治体の回復期リハビリテーション病棟有無別の経営指標【抜粋】

	自治体						一般 病院	ケア ミックス 病院	療養型 病院
	一般病院		ケアミックス病院		療養型病院				
	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし			
(病院数)	(57)	(262)	(13)	(79)	(2)	(7)			
(平均稼働病床数)	(300.1)	(303.4)	(284.3)	(158.4)	(117.0)	(65.6)		p=0.002	p=0.040
収益性									
医療利益率	(%)	-16.3	-15.1	-25.6	-26.4	-12.1	-18.4		
総資本医療利益率	(%)	-9.5	-8.7	-13.4	-12.5	-5.6	-10.0		
経常利益率	(%)	-4.1	-2.4	-4.0	-5.5	-6.0	0.3		
償却前医療利益率(補正指標)	(%)	-8.1	-6.7	-16.1	-15.3	-5.1	-11.6		
病床利用率	(%)	74.6	71.6	73.6	71.9	87.3	87.9		
材料費比率	(%)	21.3	24.5	16.6	17.2	1.4	14.1	p=0.006	p=0.040
医薬品費比率	(%)	12.5	14.8	8.8	9.8	0.9	6.7	p=0.025	
人件費比率	(%)	66.3	62.4	76.9	75.6	34.5	78.7	p=0.020	p=0.040
職員1人あたり医療収益	(千円)	11,919	13,091	9,463	10,239	7,470	8,155	p=0.019	
1床当たり医療収益	(千円)	19,377	21,340	12,328	11,758	9,925	8,002		
機能性									
平均在院日数	(日)	25.4	25.5	32.9	32.6	71.3	144.5	p=0.008	
外来/入院比	(倍)	2.1	2.0	1.5	1.7	0.0	1.0	p=0.000	
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.1	1.3	1.0	1.1	0.0	0.8	p=0.002	p=0.040
患者1人1日当たり入院収益	(円)	45,335	48,382	31,058	27,756	28,321	17,148		
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	13,531	13,329	9,877	9,149	3,574	6,233	p=0.018	p=0.040
医師1人当たり入院患者数	(人)	5.0	4.5	9.2	8.1	26.3	15.6		
医師1人当たり外来患者数	(人)	7.7	8.5	10.8	12.3	0.3	13.1		p=0.040
ケアカンファレンス実施率	(%)	4.1	4.5	9.4	6.9		16.8		
紹介率	(%)	91.3	85.1	44.4	58.2		43.1		
逆紹介率	(%)	43.0	38.5	36.0	21.1	63.0	24.9		
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	(%)	13.1	14.8	9.7	9.8			p=0.008	
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	(%)	11.7		9.0					
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	82.9	81.1	83.2	88.7	99.0	75.1		
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	17.4	16.3	16.8	13.8	1.0	0.1		
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	22.4	20.9	18.9	14.9	0.9			
回復期リハ病床利用率	(%)	77.8		81.7		87.3			
回復期リハ紹介率	(%)	68.8		84.3		100.0			
回復期リハ平均在院日数	(日)	90.6		90.5		71.9			

図表Ⅱ-37 旧社会保険関係団体の回復期リハビリテーション病棟有無別の経営指標【抜粋】

		旧社会保険関係団体						一般 病院	ケア ミックス 病院	療養型 病院
		一般病院		ケアミックス病院		療養型病院				
		回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし			
(病院数)	(5)	(20)	(2)	(3)	(0)	(0)				
(平均稼働病床数)	(269.6)	(314.1)	(199.0)	(74.0)	(0.0)	(0.0)				
収益性										
医業利益率	(%)	0.4	-0.8	1.0	-8.4					
総資本医業利益率	(%)	-0.1	-0.4	0.2	-9.2					
経常利益率	(%)	1.8	0.5	3.1	-6.2					
償却前医業利益率 (補正指標)	(%)	8.3	5.7	7.9	-0.5					
病床利用率	(%)	75.4	76.2	82.8	74.9					
材料費比率	(%)	22.0	26.3	22.8	13.3					
医薬品費比率	(%)	11.6	16.3	13.1	8.5					p=0.049
人件費比率	(%)	55.6	50.8	55.9	66.6					
職員1人あたり医業収益	(千円)	11,268	14,272	13,153	10,262					p=0.017
1床当たり医業収益	(千円)	17,855	24,333	20,236	10,466					
機能性										
平均在院日数	(日)	23.9	15.5	18.4	39.1					
外来/入院比	(倍)	1.4	2.0	1.9	1.8					
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.0	1.4	1.6	1.1					
患者1人1日当たり入院収益	(円)	45,983	52,371	44,137	22,239					
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	12,560	14,457	10,433	10,414					
医師1人当たり入院患者数	(人)	6.6	4.0	4.4	9.1					p=0.042
医師1人当たり外来患者数	(人)	8.4	7.7	8.5	15.6					
ケアカンファレンス実施率	(%)	0.7	1.6							
紹介率	(%)	83.3	77.0	62.1	34.6					
逆紹介率	(%)	47.6	50.3	29.6	24.4					
看護必要度の高い患者割合 (一般病棟)	(%)	10.7	15.9	12.8	4.8					
看護必要度の高い患者割合 (回復リハ病棟)	(%)	10.3								
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	78.6	84.1	97.0	65.6					
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	21.4	15.9	3.0	34.4					
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	51.5	14.1		63.1					
回復期リハ病床利用率	(%)	79.0		80.6						
回復期リハ紹介率	(%)			100.0						
回復期リハ平均在院日数	(日)	104.2		125.2						

図表Ⅱ-38 その他公的の回復期リハビリテーション病棟有無別の経営管理指標【抜粋】

		その他公的						一般 病院	ケア ミックス 病院	療養型 病院
		一般病院		ケアミックス病院		療養型病院				
		回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし	回復期 リハ病棟 あり	回復期 リハ病棟 なし			
(病院数)	(18)	(56)	(2)	(14)	(1)	(2)				
(平均稼働病床数)	(318.1)	(394.3)	(384.5)	(247.7)	(199.0)	(110.0)				
収益性										
医業利益率	(%)	-1.2	-3.3	2.6	-4.9	23.0	4.1			
総資本医業利益率	(%)	1.2	-2.8	1.9	-8.1	18.1	4.0			
経常利益率	(%)	-0.3	-0.7	3.3	-0.5	22.4	4.8			
償却前医業利益率 (補正指標)	(%)	4.0	2.7	7.8	0.7	27.2	5.2			
病床利用率	(%)	79.0	79.9	93.7	78.3	90.1	94.9			
材料費比率	(%)	27.6	27.7	19.5	22.7	2.2	8.9			
医薬品費比率	(%)	19.2	17.1	9.4	13.3	1.7	4.1			
人件費比率	(%)	52.9	53.6	58.7	58.9	61.5	70.4			
職員1人あたり医業収益	(千円)	13,383	13,816	12,181	10,957	9,756	9,651			
1床当たり医業収益	(千円)	23,614	26,071	12,349	16,151	12,654	7,113			
機能性										
平均在院日数	(日)	20.3	21.1	58.5	29.5	66.3	324.1			p=0.006
外来/入院比	(倍)	1.7	1.9	0.7	1.4	0.0	0.3			
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.3	1.4	0.6	1.1	0.0	0.3			
患者1人1日当たり入院収益	(円)	48,371	54,868	67,383	36,214	36,820	17,861			
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	16,844	15,911	25,843	12,613	10,505	15,792			
医師1人当たり入院患者数	(人)	5.2	4.3	8.7	7.5	21.9	36.3			p=0.031
医師1人当たり外来患者数	(人)	8.8	7.6	3.1	8.5	0.2	8.4			
ケアカンファレンス実施率	(%)	4.4	2.4	18.4	7.4					p=0.035
紹介率	(%)	91.1	85.2	118.9	57.1		15.0			
逆紹介率	(%)	40.3	40.6		29.1		6.6			
看護必要度の高い患者割合 (一般病棟)	(%)	12.9	15.5		11.4					p=0.004
看護必要度の高い患者割合 (回復リハ病棟)	(%)	16.7		26.6						
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	79.3	80.8	48.2	86.8		96.6			
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	20.7	17.6	51.8	13.2		3.4			
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	29.3	23.5	59.4	12.9		0.9			
回復期リハ病床利用率	(%)	82.4		129.0		90.4				
回復期リハ紹介率	(%)	75.4				100.0				
回復期リハ平均在院日数	(日)	64.7		153.6		66.3				

(8) 地域包括ケア病棟の有無による経営指標への影響

① 回答病院全体の傾向

地域包括ケア病棟を有する病院は、一般病院、ケアミックス病院においてそれぞれ医業利益率が2.4、3.1ポイント高いが、統計的に有意な差とは言えない。病床利用率も統計的に有意な差は見られない。一方で、1床あたりの医業収益は一般病院で3,986円低く、ケアミックス病院で2,332円高いことは統計的に優位な差である。

一般病院において材料費比率が低いこと等を勘案すると回復期リハビリテーション病棟と同様の背景があると推察される。

図表Ⅱ-39 地域包括ケア病棟の有無別の経営管理指標

		全開設者						一般病院	ケアミックス病院	療養型病院
		一般病院		ケアミックス病院		療養型病院				
		地域包括ケア病棟あり	地域包括ケア病棟なし	地域包括ケア病棟あり	地域包括ケア病棟なし	地域包括ケア病棟あり	地域包括ケア病棟なし			
(病院数)		(142)	(509)	(124)	(228)	(9)	(165)			
(平均稼働病床数)		(216.8)	(258.8)	(184.6)	(163.9)	(157.2)	(114.9)			
収益性										
医業利益率	(%)	-5.8	-8.2	-4.2	-7.3	0.8	1.8			
総資本医業利益率	(%)	-2.3	-4.1	-1.6	-2.2	5.4	1.8			
経常利益率	(%)	-0.9	-0.8	0.8	-0.1	2.3	3.3			
償却前医業利益率 (補正指標)	(%)	0.6	-1.4	1.4	-1.3	4.0	5.1			
病床利用率	(%)	74.8	74.3	82.7	79.5	92.6	88.4			
材料費比率	(%)	20.2	23.3	14.4	15.0	8.3	10.0	p=0.000		
医薬品費比率	(%)	11.7	13.3	7.9	8.0	4.0	5.5	p=0.038		
人件費比率	(%)	59.8	57.5	62.6	62.0	58.5	57.8		p=0.004	
職員1人あたり医業収益	(千円)	12,158	13,125	9,895	10,040	11,006	8,953		p=0.001	
1床あたり医業収益	(千円)	18,771	22,757	13,692	11,360	10,820	8,839		p=0.000	
機能性										
平均在院日数	(日)	21.0	24.2	48.4	95.2	235.2	261.5		p=0.000	
外来/入院比	(倍)	1.9	2.7	1.2	1.3	0.7	0.7		p=0.007	
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.3	1.4	1.0	0.8	0.7	0.5		p=0.014	
患者1人1日当たり入院収益	(円)	42,538	49,910	30,552	28,767	22,439	21,853		p=0.000	
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	12,187	13,839	9,910	10,443	7,531	8,882		p=0.009	
医師1人当たり入院患者数	(人)	5.6	4.7	9.8	12.1	17.1	19.0		p=0.000	
医師1人当たり外来患者数	(人)	9.8	9.1	10.4	9.6	9.0	7.4		p=0.003	
ケアカンファレンス実施率	(%)	7.5	3.4	9.3	8.5	15.1	18.7		p=0.002	
紹介率	(%)	65.5	78.3	48.9	51.6	19.1	41.8		p=0.001	
逆紹介率	(%)	31.2	36.5	22.0	22.0	17.5	23.6		p=0.031	
看護必要度の高い患者割合 (一般病棟)	(%)	12.8	15.0	7.9	9.8	1.6	11.5		p=0.000	
看護必要度の高い患者割合 (回復リハ病棟)	(%)	8.0	17.5	7.9	15.7	0.6	14.5			
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	83.4	81.2	89.1	84.3	84.4	86.3			
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	15.4	17.1	11.7	16.1	15.6	13.0			
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	16.3	22.9	14.7	24.1	12.4	26.1		p=0.036	
地域包括ケア病床利用率	(%)	58.9		66.6		74.6				
地域包括ケア紹介率	(%)	74.3		60.4		24.9				
地域包括ケア平均在院日数	(日)	37.3		42.7		39.0				

② 開設者別の特性

医療法人立の病院では、地域包括ケア病棟の有する群において、一般病院では医業利益率が平均で1.2ポイント高く、療養型病院では2.1ポイント低いものの、統計的に有意な差ではない。平均在院日数は全体の傾向とは異なり、一般病院で長くなる。ケアミックス病院では平均在院日数が短くなり、逆紹介率が高くなる。

開設者が自治体、その他公的の場合でも同様の傾向が見られる。旧社会保険関係団体の一般病院では地域包括ケア病棟を有する群の医業利益率が対照群より2.0ポイント低い。

図表Ⅱ-40 医療法人の地域包括ケア病棟の有無別の経営管理指標

		医療法人						一般 病院	ケア ミックス 病院	療養型 病院
		一般病院		ケアミックス病院		療養型病院				
		地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし	地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし	地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし			
(病院数)		(48)	(185)	(79)	(160)	(9)	(153)			
(平均稼働病床数)		(152.5)	(124.6)	(180.9)	(156.7)	(157.2)	(116.6)	p=0.002	p=0.007	
収益性										
医業利益率	(%)	1.6	0.4	1.8	1.7	0.8	2.9			
総資本医業利益率	(%)	2.9	2.0	3.0	2.3	5.4	2.3			
経常利益率	(%)	2.2	1.4	2.4	2.6	2.3	3.4			
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	5.9	5.3	5.8	5.8	4.0	6.0			
病床利用率	(%)	78.8	74.9	85.2	83.9	92.6	88.3			
材料費比率	(%)	17.0	19.0	12.5	13.6	8.3	10.0			
医薬品費比率	(%)	8.2	10.0	6.6	7.3	4.0	5.5			
人件費比率	(%)	56.6	52.5	59.1	56.0	58.5	57.0			
職員1人あたり医業収益	(千円)	11,565	12,849	9,402	10,026	11,006	9,003	p=0.027		
1床当たり医業収益	(千円)	19,542	22,325	13,740	11,198	10,820	8,850		p=0.000	
機能性										
平均在院日数	(日)	25.7	21.6	57.1	123.2	235.2	270.3	p=0.000	p=0.000	
外来/入院比	(倍)	1.9	3.8	1.1	1.1	0.7	0.7	p=0.003	p=0.040	
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.3	1.6	0.9	0.7	0.7	0.5	p=0.014	p=0.014	
患者1人1日当たり入院収益	(円)	42,347	47,638	31,098	27,914	22,439	21,930		p=0.000	
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	11,845	12,655	9,803	10,677	7,531	9,015			
医師1人当たり入院患者数	(人)	6.4	5.2	10.7	13.9	17.1	18.8	p=0.004	p=0.002	
医師1人当たり外来患者数	(人)	10.1	11.5	9.4	8.9	9.0	7.3			
ケアカンファレンス実施率	(%)	9.8	3.8	7.6	10.2	15.1	18.8			
紹介率	(%)	43.9	51.4	45.2	46.2	19.1	42.7			
逆紹介率	(%)	23.9	23.1	23.2	19.3	17.5	23.0		p=0.021	
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	(%)	12.2	14.9	7.0	9.1	1.6	11.5	p=0.044		
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	(%)	9.9	18.3	8.0	16.1	0.6	14.5			
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	81.0	83.2	88.9	84.0	84.4	86.2			
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	14.3	16.2	12.4	14.0	15.6	14.5			
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	20.8	18.1	16.1	28.5	12.4	28.3			
地域包括ケア病床利用率	(%)	73.1		71.3		74.6				
地域包括ケア紹介率	(%)	60.7		65.5		24.9				
地域包括ケア平均在院日数	(日)	37.1		44.5		39.0				

図表Ⅱ-41 自治体の地域包括ケア病棟の有無別の経営管理指標

		自治体						一般 病院	ケア ミックス 病院	療養型 病院
		一般病院		ケアミックス病院		療養型病院				
		地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし	地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし	地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし			
(病院数)		(60)	(259)	(35)	(57)	(0)	(9)			
(平均稼働病床数)		(241.1)	(317.1)	(170.7)	(181.1)	(0.0)	(77.0)			
収益性										
医業利益率	(%)	-13.6	-15.8	-17.2	-32.1		-17.0	p=0.005		
総資本医業利益率	(%)	-7.4	-9.3	-9.8	-14.5		-8.9			
経常利益率	(%)	-3.4	-2.5	-1.9	-7.4		-1.1			
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	-5.6	-7.3	-7.8	-20.4		-10.1	p=0.008		
病床利用率	(%)	72.6	72.1	78.2	68.2		87.7	p=0.000		
材料費比率	(%)	20.7	24.7	16.0	17.9		11.3	p=0.000		
医薬品費比率	(%)	12.3	14.8	9.2	9.9		4.8	p=0.020		
人件費比率	(%)	65.1	62.6	71.0	78.9		68.8	p=0.019	p=0.012	
職員1人あたり医業収益	(千円)	12,306	13,021	10,190	10,087		8,003	p=0.041		
1床当たり医業収益	(千円)	17,855	21,730	12,655	11,330		8,429	p=0.001	p=0.007	
機能性										
平均在院日数	(日)	17.9	27.3	32.3	32.9		128.2	p=0.000		
外来/入院比	(倍)	2.0	2.1	1.6	1.7		0.8			
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.3	1.3	1.2	1.1		0.6			
患者1人1日当たり入院収益	(円)	41,431	49,419	27,799	28,552		19,631	p=0.000		
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	11,702	13,785	8,664	9,638		5,901	p=0.005		
医師1人当たり入院患者数	(人)	5.2	4.5	8.5	8.1		17.9	p=0.000		
医師1人当たり外来患者数	(人)	9.8	8.0	12.9	11.6		10.2	p=0.000		
ケアカンファレンス実施率	(%)	6.3	3.7	10.2	5.4		16.8			
紹介率	(%)	77.9	88.2	52.1	59.3		43.1	p=0.026		
逆紹介率	(%)	34.4	40.7	19.4	24.6		40.2			
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	(%)	13.0	14.8	8.9	10.8			p=0.001		
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	(%)	3.3	15.1	7.2	10.2					
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	85.7	80.5	88.8	87.1		84.6			
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	14.3	17.1	11.2	16.7		0.7			
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	11.5	24.2	10.4	18.8		0.9	p=0.016		
地域包括ケア病床利用率	(%)	52.2		56.5						
地域包括ケア紹介率	(%)	107.8		29.0						
地域包括ケア平均在院日数	(日)	37.3		36.3						

図表Ⅱ-42 旧社会保険関係団体の地域包括ケア病棟の有無別の経営管理指標

		旧社保関係団体						一般 病院	ケア ミックス 病院	療養型 病院
		一般病院		ケアミックス病院		療養型病院				
		地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし	地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし	地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし			
(病院数)		(12)	(13)	(1)	(4)	(0)	(0)			
(平均稼働病床数)		(189.9)	(411.5)	(0.0)	(105.3)	(0.0)	(0.0)			
収益性										
収益性										p=0.001
医業利益率	(%)	-1.6	0.4	2.7	-5.8					
総資本医業利益率	(%)	-0.9	0.2	0.9	-7.0					
経常利益率	(%)	0.6	1.0	5.7	-4.0					
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	4.8	7.5	9.2	1.8					
病床利用率	(%)	72.5	79.3		76.9					p=0.006
材料費比率	(%)	22.1	28.6	25.7	15.5					p=0.022
医薬品費比率	(%)	13.2	17.4	14.7	9.5					
人件費比率	(%)	55.8	48.1	51.5	64.4					p=0.017
職員1人あたり医業収益	(千円)	12,157	15,069	14,814	10,672					p=0.003
1床当たり医業収益	(千円)	18,301	27,410	23,563	12,614					p=0.002
機能性										
平均在院日数	(日)	21.7	13.1	16.1	34.5					p=0.006
外来/入院比	(倍)	1.9	1.9	1.9	1.8					
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.2	1.4	1.6	1.3					
患者1人1日当たり入院収益	(円)	44,519	57,163	52,895	26,619					p=0.005
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	11,814	16,168	11,208	10,162					p=0.026
医師1人当たり入院患者数	(人)	5.3	3.7	2.9	8.3					p=0.014
医師1人当たり外来患者数	(人)	9.2	6.6	5.6	14.5					p=0.014
ケアカンファレンス実施率	(%)		1.5							
紹介率	(%)	55.0	101.6	72.2	39.0					p=0.001
逆紹介率	(%)	33.6	63.5	41.6	22.7					p=0.004
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	(%)	13.0	15.9		8.8					
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	(%)	6.4	18.2							
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	76.0	83.8		81.3					
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	24.0	16.2		18.7					
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	90.9	13.8		63.1					
地域包括ケア病床利用率	(%)	51.8		86.7						
地域包括ケア紹介率	(%)	11.0								
地域包括ケア平均在院日数	(日)	37.4		66.5						

図表Ⅱ-43 その他公的の地域包括ケア病棟の有無別の経営管理指標

		その他公的						一般 病院	ケア ミックス 病院	療養型 病院
		一般病院		ケアミックス病院		療養型病院				
		地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし	地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし	地域包括 ケア病棟 あり	地域包括 ケア病棟 なし			
(病院数)		(22)	(52)	(9)	(7)	(0)	(3)			
(平均稼働病床数)		(305.5)	(405.5)	(280.3)	(251.0)	(0.0)	(139.7)			
収益性										
収益性										p=0.025
医業利益率	(%)	-2.0	-3.1	-3.6	-4.3		13.6			
総資本医業利益率	(%)	0.2	-2.7	-9.6	-3.5		11.1			
経常利益率	(%)	-1.2	-0.4	-2.4	2.7		13.6			
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	4.1	2.6	2.2	0.9		16.2			
病床利用率	(%)	73.3	82.1	79.2	84.2		93.3			p=0.000
材料費比率	(%)	24.6	29.0	23.6	20.6		5.5			p=0.003
医薬品費比率	(%)	17.0	17.9	14.5	11.0		2.9			
人件費比率	(%)	54.7	52.9	58.8	59.0		66.0			p=0.012
職員1人あたり医業収益	(千円)	12,957	14,046	12,357	9,707		9,704			p=0.011
1床当たり医業収益	(千円)	19,937	27,934	16,555	14,979		9,883			p=0.000
機能性										
平均在院日数	(日)	19.4	21.5	43.2	18.6		238.2			p=0.001
外来/入院比	(倍)	1.8	1.8	1.4	1.3		0.2		p=0.018	
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.3	1.5	1.0	1.0		0.2			
患者1人1日当たり入院収益	(円)	44,935	56,762	35,304	46,159		27,340			p=0.001
外来患者1人1日あたり外来収益	(円)	14,462	16,789	15,909	12,627		13,149			p=0.038
医師1人当たり入院患者数	(人)	5.4	4.2	8.5	6.4		31.5			p=0.001
医師1人当たり外来患者数	(人)	9.5	7.2	9.4	5.9		5.7			p=0.001
ケアカンファレンス実施率	(%)	5.9	2.0	18.3	2.0					
紹介率	(%)	72.1	92.5	58.1	64.8		15.0			
逆紹介率	(%)	32.6	43.6	19.1	40.7		6.6			p=0.044
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	(%)	13.2	15.4	11.8	10.8					p=0.005
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	(%)	11.5	25.9		26.6					
二次医療圏内からの在院患者割合	(%)	81.6	80.0	93.5	73.8		96.6			
二次医療圏外からの在院患者割合	(%)	18.4	18.4	6.5	26.2		3.4			
二次医療圏外からの外来患者割合	(%)	20.3	26.3	20.2	19.1		0.9			
地域包括ケア病床利用率	(%)	54.0		47.5						
地域包括ケア紹介率	(%)	42.6		60.0						
地域包括ケア平均在院日数	(日)	37.7		49.5						

(9) 医業利益率と機能性指標との相関

① 回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟のある病院の医業利益率と機能性指標との相関係数を確認した。

回復期リハビリテーション病棟を有するケアミックス病院（図表Ⅱ-44）では、医業利益率と機能性指標の相関は弱い。回復期リハビリテーション病棟の病床利用率（ $r=0.275$ ）、入院単価に相関が比較的大きい（ $r=0.214$ 、回復期リハビリテーション病棟を持たない群では $r=0.122$ ）。

療養型病院（図表Ⅱ-45）では、医業利益率と患者1人1日あたり入院収益とやや強い正の相関（ $r=0.628$ ）があり、二次医療圏外からの外来患者割合ともやや強い正の相関（ $r=0.676$ ）がある（これらは回復期リハビリテーション病棟を持たない群と差がある）。また、看護必要度の高い患者割合（一般病棟）とは有意確率 $p < 0.05$ ではないものの、強い相関（ $r=0.731$ ）がある。

回復期リハビリテーション病棟を有する療養型病院においては収益が高い病院ほど医療圏外からの患者受け入れを積極的に行っている。

図表Ⅱ-44 回復期リハビリテーション病棟をもつケアミックス病院の医業利益率と機能性指標の相関係数

	ケアミックス				rの差
	回復期リハビリテーション病棟あり		回復期リハビリテーション病棟なし		
	(病院数)	(109)	(243)	(243)	
(平均稼働病床数)	(197.5)	(159.2)	(159.2)		
機能性	R	p	r	p	
平均在院日数	0.159	0.106	0.249	0.000	-0.091
外来/入院比	-0.244	0.011	-0.108	0.110	-0.135
1床当たり1日平均外来患者数	-0.049	0.618	-0.215	0.001	0.167
患者1人1日当たり入院収益	0.214	0.038	0.122	0.087	0.092
患者1人1日当たり入院収益(室料差額除く)	0.210	0.041	0.114	0.109	0.096
外来患者1人1日あたり外来収益	0.078	0.450	0.142	0.047	-0.064
医師1人当たり入院患者数	0.138	0.159	0.239	0.000	-0.100
医師1人当たり外来患者数	-0.116	0.239	-0.255	0.000	0.139
看護師1人当たり入院患者数	0.282	0.004	0.312	0.000	-0.030
看護師1人当たり外来患者数	-0.092	0.349	-0.164	0.015	0.072
職員1人当たり入院患者数	0.140	0.155	0.189	0.004	-0.049
職員1人当たり外来患者数	-0.183	0.062	-0.300	0.000	0.118
ケアカンファレンス実施率	0.066	0.726	0.120	0.438	-0.055
紹介率	-0.012	0.921	-0.109	0.193	0.096
逆紹介率	-0.117	0.353	0.062	0.443	-0.179
看護必要度の高い患者割合（一般病棟）	-0.229	0.122	0.120	0.339	-0.349
看護必要度の高い患者割合（回復リハ病棟）	0.117	0.490			
二次医療圏内からの在院患者割合	-0.133	0.440	-0.005	0.969	-0.128
二次医療圏外からの在院患者割合	0.001	0.994	-0.037	0.790	0.039
二次医療圏外からの外来患者割合	0.083	0.699	0.138	0.339	-0.020
回復期リハ病床利用率	0.275	0.010			
回復期リハ紹介率	0.029	0.865			
回復期リハ平均在院日数	0.064	0.557			

(注) 平均在院日数から二次医療圏外からの外来患者数までは病院全体の指標

図表Ⅱ-45 回復期リハビリテーション病棟をもつ療養型病院の医業利益率と機能性指標の相関係数

	療養型				rの差
	回復期リハビリテーション病棟あり		回復期リハビリテーション病棟なし		
	(病院数)	(40)	(134)	(134)	
(平均稼働病床数)	(134.1)	(112.0)			
機能性	r	p	r	p	
平均在院日数	-0.267	0.096	0.222	0.012	-0.489
外来/入院比	0.078	0.632	-0.119	0.190	0.197
1床当たり1日平均外来患者数	-0.009	0.958	-0.185	0.041	0.176
患者1人1日当たり入院収益	0.628	0.000	-0.100	0.326	0.727
患者1人1日当たり入院収益(室料差額除く)	0.618	0.000	-0.100	0.326	0.717
外来患者1人1日あたり外来収益	-0.082	0.645	-0.152	0.135	0.070
医師1人当たり入院患者数	-0.320	0.044	0.213	0.015	-0.533
医師1人当たり外来患者数	-0.118	0.468	-0.211	0.018	0.093
看護師1人当たり入院患者数	-0.359	0.023	0.151	0.085	-0.510
看護師1人当たり外来患者数	-0.075	0.646	-0.211	0.018	0.136
職員1人当たり入院患者数	-0.447	0.004	0.199	0.023	-0.646
職員1人当たり外来患者数	-0.103	0.526	-0.234	0.009	0.130
ケアカンファレンス実施率	0.108	0.739	-0.089	0.754	0.196
紹介率	-0.019	0.930	-0.085	0.589	0.065
逆紹介率	-0.038	0.858	0.025	0.847	-0.063
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	0.731	0.099			
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	0.247	0.374			
二次医療圏内からの在院患者割合	-0.168	0.479	-0.207	0.212	0.040
二次医療圏外からの在院患者割合	0.355	0.177	0.193	0.378	0.162
二次医療圏外からの外来患者割合	0.676	0.066	0.053	0.831	0.624
回復期リハ病床利用率	0.516	0.002			
回復期リハ紹介率	0.181	0.338			
回復期リハ平均在院日数	0.046	0.801			

(注) 平均在院日数から二次医療圏外からの外来患者数までは病院全体の指標

また、病院機能別に回復期リハビリテーション病棟特有の指標と医業収益率との相関をみると、療養型病院においては回復期リハビリテーション病棟の病床利用率が高いほど、また、回復期リハビリテーション病棟の稼働病床数が多いほど、医業利益率が高い傾向にある。

医療法人立病院に限定した場合も、これと同様の傾向にある。

図表Ⅱ-46 回復期リハビリテーション病棟を有する病院の医業利益率と機能性指標との相関係数(病院機能別)

施設数	開設者区分 無し	一般病院	ケアミックス	療養型
	280	131	109	40
療養病棟設置・回復期リハ病床利用率	0.510		0.360	0.516
一般/療養病棟設置全体・回復期リハ病床利用率	0.308	0.273	0.275	0.516
療養病棟設置・回復期リハ稼働病床数	0.329			0.422
一般/療養病棟設置全体・回復期リハ稼働病床数	0.239			0.422

(注) 有意確率 p が 0.05 以下のものを記載、また各指標の回答数は施設数と一致しない

図表Ⅱ-47 医療法人立病院の回復期リハビリテーション病棟を有する病院の医業利益率と機能性指標との相関係数

施設数	医療法人			
	機能区分 無し	一般病院	ケアミックス	療養型
	180	51	92	37
療養病棟設置・回復期リハ病床利用率	0.479		0.341	0.610
一般/療養病棟設置全体・回復期リハ病床利用率	0.328		0.427	0.610
療養病棟・回復期リハ稼働病床数	0.276			0.388
一般/療養病棟設置全体・回復期リハ稼働病床数	0.253			0.388

(注) 有意確率 p が 0.05 以下のものを記載、また各指標の回答数は施設数と一致しない

② 地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟を有する医療機関の医業収益率と機能性指標との相関係数を確認した。

一般病院では二次医療圏外の外来患者数割合と弱い相関がある ($r=0.311$ 、地域包括ケアのない群では相関は見られない)。また、地域包括ケア病棟の入院患者の紹介率の間に弱い負の相関 ($r=-0.379$) が見られる。急性期病院では自院からの転棟を行うことができる場合の方が医業利益率が高くなることが示唆される。一方、他の各指標と医業利益率の相関は強くない。

ケアミックス病院（図表Ⅱ-49）では看護必要度の高い患者割合（回復期リハビリテーション病棟）と弱い相関 ($r=0.311$) がある。また、職員1人あたりの外来患者数と負の相関 ($r=-0.456$) が見られる（地域包括ケアがない群でも弱い負の相関が見られる）。

図表Ⅱ-48 地域包括ケア病棟をもつ一般病院の医業利益率と機能性指標の相関係数

	一般病棟				rの差	
	地域包括ケア病棟あり		地域包括ケア病棟なし			
	(病院数)	(142)	(509)	(平均稼働病床数)		
	(病院数)	(142)	(509)	(平均稼働病床数)	(258.8)	
機能性	r	p	r	p		
平均在院日数	0.058	0.499	-0.134	0.003		0.193
外来/入院比	0.007	0.937	0.043	0.338		-0.036
1床当たり1日平均外来患者数	0.040	0.643	0.146	0.001		-0.106
患者1人1日当たり入院収益	0.236	0.007	0.290	0.000		-0.054
患者1人1日当たり入院収益(室料差額除く)	0.229	0.009	0.281	0.000		-0.051
外来患者1人1日あたり外来収益	0.141	0.112	0.195	0.000		-0.054
医師1人当たり入院患者数	0.141	0.100	-0.090	0.044		0.231
医師1人当たり外来患者数	0.053	0.541	-0.061	0.174		0.114
看護師1人当たり入院患者数	0.029	0.737	0.004	0.931		0.025
看護師1人当たり外来患者数	0.106	0.217	0.040	0.374		0.066
職員1人当たり入院患者数	0.072	0.401	-0.001	0.981		0.073
職員1人当たり外来患者数	-0.021	0.810	0.010	0.823		-0.031
ケアカンファレンス実施率	-0.147	0.295	0.011	0.894		-0.158
紹介率	0.045	0.634	0.019	0.708		0.025
逆紹介率	-0.029	0.753	0.132	0.010		-0.161
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	0.025	0.811	0.129	0.039		-0.104
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	0.268	0.196	0.114	0.474		0.154
二次医療圏内からの在院患者割合	-0.254	0.048	-0.044	0.506		-0.210
二次医療圏外からの在院患者割合	0.257	0.047	0.160	0.019		0.098
二次医療圏外からの外来患者割合	0.311	0.013	0.062	0.366		0.248
地域包括ケア病床利用率	0.224	0.014				
地域包括ケア紹介率	-0.379	0.042				
地域包括ケア平均在院日数	-0.019	0.849				

(注) 平均在院日数から二次医療圏外からの外来患者割合までは病院全体の指標

図表Ⅱ-49 地域包括ケア病棟をもつケアミックス病院の医業利益率と機能性指標の相関係数

機能性 (病院数) (平均稼働病床数)	ケアミックス病棟				rの差
	地域包括ケア病棟あり		地域包括ケア病棟なし		
	(124)		(228)		
	(184.6)		(163.9)		
	r	p	r	p	
平均在院日数	0.207	0.024	0.226	0.001	-0.019
外来/入院比	-0.355	0.000	-0.113	0.104	-0.242
1床当たり1日平均外来患者数	-0.243	0.008	-0.168	0.015	-0.075
患者1人1日当たり入院収益	0.236	0.013	0.179	0.015	0.057
患者1人1日当たり入院収益(室料差額除く)	0.226	0.018	0.173	0.019	0.053
外来患者1人1日あたり外来収益	0.102	0.292	0.141	0.057	-0.039
医師1人当たり入院患者数	0.191	0.037	0.228	0.001	-0.037
医師1人当たり外来患者数	-0.400	0.000	-0.206	0.003	-0.194
看護師1人当たり入院患者数	0.320	0.000	0.294	0.000	0.026
看護師1人当たり外来患者数	-0.237	0.010	-0.162	0.019	-0.075
職員1人当たり入院患者数	0.008	0.931	0.166	0.016	-0.158
職員1人当たり外来患者数	-0.456	0.000	-0.282	0.000	-0.173
ケアカンファレンス実施率	-0.044	0.808	0.221	0.159	-0.265
紹介率	-0.038	0.719	-0.113	0.217	0.074
逆紹介率	0.072	0.511	0.049	0.572	0.023
看護必要度の高い患者割合(一般病棟)	-0.250	0.048	0.025	0.862	-0.276
看護必要度の高い患者割合(回復リハ病棟)	0.311	0.181	0.125	0.631	0.186
二次医療圏内からの在院患者割合	0.036	0.832	-0.137	0.286	0.172
二次医療圏外からの在院患者割合	0.018	0.917	-0.019	0.899	0.037
二次医療圏外からの外来患者割合	0.157	0.362	0.203	0.181	-0.046
地域包括ケア病床利用率	0.178	0.100			
地域包括ケア紹介率	0.199	0.291			
地域包括ケア平均在院日数	0.272	0.012			

(注) 平均在院日数から二次医療圏外からの外来患者割合までは病院全体の指標

また、病院機能別に地域包括ケア病棟特有の指標と医業収益率との相関をみると、サンプル数が7件の療養型病院を除いて相関はみられない。

医療法人立病院を対象に病院機能別に相関係数を算出すると、開設者区分のない場合と同様の傾向が見られる。

図表Ⅱ-50 地域包括ケア病棟を有する病院の医業利益率と機能性指標との相関係数(病院機能別)

施設数	開設者区分 無し	一般病院	ケアミックス	療養型
	276	142	124	9
一般地域包括ケア病床利用率	0.214	0.217		0.956
合計地域包括ケア病床利用率	0.226	0.224		0.958
地域包括ケア紹介率		-0.379		0.953
地域包括ケア平均在院日数	0.163		0.272	

(注) 有意確率pが0.05以下のものを記載、また各指標の回答数は施設数と一致しない

図表Ⅱ-51 医療法人の地域包括ケア病棟を有する病院の医業利益率と機能性指標との相関係数

施設数	医療法人			
	機能区分無し	一般病院	ケアミックス	療養型
	137	48	79	9
一般地域包括ケア病床利用率				0.956
合計地域包括ケア病床利用率				0.958
地域包括ケア紹介率				0.953
地域包括ケア平均在院日数	0.235			

(注) 有意確率pが0.05以下のものを記載、また各指標の回答数は施設数と一致しない

3. 平成 21 年度から平成 27 年度（6 年）の推移

本節では、平成 21 年度から平成 27 年度まで（平成 24 年度は事業未実施のため除外）の 6 年の各指標を開設主体別に折れ線グラフ化し、病院種別による比較及び経年の変化を分析した。

本節の分析については、下記の点に留意されたい。

- 集計対象件数が少ない年度や指標は、各年度の結果が大きく変動すること
- 各年度によって、調査票の回答病院数が異なる為、集計対象件数が相違すること
- 図表に表示しているNは、平成 27 年度の数値であること

※本節の過去データは厚生労働省ホームページ「病院経営管理指標」の各年度の調査結果から取得。

(1) 黒字病院比率

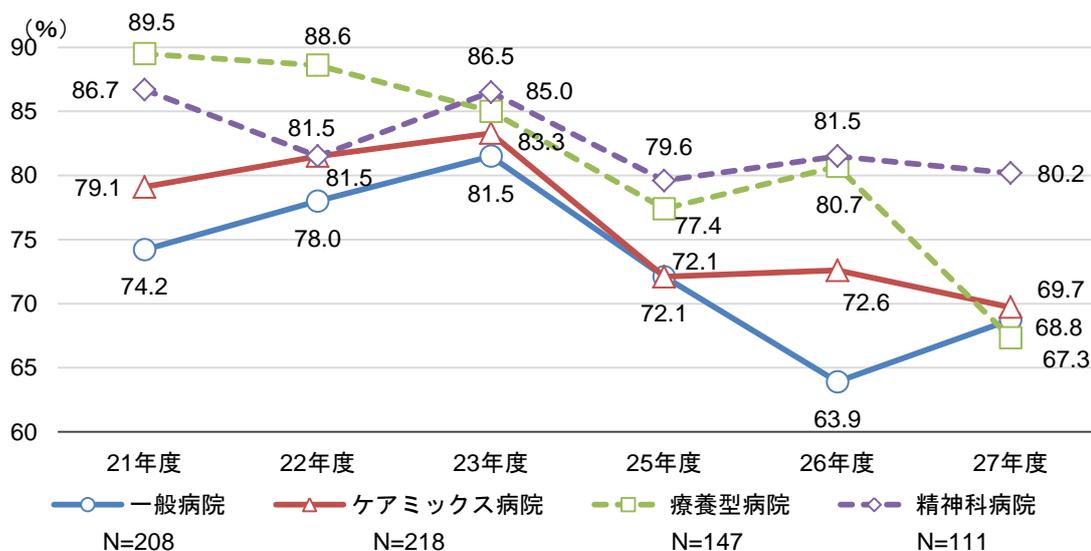
開設者ごとに経常損益が黒字の病院比率（図表Ⅱ-52～55）を示す。

医療法人立病院においては、平成 27 年度は一般病院、ケアミックス病院、療養病院で 70% 程度が、精神科病院では 80% 程度が黒字である。昨年度に比べ、一般病院は黒字病院の割合が 5 ポイント増加したが、療養病院では 12 ポイント減少した。精神科病院を除いて平成 23 年度以降の減少が目立つ。

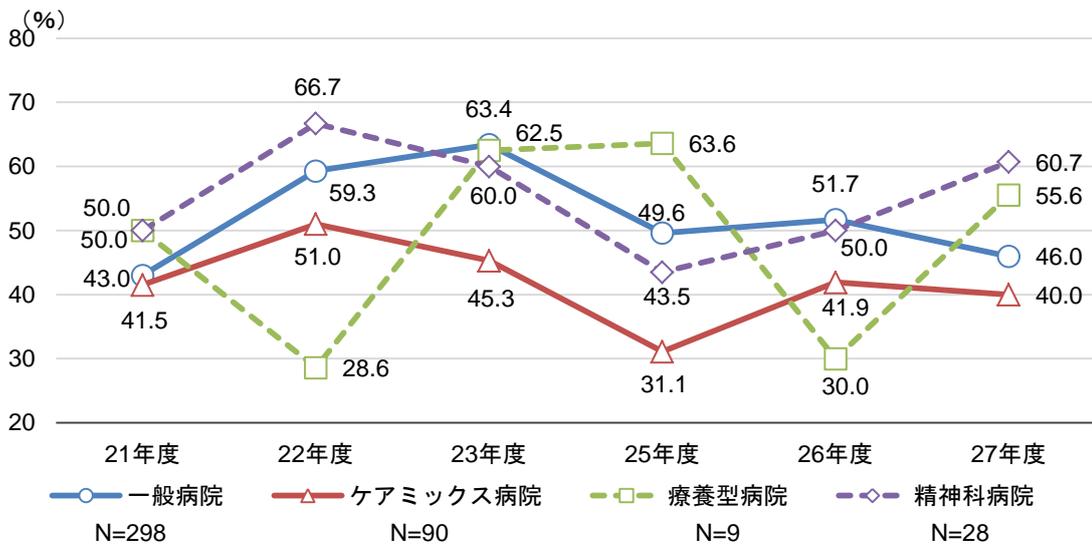
自治体立病院の一般病院は平成 25 年度に急減し、その後はほぼ横這いである。ケアミックス病院は 25 年度に大きく落ち込んだが、26 年度に持ち直している。療養型病院は増減の幅が大きく、精神科病院では 25 年度を底に黒字病院の割合が増加した。

旧社会保険関係団体立病院では 27 年度に一般病院の黒字病院比率が増加した。その他公的病院では一般病院、ケアミックス病院ともに黒字病院の比率が漸減傾向にある。

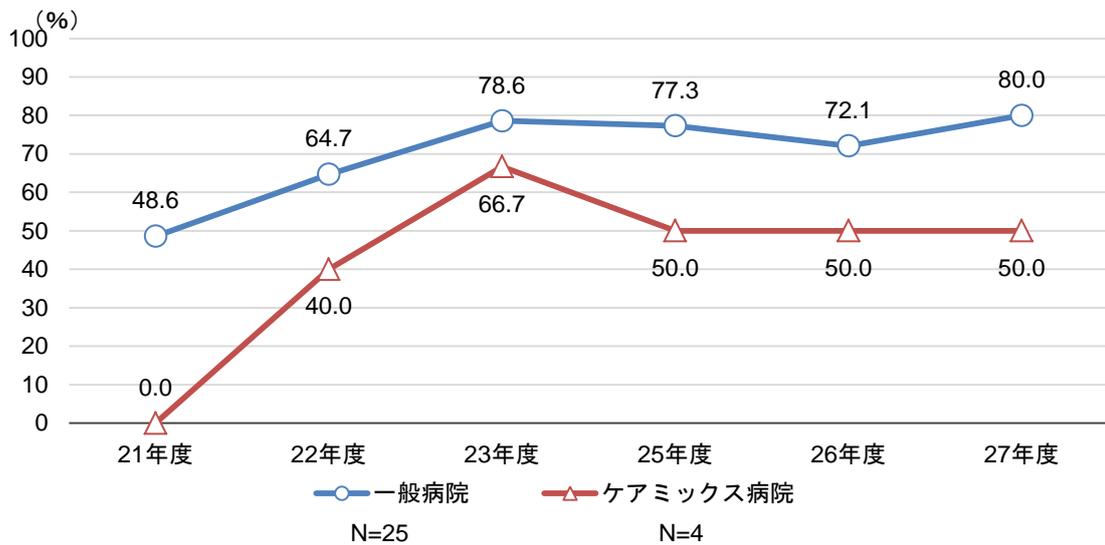
図表Ⅱ-52 黒字病院比率の推移(経常利益) (医療法人)



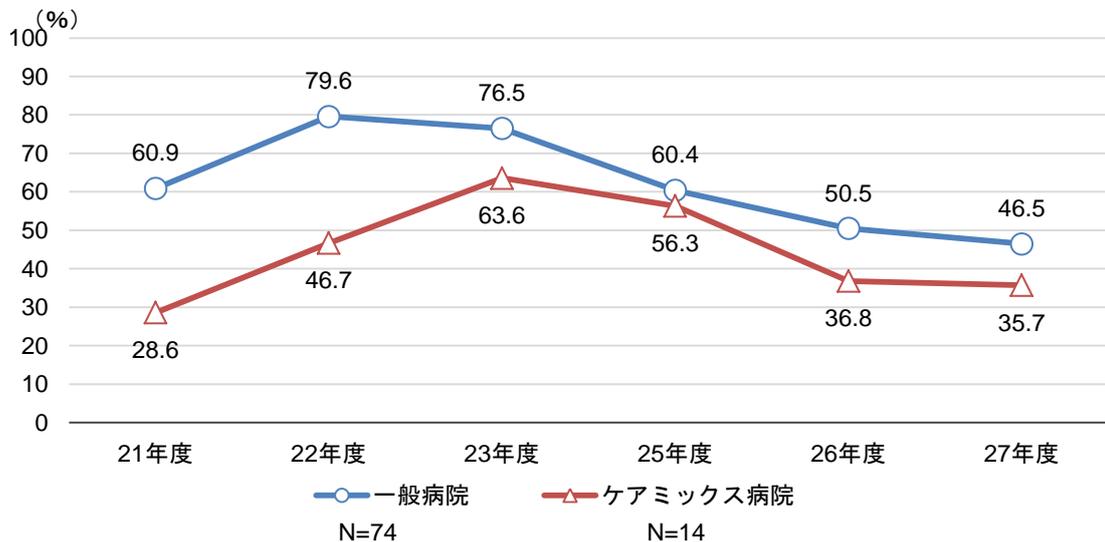
図表Ⅱ-53 黒字病院比率の推移(経常利益) (自治体)



図表Ⅱ-54 黒字病院比率の推移(経常利益) (旧社会保険関係団体)



図表Ⅱ-55 黒字病院比率の推移(経常利益) (その他公的)



(2) 経常利益率とその原因分析指標

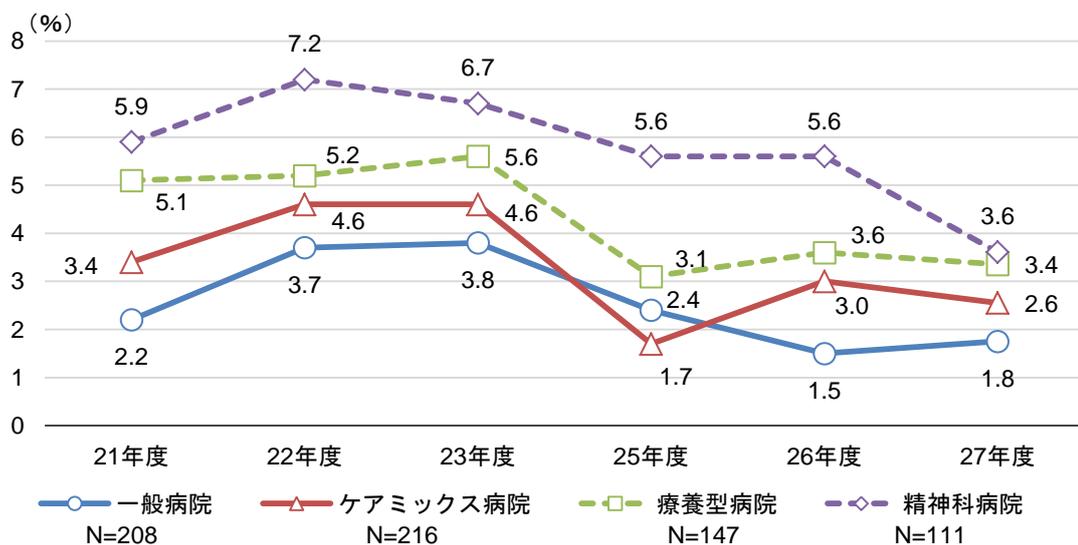
① 経常利益率

開設者ごと病院種別ごとの経常利益率の推移をみると、医療法人立病院の一般病院では平成 23 年度をピークに経常利益率が漸減していたが 27 年度には 0.3 ポイント改善した。ケアミックス病院は 25 年度を底に持ち直し、療養型病院も 25 年度を底に横這い傾向である。精神科病院は 22 年度以降低下傾向が続き、27 年度にはさらに 2 ポイント低下した。

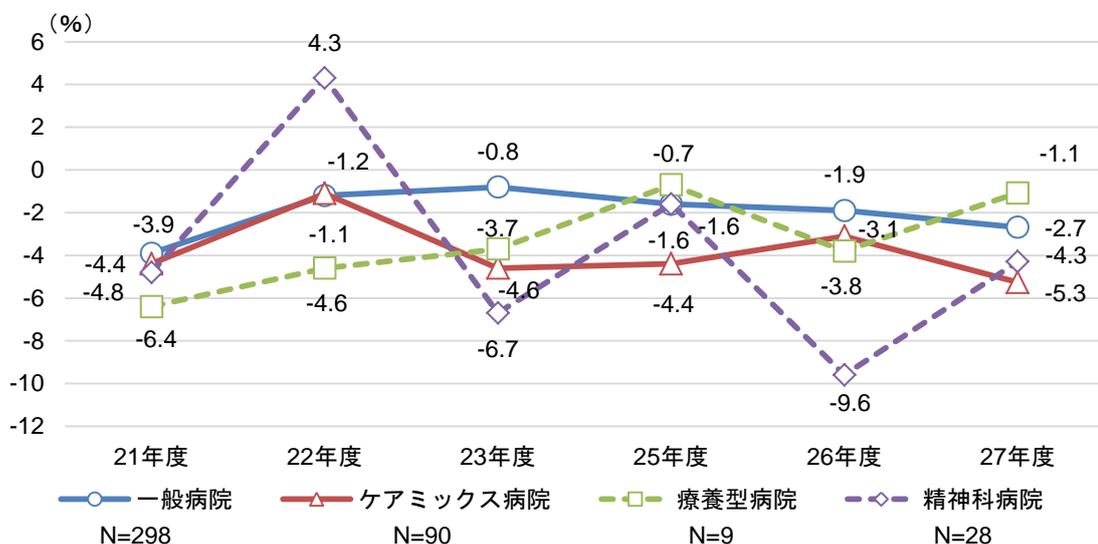
自治体立病院の一般病院は、近年緩やかに経常利益率が低下している。ケアミックス病院は 22 年度に上昇したが、その後は横這い傾向である。療養型病院はブレがあるものの上昇傾向にある。精神科病院もブレが大きい、低下傾向にあるように見える。

旧社会保険関係団体立病院の経常利益率は、平成 25 年度を境に一般病院は減少傾向、ケアミックス病院は上昇傾向にある。その他公的病院では 25 年度以降、一般病院は横這い傾向にあり、ケアミックス病院は 26 年度に落ち込んだが 27 年度には持ち直した。

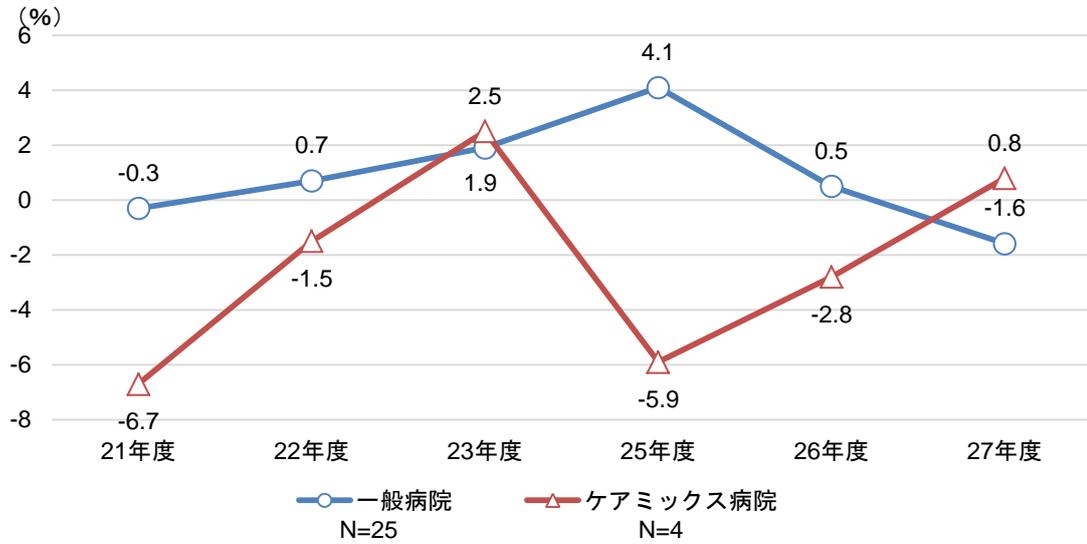
図表 II-56 経常利益率の推移（医療法人）



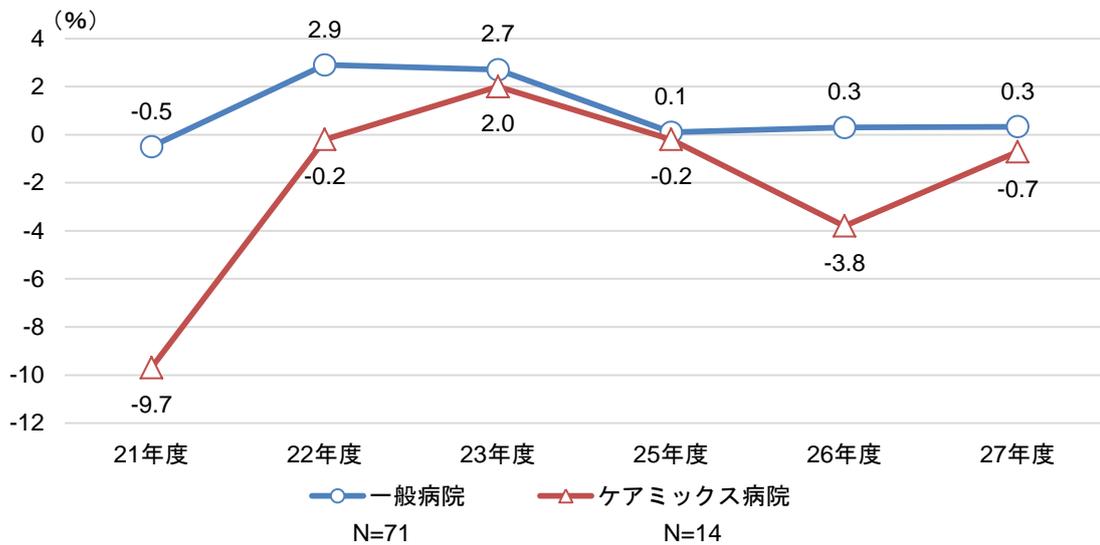
図表 II-57 経常利益率の推移（自治体）



図表Ⅱ-58 経常利益率の推移（旧社会保険関係団体）



図表Ⅱ-59 経常利益率の推移（その他公的）



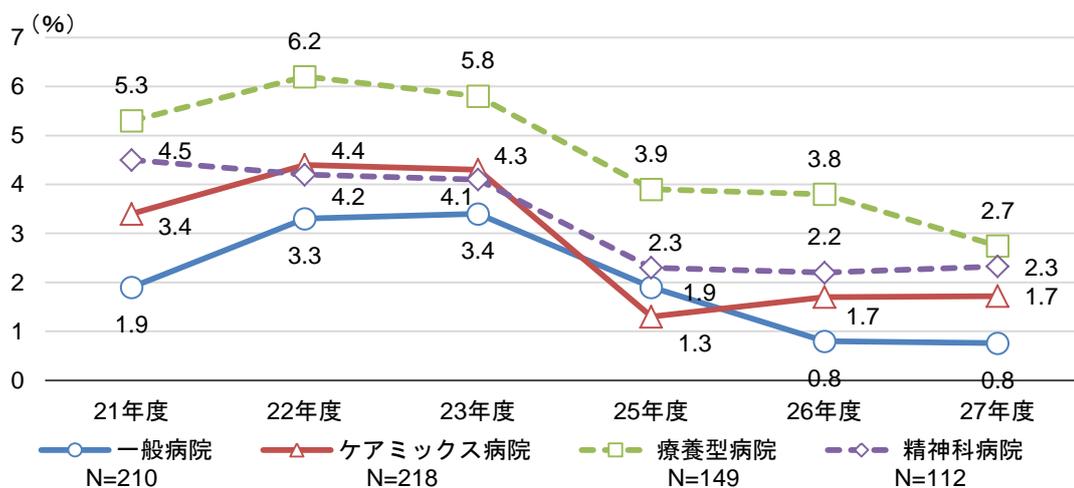
② 医業利益率

医療法人立病院の各病院の医業利益率はピークもボトムも経常利益率と同様の傾向である。精神科病院は医業利益率と経常利益率の差が相対的に大きい。

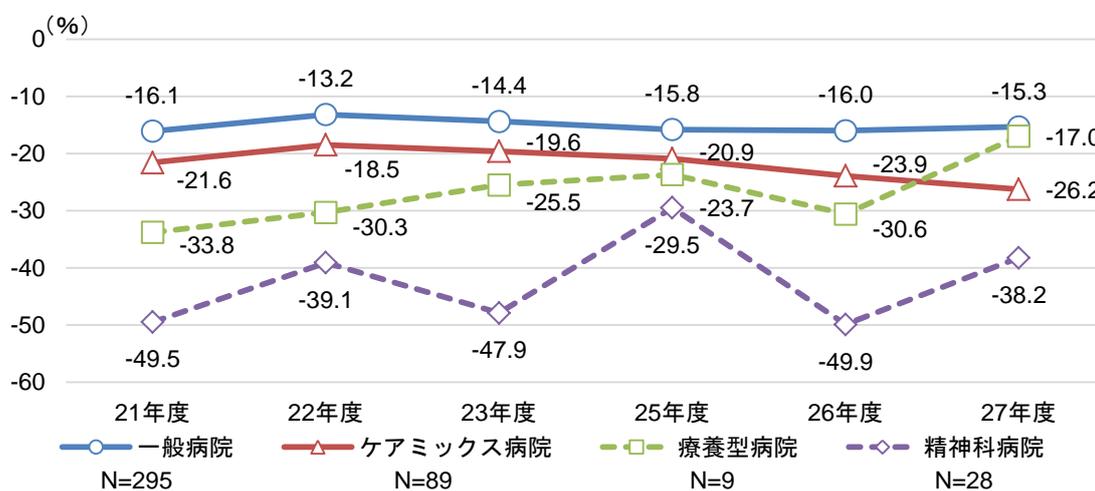
自治体立病院は総じて医業利益率と経常利益率の差が大きく、特に精神科病院において顕著である。また、年度ごとの利益率の格差は医業利益率よりも経常利益率の方が大きい。

経常利益率の格差の方が大きいのは旧社保関係団体立病院やその他公的病院にも当てはまる。

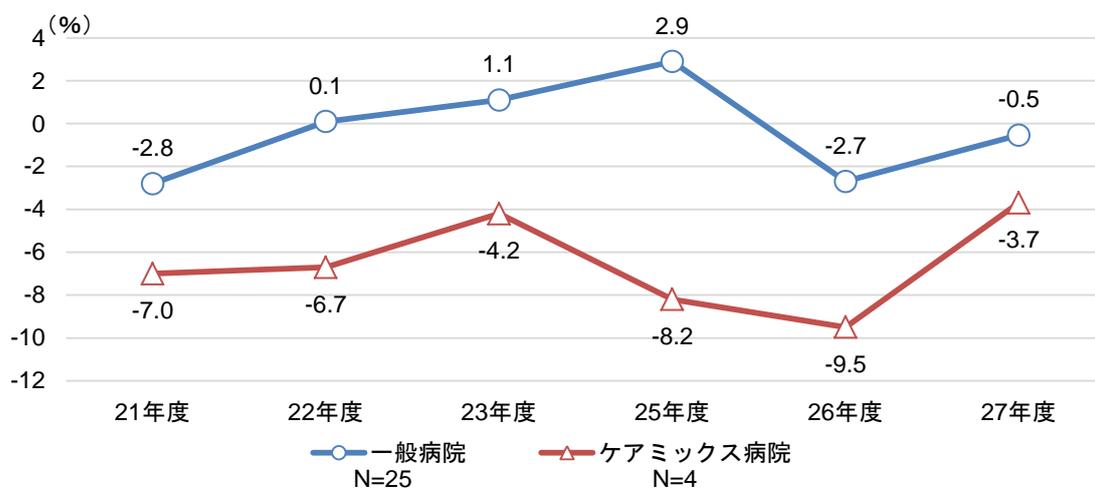
図表Ⅱ-60 医業利益率の推移（医療法人）



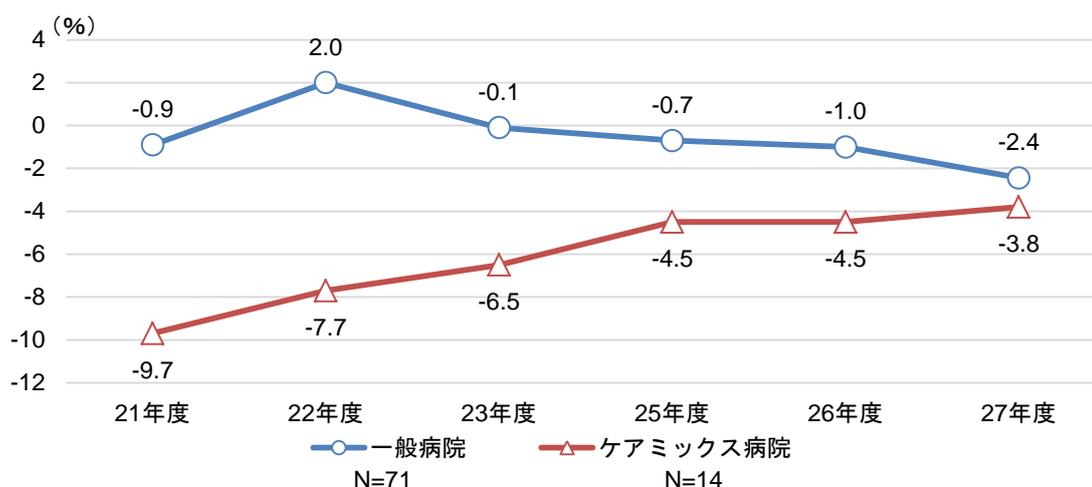
図表Ⅱ-61 医業利益率の推移（自治体）



図表Ⅱ-62 医業利益率の推移（旧社会保険関係団体）



図表Ⅱ-63 医業利益率の推移（その他公的）



③ 人件費比率・材料費比率・資本費比率

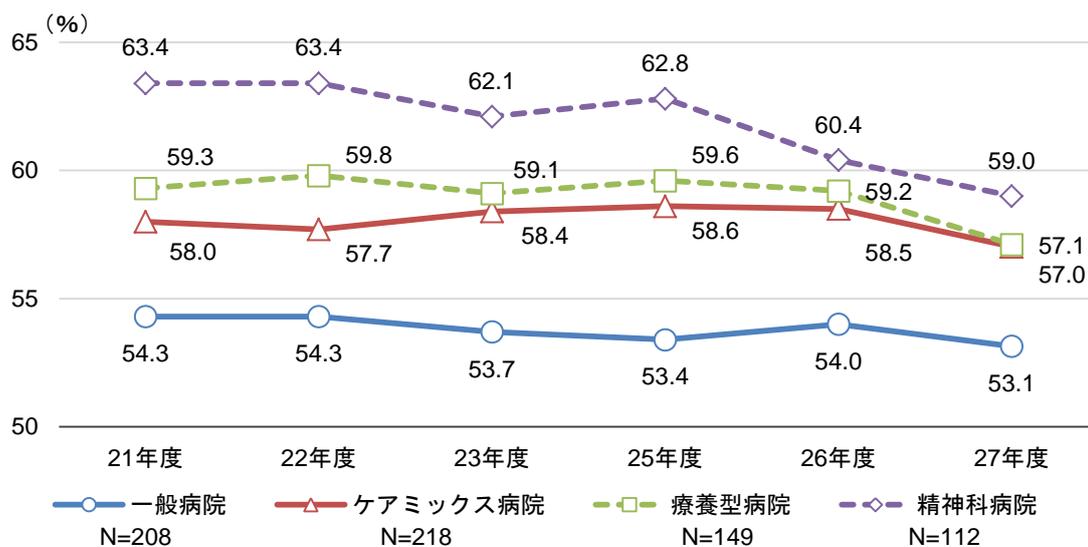
経常利益率の低下原因を検討するため、病院の三大コストである人件費比率、材料費比率、資本費比率（減価償却費比率＋金利負担率）について、医療法人の一般病院に限定して言及する。

医療法人の一般病院の経常利益率は平成23年度の3.8%をピークに漸減していたが27年度には0.3ポイント改善して1.8%となった。医業利益率も平成23年度の3.4%をピークに27年度は0.8%にまで低下している。職員1人あたり人件費は上昇しているが（図表Ⅱ-68）、人件費比率はこの間ほぼ横這いであり（図表Ⅱ-64）、人件費比率に限定すれば経常利益率、医業利益率に及ぼす影響は大きくないと推察される。材料費比率もこの間ほぼ横這いであり、影響は大きくないと推察される（図表Ⅱ-72）。

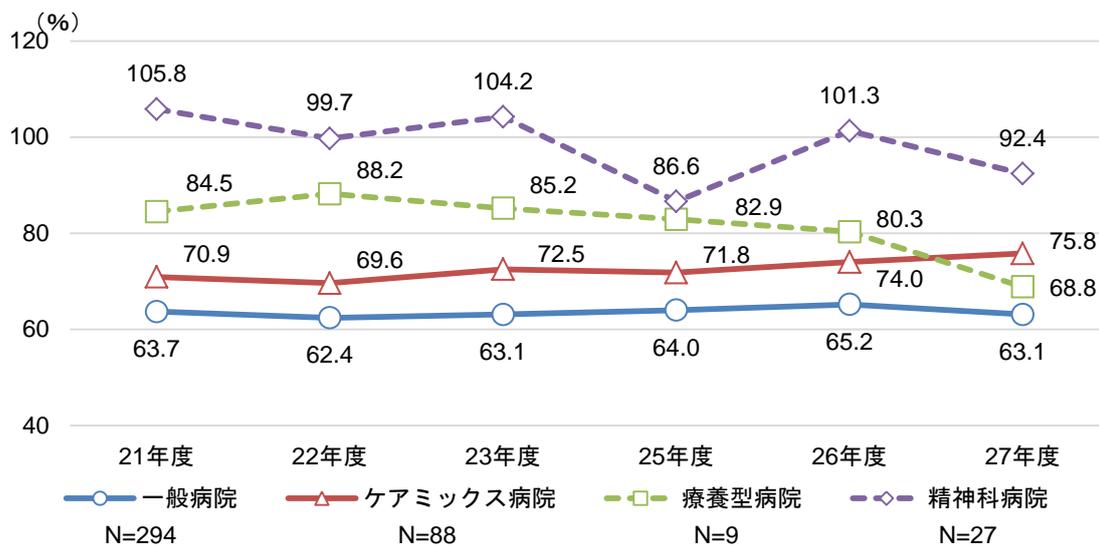
一方、資本費比率は平成22年度の4.9%が翌23年度には5.2%に上昇し、以降5.4%前後に推移している（図表Ⅱ-80）。1床あたりの固定資産額も平成22年度の12,410千円から27年度の14,570千円まで上昇している（図表Ⅱ-84）。但し、資本費比率は人件費比率の1割程度に過ぎず、三大コストの合計値も69%前後で推移していることから、資本費比率の上昇が経常利益率の低下の直接の原因とまでは言い切れない。

なお、1床あたりの医業収益は22年度の19,454千円から27年度の21,865千円へと増加しており（図表Ⅱ-88）、職員1人あたり人件費が上昇しても人件費比率が上がらない構造となっているが、病床利用率は平成23年度以降低下傾向にあり（図表Ⅱ-92）、医療機器等への投資により入院単価を向上させていると推察される。

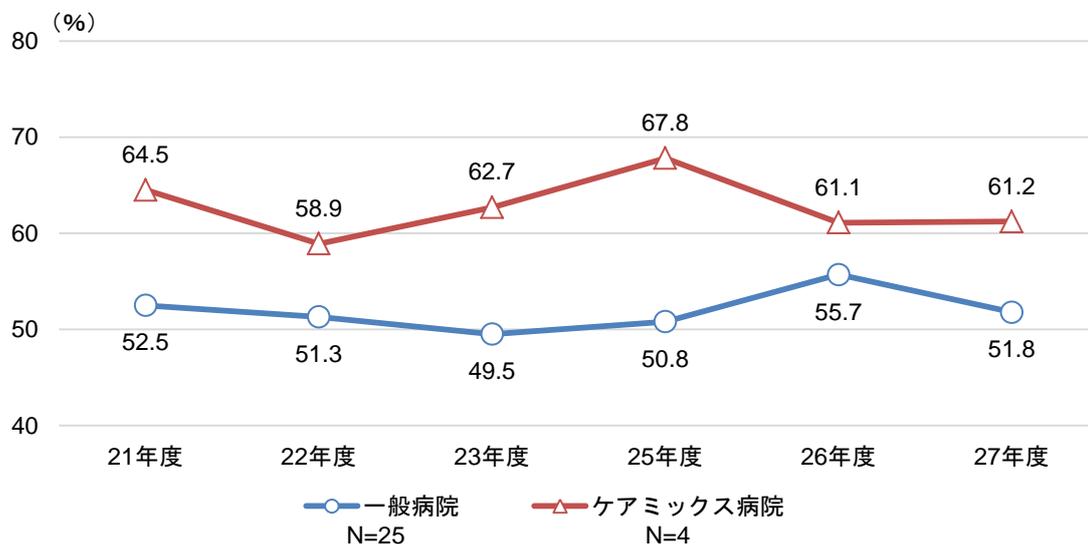
図表Ⅱ-64 人件費比率の推移（医療法人）



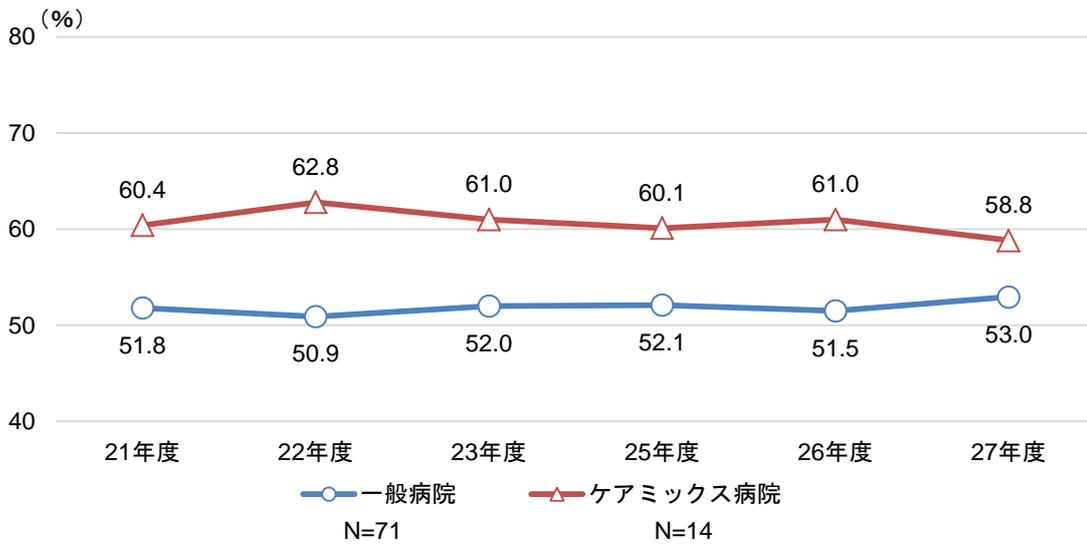
図表Ⅱ-65 人件費比率の推移（自治体）



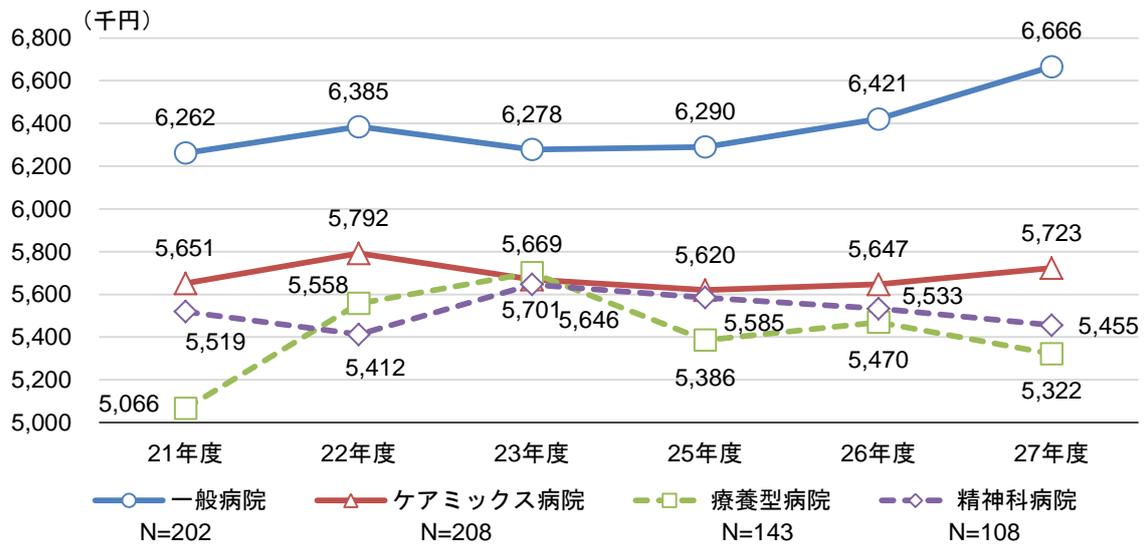
図表Ⅱ-66 人件費比率の推移（旧社会保険関係団体）



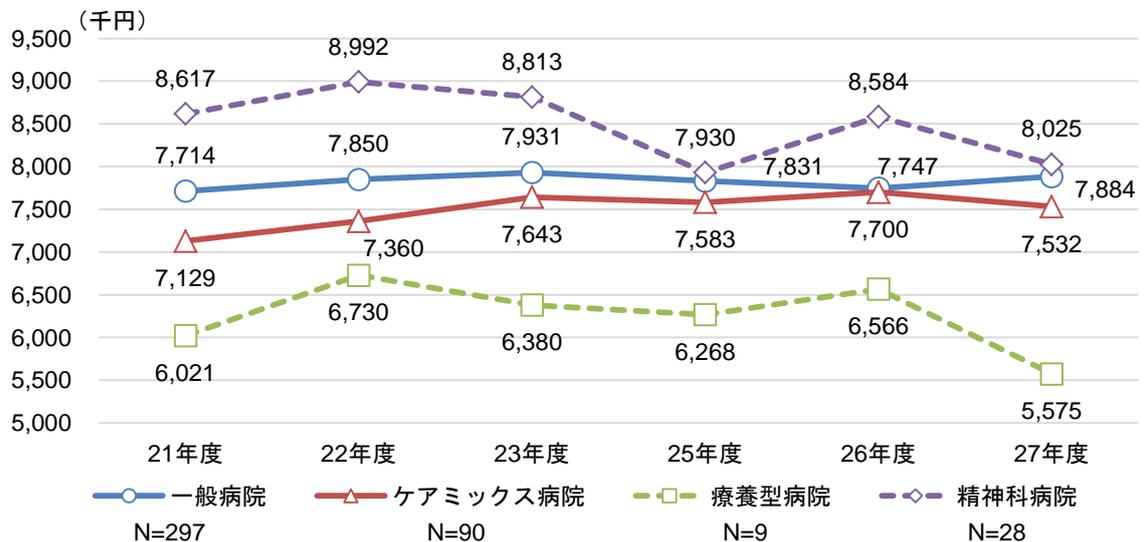
図表Ⅱ-67 人件費比率の推移（その他公的）



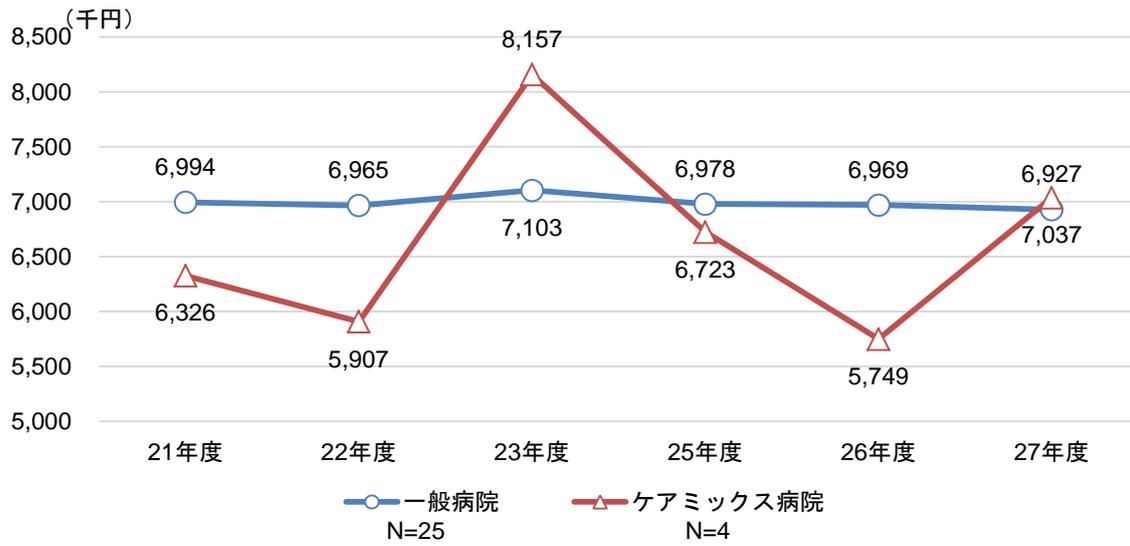
図表Ⅱ-68 職員1人あたり人件費の推移（医療法人）



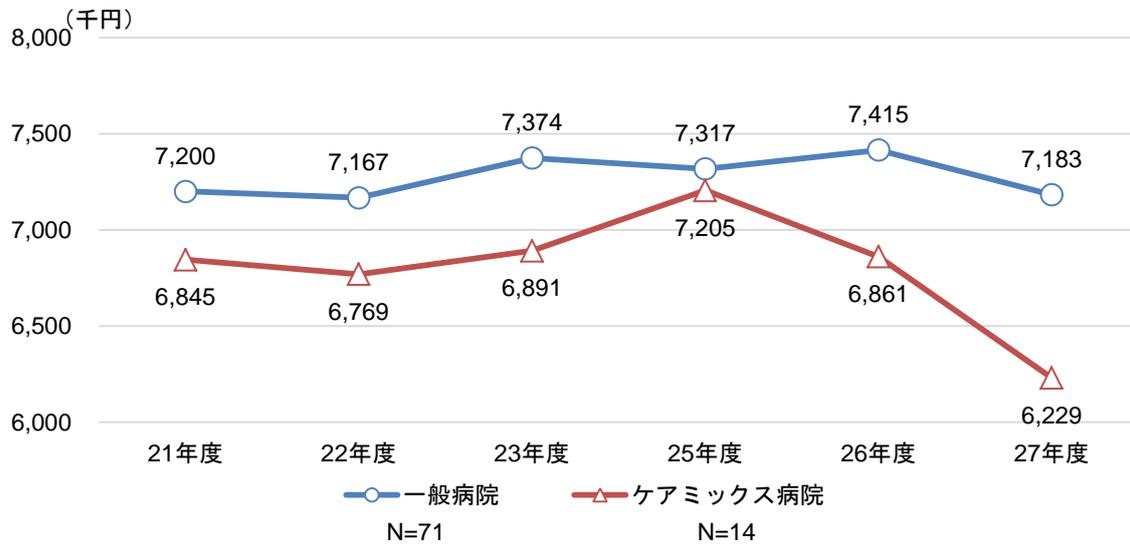
図表Ⅱ-69 職員1人あたり人件費の推移（自治体）



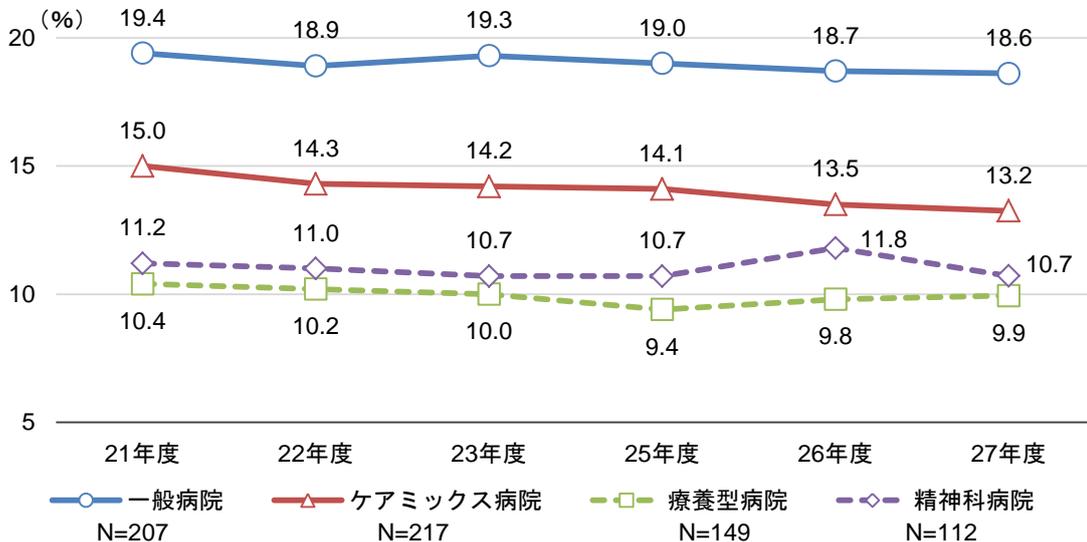
図表Ⅱ-70 職員1人あたり人件費の推移（旧社会保険関係団体）



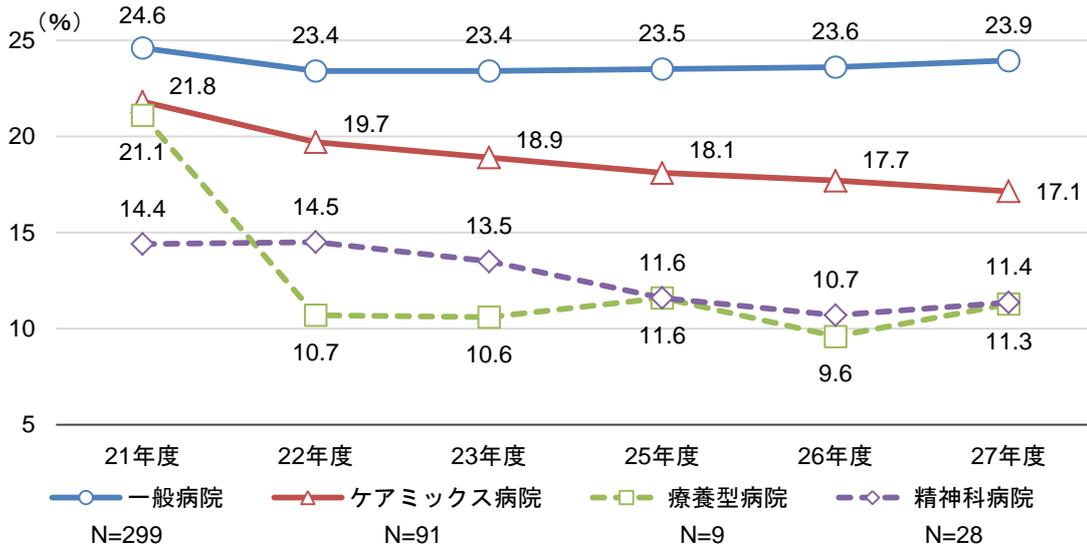
図表Ⅱ-71 職員1人あたり人件費の推移（その他公的）



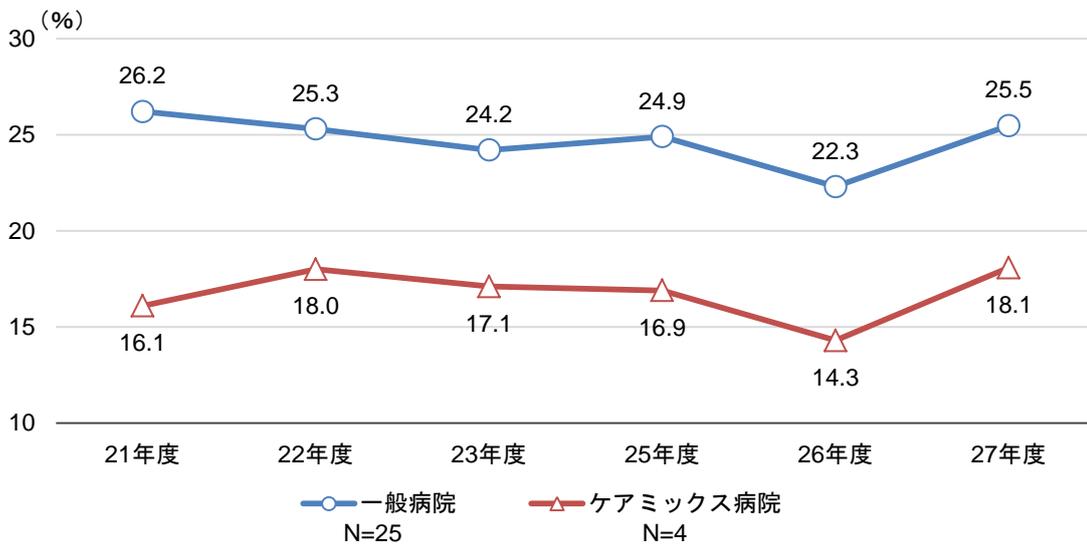
図表Ⅱ-72 材料費比率の推移（医療法人）



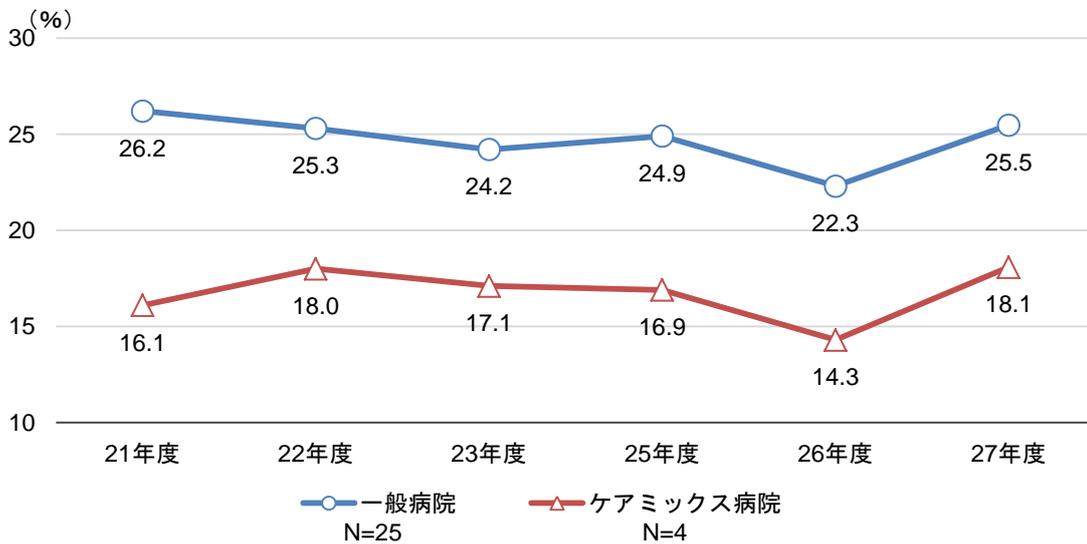
図表Ⅱ-73 材料費比率の推移（自治体）



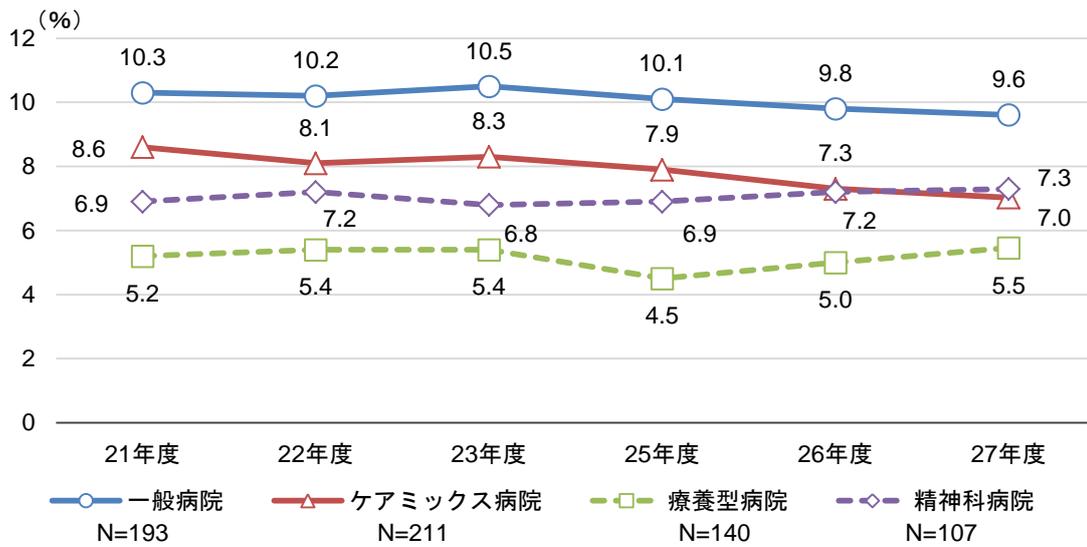
図表Ⅱ-74 材料費比率の推移（旧社会保険関係団体）



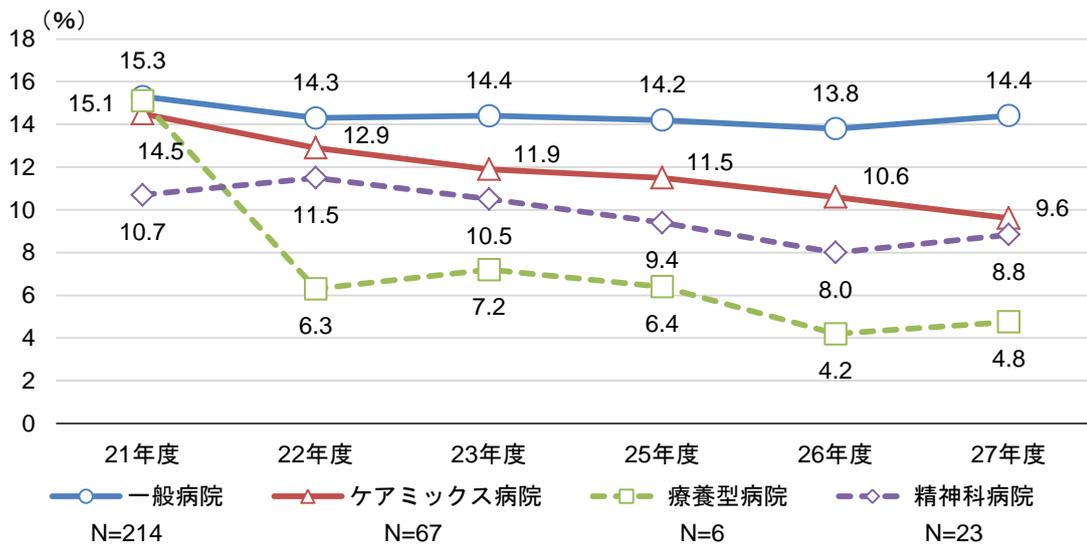
図表Ⅱ-75 材料費比率の推移（その他公的）



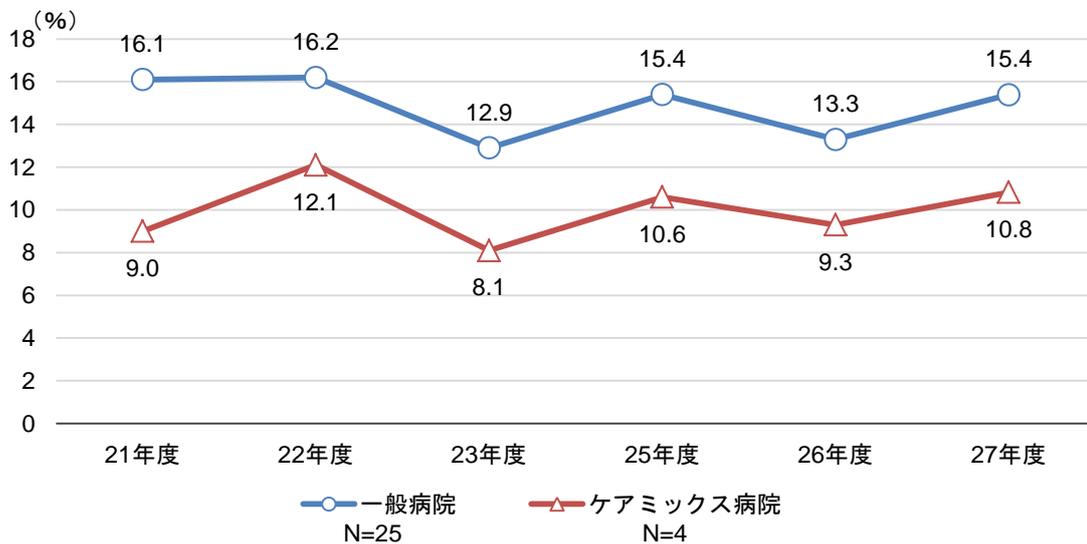
図表Ⅱ-76 医薬品費比率の推移（医療法人）



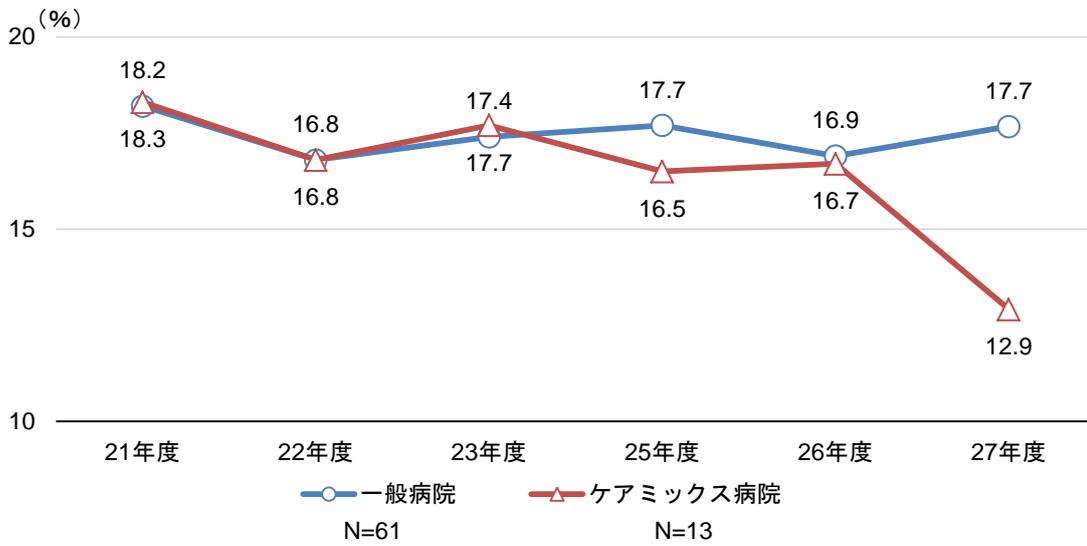
図表Ⅱ-77 医薬品費比率の推移（自治体）



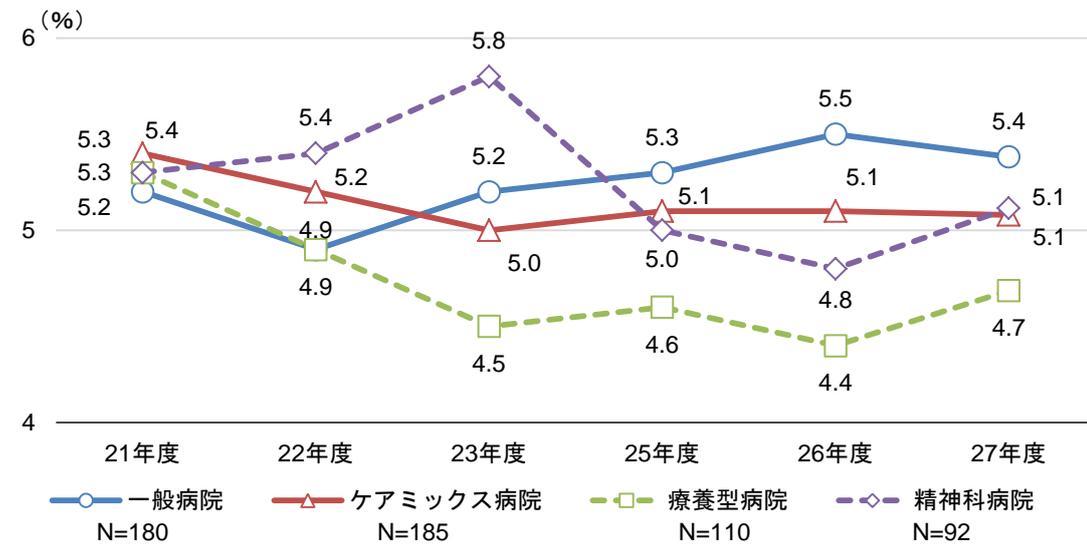
図表Ⅱ-78 医薬品費比率の推移（旧社会保険関係団体）



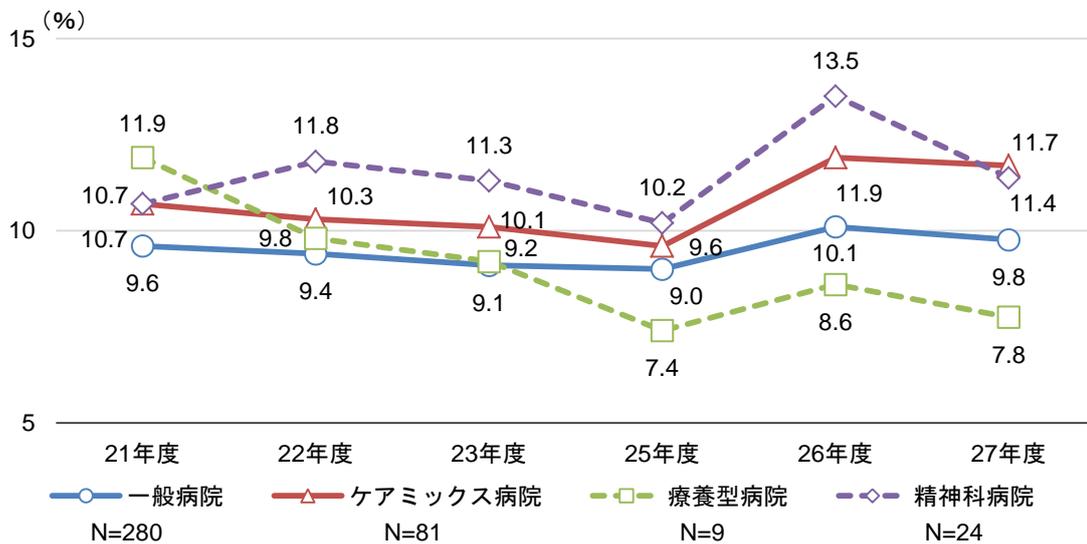
図表Ⅱ-79 医薬品費比率の推移（その他公的）



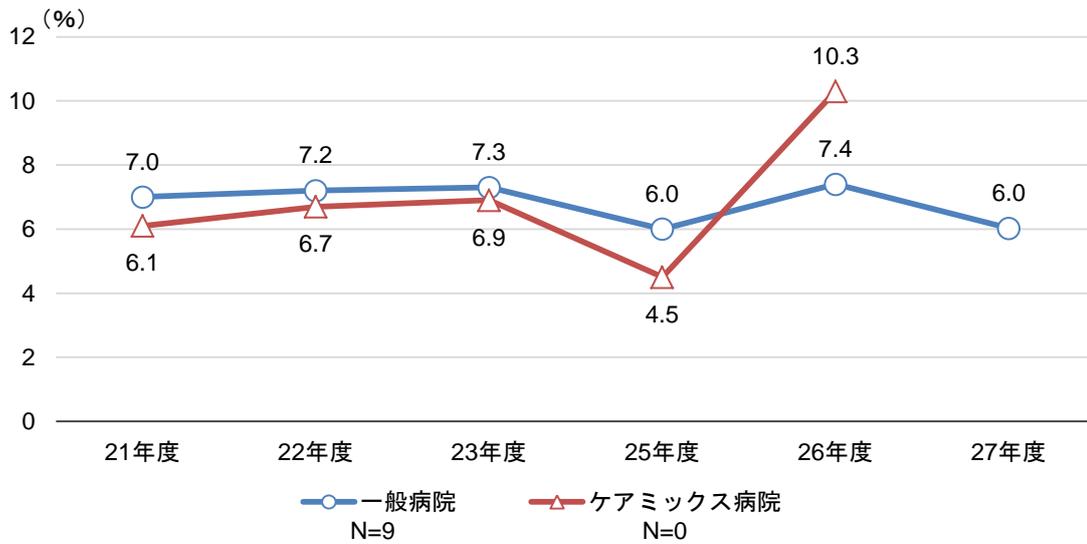
図表Ⅱ-80 資本費比率の推移（医療法人）



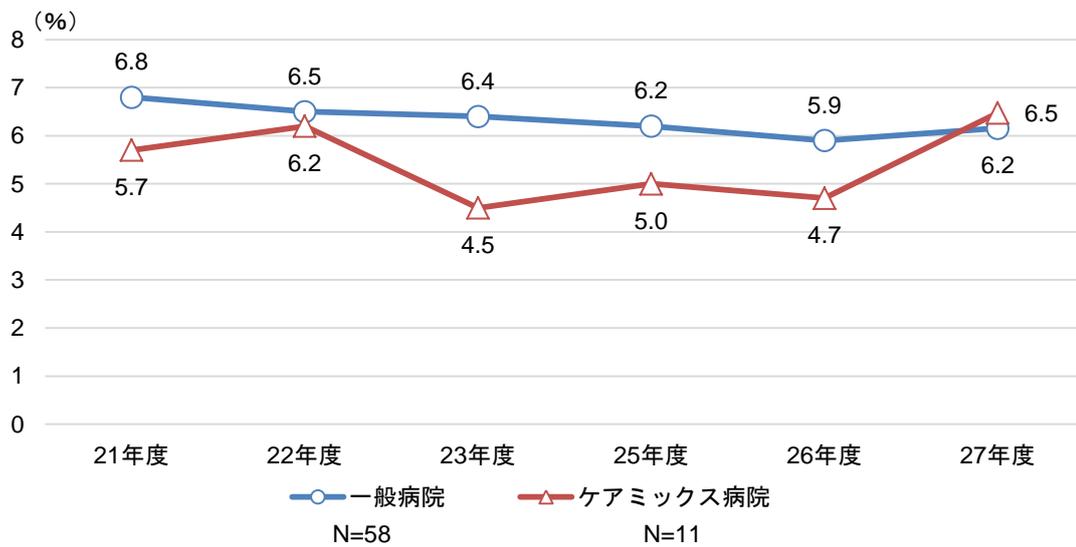
図表Ⅱ-81 資本費比率の推移（自治体）



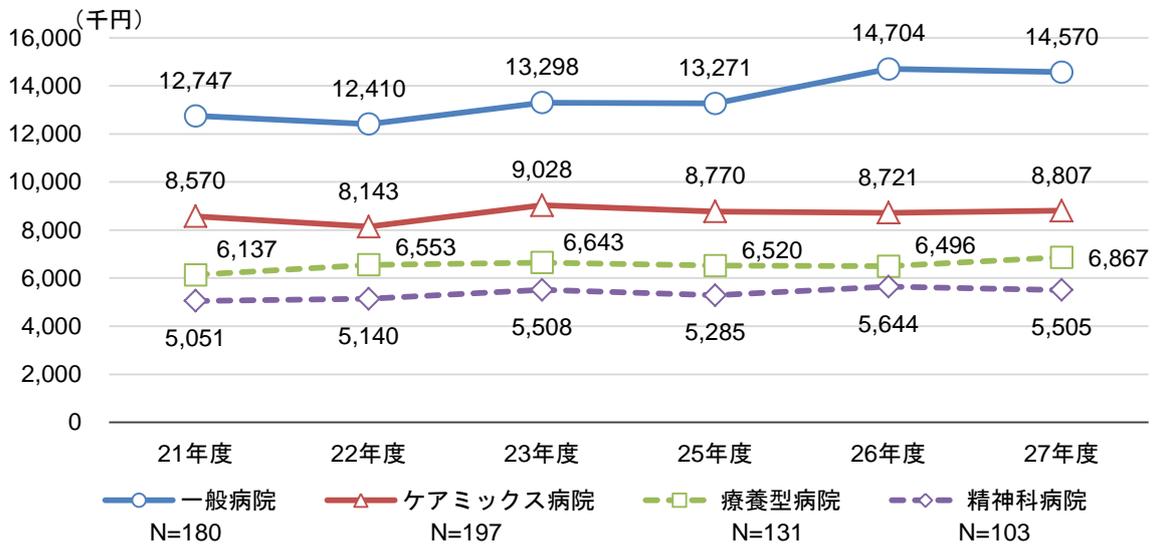
図表Ⅱ-82 資本費比率の推移（旧社会保険関係団体）



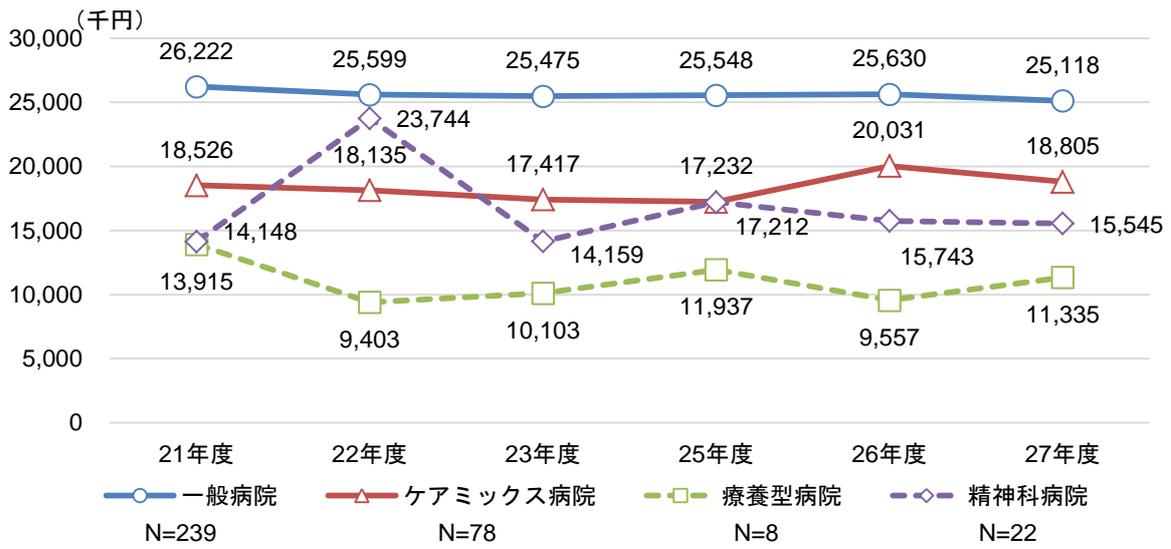
図表Ⅱ-83 資本費比率の推移（その他公的）



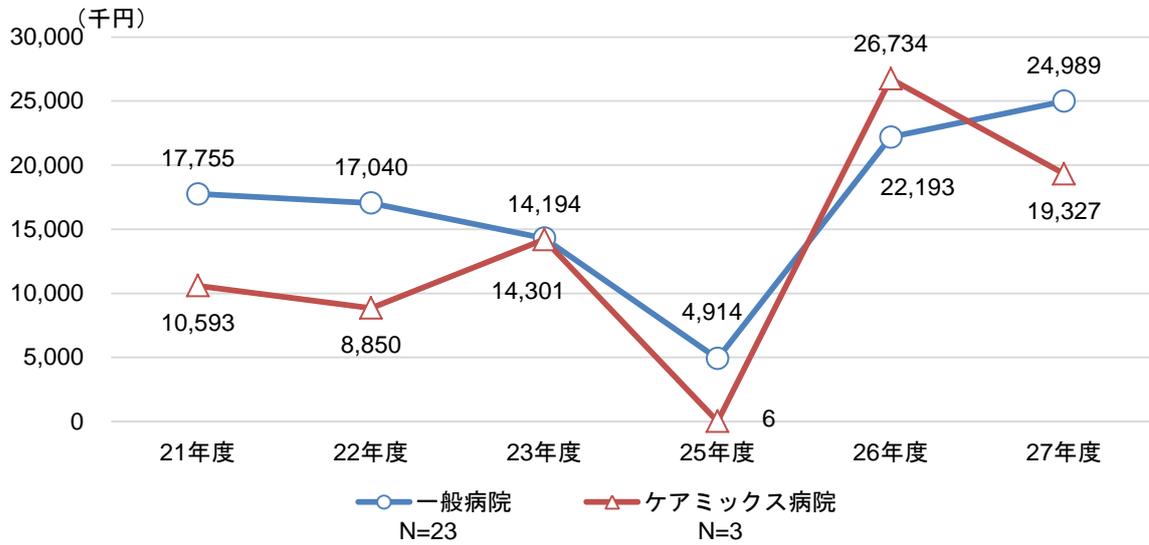
図表Ⅱ-84 1床あたり固定資産額の推移（医療法人）



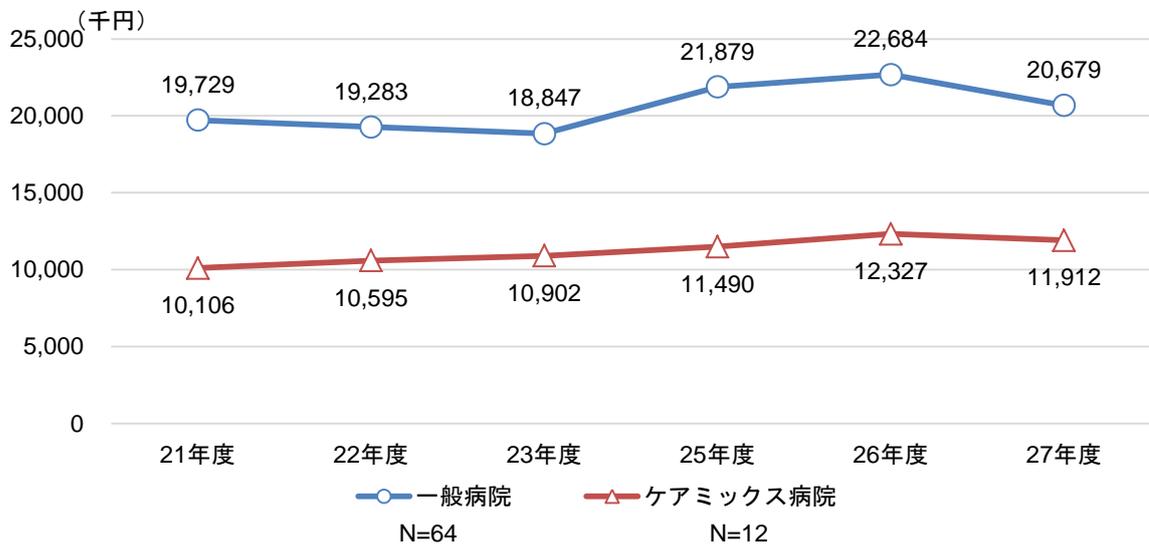
図表Ⅱ-85 1床あたり固定資産額の推移（自治体）



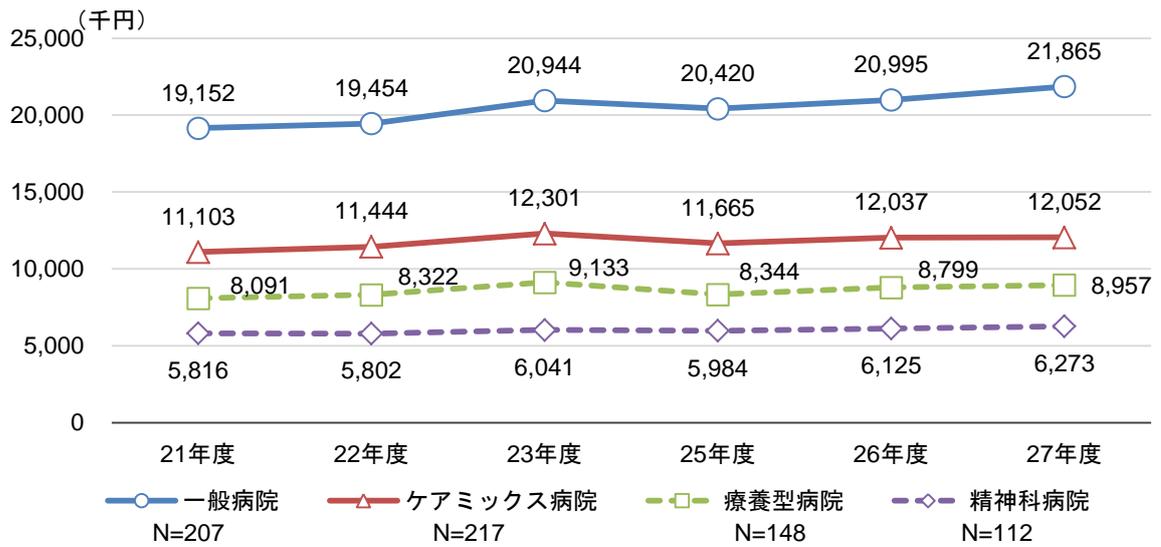
図表Ⅱ-86 1床あたり固定資産額の推移（旧社会保険関係団体）



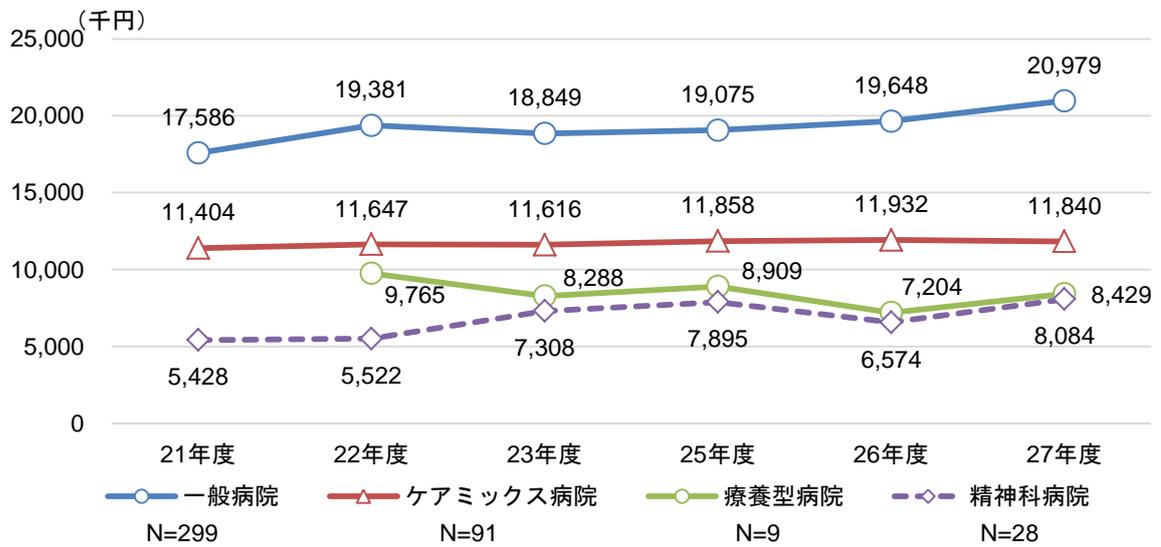
図表Ⅱ-87 1床あたり固定資産額の推移（その他公的）



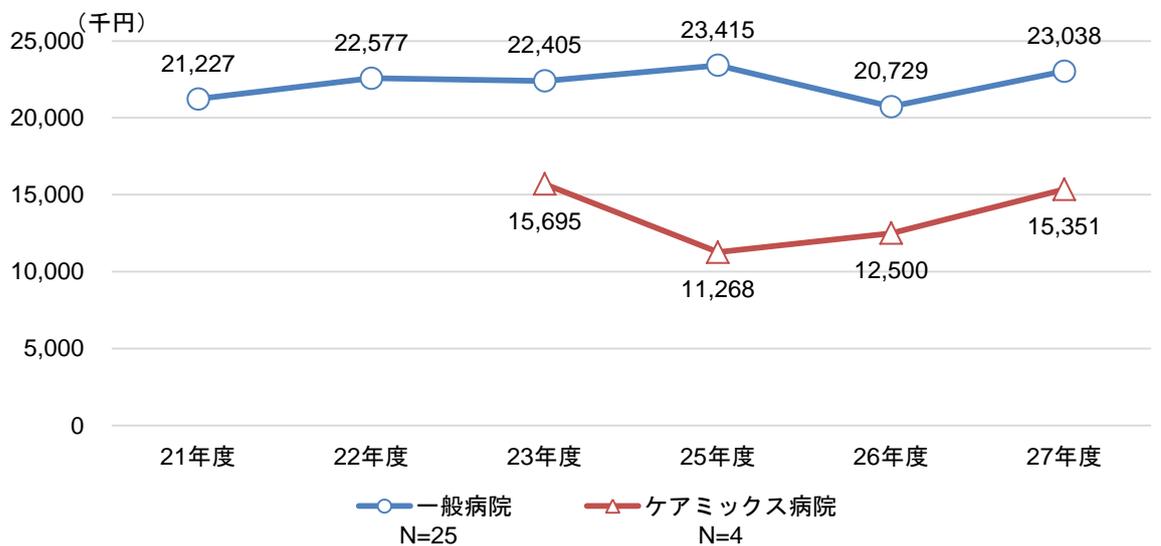
図表Ⅱ-88 1床あたり医業収益の推移（医療法人）



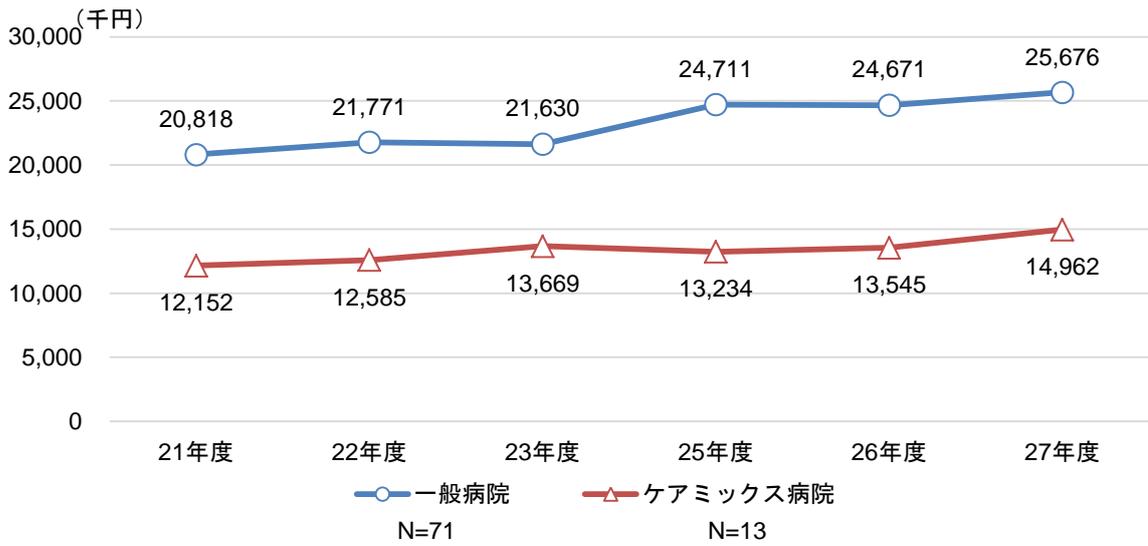
図表Ⅱ-89 1床あたり医業収益の推移（自治体）



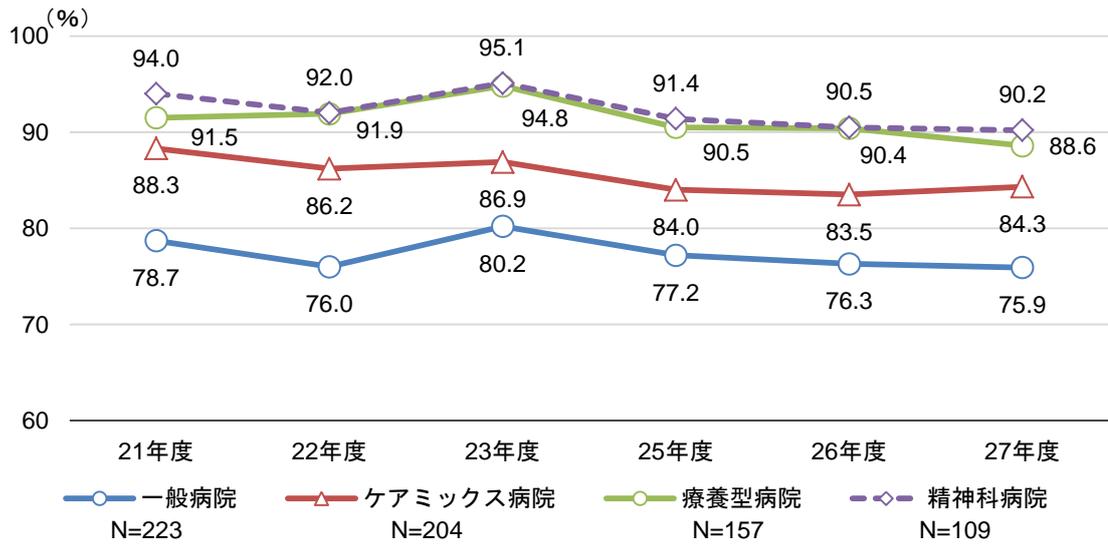
図表Ⅱ-90 1床あたり医業収益の推移（旧社会保険関係団体）



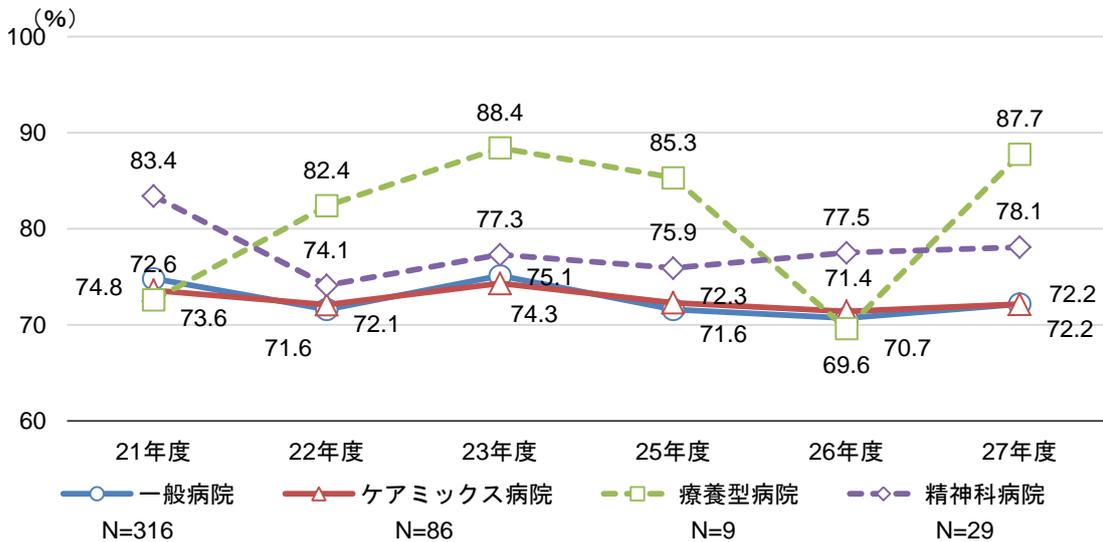
図表Ⅱ-91 1床あたり医業収益の推移（その他公的）



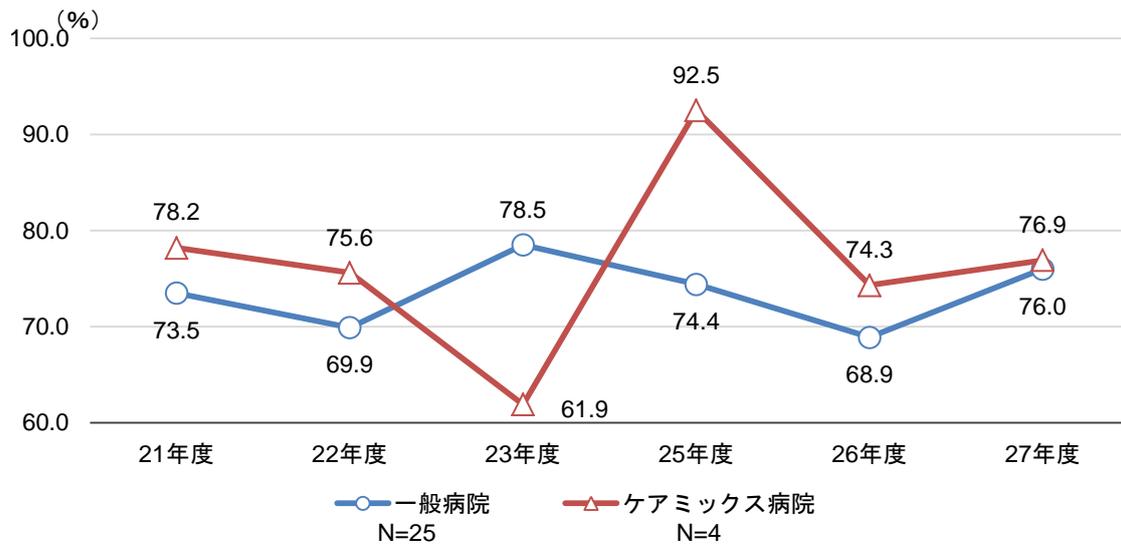
図表Ⅱ-92 病床利用率の推移（医療法人）



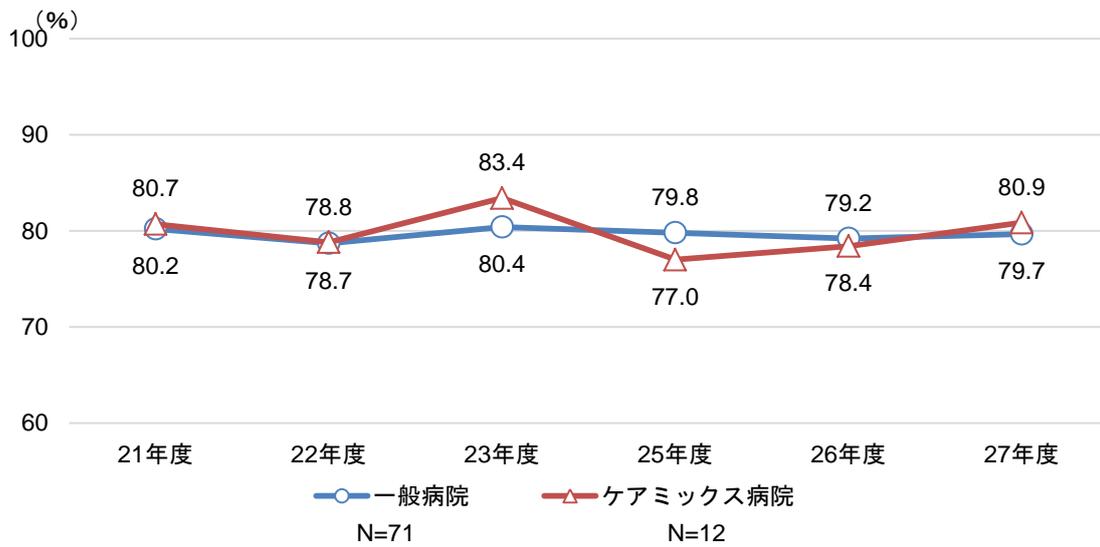
図表Ⅱ-93 病床利用率の推移（自治体）



図表Ⅱ-94 病床利用率の推移（旧社会保険関係団体）



図表Ⅱ-95 病床利用率の推移（その他公的）



【参考1】指標一覽

【収益性】

指 標	算 式
医業利益率	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}}$
総資本医業利益率	$\frac{\text{医業利益}}{\text{総資本}}$
経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{医業収益}}$
償却前医業利益率	$\frac{\text{医業利益} + \text{減価償却費}}{\text{医業収益}}$
病床利用率	$\frac{\text{1日平均入院患者数}}{\text{稼働病床数}}$
固定費比率	$\frac{\text{給与費} + \text{設備関係費} + \text{支払利息}}{\text{医業収益}}$
材料費比率	$\frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}}$
医薬品費比率	$\frac{\text{医薬品費}}{\text{医業収益}}$
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{医業収益}}$
委託費比率	$\frac{\text{委託費}}{\text{医業収益}}$
設備関係費比率	$\frac{\text{設備関係費}}{\text{医業収益}}$
減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{医業収益}}$
経費比率	$\frac{\text{経費}}{\text{医業収益}}$
金利負担率	$\frac{\text{支払利息}}{\text{医業収益}}$
総資本回転率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{総資本}}$
固定資産回転率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{固定資産}}$
常勤（非常勤）医師人件費比率	$\frac{\text{常勤（非常勤）医師給料・賞与}}{\text{医業収益}}$
常勤（非常勤）看護師人件費比率	$\frac{\text{常勤（非常勤）看護師給料・賞与}}{\text{医業収益}}$

指 標	算 式
常勤（非常勤）その他職員人件費比率	$\frac{\text{常勤（非常勤）その他職員給料・賞与}}{\text{医業収益}}$
常勤医師 1 人あたり人件費	$\frac{\text{常勤医師給料・賞与}}{\text{常勤医師数}}$
常勤看護師 1 人あたり人件費	$\frac{\text{常勤看護師給料・賞与}}{\text{常勤看護師数}}$
職員 1 人あたり人件費	$\frac{\text{給与費}}{\text{常勤職員数} + \text{非常勤（常勤換算）職員数}}$
職員 1 人あたり医業収益	$\frac{\text{医業収益}}{\text{常勤職員数} + \text{非常勤（常勤換算）職員数}}$
1 床あたり医業収益	$\frac{\text{医業収益}}{\text{許可病床数}}$

【安全性】

指 標	算 式
自己資本比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総資本}}$
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$
借入金比率	$\frac{\text{長期借入金}}{\text{医業収益}}$
償還期間	$\frac{\text{長期借入金}}{(\text{税引前当期純利益} \times 70\%) + \text{減価償却費}}$
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
1 床あたり固定資産額	$\frac{\text{固定資産}}{\text{許可病床数}}$
償却金利前経常利益	$\frac{\text{経常利益} + \text{減価償却費} + \text{支払利息}}{\text{医業収益}}$

【機能性】

指 標	算 式
平均在院日数	$\frac{\text{在院患者延数}}{(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数}) \times 1/2}$
外来／入院比	$\frac{\text{1 日平均外来患者数}}{\text{1 日平均入院患者数}}$
1 床あたり 1 日平均外来患者数	$\frac{\text{外来患者延数}}{365 \text{ 日} \times \text{許可病床数}}$

指 標	算 式
患者 1 人 1 日あたり入院収益	$\frac{\text{入院診療収益} + \text{室料差額等収益}}{\text{在院患者延数} + \text{退院患者数}}$
患者 1 人 1 日あたり入院収益 (室料差額除く)	$\frac{\text{入院診療収益}}{\text{在院患者延数} + \text{退院患者数}}$
外来患者 1 人 1 日あたり外来収益	$\frac{\text{外来診療収益}}{\text{外来患者延数}}$
医師 1 人あたり入院患者数	$\frac{\text{1 日平均入院患者数}}{\text{常勤医師数} + \text{非常勤 (常勤換算) 医師数}}$
医師 1 人あたり外来患者数	$\frac{\text{1 日平均外来患者数}}{\text{常勤医師数} + \text{非常勤 (常勤換算) 医師数}}$
看護師 1 人あたり入院患者数	$\frac{\text{1 日平均入院患者数}}{\text{常勤看護師数} + \text{非常勤 (常勤換算) 看護師数}}$
看護師 1 人あたり外来患者数	$\frac{\text{1 日平均外来患者数}}{\text{常勤看護師数} + \text{非常勤 (常勤換算) 看護師数}}$
職員 1 人あたり入院患者数	$\frac{\text{1 日平均入院患者数}}{\text{常勤職員数} + \text{非常勤 (常勤換算) 職員数}}$
職員 1 人あたり外来患者数	$\frac{\text{1 日平均外来患者数}}{\text{常勤職員数} + \text{非常勤 (常勤換算) 職員数}}$
ケアカンファレンス実施率	$\frac{\text{外部機関を交えたカンファレンス記録のある患者数}}{\text{退院患者数}}$
紹介率	$\frac{\text{紹介患者数} + \text{救急患者数}}{\text{初診患者数}}$
逆紹介率	$\frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数}}$
看護必要度の高い患者割合 (一般病棟用)	$\frac{\text{一般病棟用の重症度・看護必要度を満たす在院患者延数}}{\text{在院患者延数}}$
看護必要度の高い患者割合 (回復期リハビリテーション病棟用)	$\frac{\text{入院時日常生活機能指数が 10 点以上の在院患者延数}}{\text{在院患者延数}}$
二次医療圏内からの在院患者割合	$\frac{\text{二次医療圏内の在院患者延数}}{\text{在院患者延数}}$
二次医療圏外からの在院患者割合	$\frac{\text{二次医療圏外の在院患者延数}}{\text{在院患者延数}}$
二次医療圏外からの外来患者割合	$\frac{\text{二次医療圏外の外來患者延数}}{\text{外來患者延数}}$

【参考2】グルーピングとその定義

1) 病院種別比較

- 一般病院 : 一般病床が全体の80%以上を占める病院
- 療養型病院 : 療養病床が全体の80%以上を占める病院
- 精神科病院 : 精神病床が全体の80%以上を占める病院
- ケアミックス病院 : 上記以外の病院

2) 開設者別比較

- 医療法人
- 自治体 (都道府県・市町村・地方独立行政法人)
- 旧社会保険関係団体
 - 「国家公務員共済組合連合会」「公立学校共済組合」を除く共済組合および連合会、健康保険組合およびその連合会、国民健康保険組合
 - JCHO (独立行政法人地域医療機能推進機構)
- その他公的
 - 日本赤十字社
 - 社会福祉法人恩賜財団済生会
 - 社会福祉法人北海道社会事業協会
 - 厚生 (医療) 農業協同組合連合会

3) 病床規模別比較

- 20床以上 49床以下 (精神科病院のみ20床以上199床以下。以下同じ。)
- 50床以上 99床以下
- 100床以上 199床以下
- 200床以上 299床以下
- 300床以上 399床以下
- 400床以上

4) 機能別比較

- ① 地域医療支援病院承認の有無別
 - 承認あり
 - 承認なし

- ② へき地医療拠点病院の指定有無別
 - 指定あり
 - 指定なし

③ 臨床研修指定病院指定区分別

- 指定あり（基幹型）
- 指定あり（協力型）
- 指定なし

④ 平均在院日数別

- 14 日未満
- 14 日以上～30 日未満
- 30 日以上～60 日未満
- 60 日以上～120 日未満
- 120 日以上～180 日未満
- 180 日以上～1 年未満
- 1 年以上

⑤ DPC適用区分別

- DPC対象病院
- DPC準備病院
- DPC適用なし

⑥ 一般病棟入院基本料別

- 7 対 1 入院基本料
- 10 対 1 入院基本料
- 13 対 1 入院基本料
- 15 対 1 入院基本料
- その他

⑦ 療養病棟入院基本料別

- 療養病棟入院基本料 1
- 療養病棟入院基本料 2
- その他

⑧ 精神病棟入院基本料別

- 10 対 1 入院基本料
- 13 対 1 入院基本料
- 15 対 1 入院基本料
- 18 対 1 入院基本料
- 20 対 1 入院基本料
- その他

⑨ 回復期リハビリテーション病棟入院料別

- 回復期リハビリテーション病棟入院料 1
- 回復期リハビリテーション病棟入院料 2
- 回復期リハビリテーション病棟入院料 3
- その他

⑩ 地域包括ケア病棟入院料

- 地域包括ケア病棟入院料 1
- 地域包括ケア病棟入院料 2
- 地域包括ケア入院医療管理料 1
- 地域包括ケア入院医療管理料 2

⑪ 救命救急センターの指定有無別

- 救命救急センターの指定あり
- 救命救急センターの指定なし

⑫ がん診療連携拠点病院の指定有無別

- がん診療連携拠点病院の指定あり
- がん診療連携拠点病院の指定なし

⑬ 周産期母子医療センターの指定有無別

- 周産期母子医療センターの指定あり
- 周産期母子医療センターの指定なし

⑭ 災害拠点病院の指定有無別

- 災害拠点病院の指定あり
- 災害拠点病院の指定なし

⑮ 在宅療養支援病院の認定有無別

- 在宅療養支援病院の認定あり
- 在宅療養支援病院の認定なし

⑯ 在宅療養後方支援病院の指定有無別

- 在宅療養後方支援病院の指定あり
- 在宅療養後方支援病院の指定なし

⑰ 外部評価の有無別

- 外部評価の受審あり
- 外部評価の受審なし

5) 医薬分業別比較

- 院外処方実施病院
- 院内処方実施病院
- 院外・院内処方実施病院

6) 地域別比較

- 北海道：北海道
- 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

7) 黒字・赤字別比較

① 黒字赤字

- 黒字病院：当該年度の経常利益が黒字
- 赤字病院：当該年度の経常利益が赤字

② 恒常的黒字赤字（経常利益）

- 恒常的黒字病院：過去3年間（平成25～27年度）経常利益が継続して黒字
- 恒常的赤字病院：過去3年間（平成25～27年度）経常利益が継続して赤字
- 中間病院：過去3年間（平成25～27年度）経常利益が黒字と赤字が交錯

③ 恒常的黒字赤字（医業利益）

- 恒常的黒字病院：過去3年間（平成25～27年度）医業利益が継続して黒字
- 恒常的赤字病院：過去3年間（平成25～27年度）医業利益が継続して赤字
- 中間病院：過去3年間（平成25～27年度）医業利益が黒字と赤字が交錯

8) 設備投資有無別比較

- 設備投資実施病院：平成27年度の固定資産が平成25年度の固定資産より1.5倍以上増加
- 設備投資非実施病院：平成27年度の固定資産が平成25年度の固定資産より減少
- 設備投資中間病院：平成27年度の固定資産が平成25年度の固定資産と同額以上1.5倍未満

Ⅲ. 法人が設置する経営重要事項決議のための合議体の状況

1. 背景

平成 27 年医療法改正において、医療法人制度の見直しを行い、理事会に関する規定等が明記されたところである。そのようにガバナンスの強化・透明性の確保が図られていることを鑑み、法人における意思決定機関の構成や開催状況等について、医療法人を対象に現状を調査した。医療法人の種別と施設数は下記のとおりである。

図表Ⅲ-1 医療法人種別施設数

(単位：病院)

	財団	社団 (持分あり)	社団 (持分なし)	(未記入)	総計
社会医療法人	13		26	65	104
特定医療法人	8		34	32	74
出資額限度法人		9		2	11
基金拠出型医療法人			12	3	15
その他の医療法人	8	83	27	114	232
(未記入)	23	215	61	14	313
総計	52	307	160	230	749

2. 集計結果

(1) 合議体の設置

回答のあった医療法人のうち、理事会を設置しているとの回答をした医療法人の割合は 93.9%であった。(注；本調査のアンケート票は病院宛に送付しているため、複数の病院を傘下に持つ法人等においては病院が法人の合議体の設置状況を正確に把握しておらず、無回答になっているものと推察される)。

また、その他合議体を設置していると回答のあった法人は 41 施設であった。その具体的な内容例は下表の通りである。

図表Ⅲ-2 その他合議体の具体的内容例

名称	目的
スタッフ会議	計画立案実行
院長会	経営状況
運営委員会	病院の運営
	理事会の議案作成
経営会議	収支報告等
	具体的施策の決定
	社員総会から委任された事項を審議決定
	月ごとの重要事項協議
	理事会附議事項の審議
執行理事会	理事長の諮問答申
常任理事会	理事会事務局、付託事項の処理
法人運営会議	定款や社員総会にて定められた事項を達成する為の討議
倫理委員会	倫理に関する審議

(2) 合議体の開催回数

平成 27 年度の各合議体の開催回数は理事会が平均 4.2 回、社員総会、評議員会はそれぞれ平均 2.4 回、2.2 回であった。また、合議体はあるものの平成 27 年度の開催回数の回答がない法人も見られた。

図表Ⅲ-3 合議体ごとの平成 27 年度の平均開催回数（単位：回）



	理事会	社員総会	評議員会	その他合議体
平均	4.2	2.4	2.2	9.9
最大	32	12	12	48
最小	0	0	0	0
N数	673	589	153	60

(注) 1施設に複数のその他合議体が設置されている場合がある。

(3) 合議体の構成人数・構成員の属性

理事会の構成人数は平均 7.4 人、そのうち病院関係者が平均 4.3 人であり、理事会の 73.7% に病院関係者が含まれる。

社員総会の構成人数は平均 7.7 人、そのうち出資者が平均 4.4 人と社員総会の 73.7% に出資者が含まれる。

評議員会の構成人数は平均 14.7 人と理事会、社員総会よりも多い。また、構成員のうち病院関係者が最も多く平均 7.0 人である。

図表Ⅲ-4 理事会の平均構成人数

(単位：人)

	合議体の 構成人数	出資者	左記の親族	その他病院 関係者	弁護士・税理 士・学識経験 者等	行政・保健福 祉関係者	地域住民 ・その他
平均	7.4	2.7	2.5	4.3	1.2	0.5	1.4
構成割合	—	69.4%	59.7%	73.7%	37.1%	19.2%	30.4%
構成比率 平均	—	38.2%	32.4%	53.5%	14.2%	7.2%	17.7%
最大	49	32	8	44	9	6	10
N数	677	470	404	499	251	130	206

(注) 構成割合²；その属性の構成員が合議体に含まれている割合

(注) 構成比率平均³；合議体の構成員のうちその属性の構成員数の比率の平均

² 構成割合；各属性 N 数 / 合議体構成人数 N 数

³ 構成比率平均； Σ (各病院の属性人数 / 合議体の人数) / 各属性 N 数

図表Ⅲ-5 社員総会の平均構成人数

(単位：人)

	合議体の 構成人数	出資者	左記の親族	その他病院 関係者	弁護士・税理 士・学識経験 者等	行政・保健福 祉関係者	地域住民 ・その他
平均	7.7	4.4	2.9	3.8	1.4	0.7	1.7
構成割合	—	73.7%	58.3%	56.4%	35.9%	19.3%	30.4%
構成比率 平均	—	51.4%	35.4%	48.9%	16.4%	8.1%	19.3%
最大	255	255	13	25	13	10	23
N数	566	417	330	319	203	109	172

(注) 構成割合；その属性の構成員が合議体に含まれている割合

(注) 構成比率平均；合議体の構成員のうちその属性の構成員が含まれている割合の平均

図表Ⅲ-6 評議員会の平均構成人数

(単位：人)

	合議体の 構成人数	出資者	左記の親族	その他病院 関係者	弁護士・税理 士・学識経験 者等	行政・保健福 祉関係者	地域住民 ・その他
平均	14.7	0.4	1.8	7.0	2.2	2.4	5.9
構成割合	—	26.4%	44.4%	88.9%	62.5%	41.7%	78.5%
構成比率 平均	—	0.9%	13.8%	48.5%	17.2%	15.4%	37.9%
最大	98	7	7	63	12	10	33
N数	144	38	64	128	90	60	113

(注) 構成割合；その属性の構成員が合議体に含まれている割合

(注) 構成比率平均；合議体の構成員のうちその属性の構成員が含まれている割合の平均

(4) 監事の人数

監事的人数は平均で1.4人であり、構成員の属性別では弁護士・税理士・学識経験者等が最も多く平均1.14人であり、監事がいると回答した施設の60.9%に含まれる。

図表Ⅲ-7 監事の平均人数とその属性

(単位：人)

	監事的人数	弁護士・税理士・ 学識経験者等	行政・保健福祉関係者	地域住民・その他
平均	1.42	1.14	0.69	1.09
構成割合	—	60.9%	20.9%	50.6%
最大	7	3	6	3
N数	700	426	146	354

(注) 構成割合；その属性の構成員が合議体に含まれている割合

(5) 合議体の決議状況

90%以上の法人が理事会、社員総会、評議員会ともに年間を通して「反対意見や懸念表明はなかった」と回答した。一方で、懸念表明があった法人が全体の5.5%、反対意見があった病院が0.8%、一部の議案が持ち越された法人が0.9%、否決された議案がある法人が全体の0.4%である。

その他合議体では「懸念表明等があったが、多数決により議決された」が30.0%と上記3合議体より20ポイント以上高い。

合議体構成員別に比較し、病院関係者以外の比率が高い法人だから持ち越し又は否決議案が増加するとの関係は見られない。(図表Ⅲ-9)

図表Ⅲ-8 平成27年度の合議体種別ごとの決議状況

		年間を通して反対や懸念表明はなかった	懸念表明等があったが、多数決により議決された	反対意見があったが、多数決により議決された	反対意見等があり、一部の議案が持ち越された	否決された議案がある	合計
理事会	件数	613	34	5	11	4	667
	割合	91.9%	5.1%	0.7%	1.6%	0.6%	—
社員総会	件数	549	23	4	2	1	579
	割合	94.8%	4.0%	0.7%	0.3%	0.2%	—
評議員会	件数	128	9	0	0	0	137
	割合	93.4%	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%	—
その他合議体	件数	24	12	3	0	1	40
	割合	60.0%	30.0%	7.5%	0.0%	2.5%	—
合計	件数	1,314	78	12	13	6	1,423
	割合	92.3%	5.5%	0.8%	0.9%	0.4%	—

図表Ⅲ-9 病院関係者以外の構成員比率ごとの決議状況

	病院関係者以外の構成員比率	該当数	年間を通して反対や懸念表明はなかった		懸念表明等があったが、多数決により議決された		反対意見があったが、多数決により議決された		反対意見等があり、一部の議案が持ち越された		否決された議案がある		回答数合計
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
理事会	0%	263	235	92.5%	14	5.5%	2	0.8%	3	1.2%	0	0.0%	254
	0~30%未満	134	118	91.5%	4	3.1%	1	0.8%	4	3.1%	2	1.6%	129
	30%以上	90	81	93.1%	5	5.7%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	87
	不明		179	90.9%	11	5.6%	2	1.0%	3	1.5%	2	1.0%	197
社員総会	0%	219	205	95.8%	7	3.3%	2	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	214
	0~30%未満	94	88	94.6%	3	3.2%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%	93
	30%以上	82	76	92.7%	6	7.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	82
	不明		180	94.7%	7	3.7%	1	0.5%	1	0.5%	1	0.5%	190
評議員会	0%	12	12	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12
	0~30%未満	22	21	95.5%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	22
	30%以上	89	79	91.9%	7	8.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	86
	不明		16	94.1%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	17

(6) 「持ち越された議案」「否決された議案」

「持ち越された議案」もしくは「否決された議案」は事業計画・予算・決算に関する議案が最も多く 21 件である。次いで定款・寄付行為の変更に関する議案 7 件、幹部職員の人事に関する議案が 6 件となっている。(図表Ⅲ-10)

法人種別では財団において「剰余金又は損失金の処理に関する議案」に対し、持ち越し又は否決となる割合が高い。(図表Ⅲ-11)

その他には借入金の限度額、退職金規程、公募事業に関する議案が持ち越し又は否決となったケース(各 1 件)があった。

図表Ⅲ-10 「持ち越された議案」「否決された議案」の件数

定款又は寄附行為の変更に関する議案	基本財産の設定及び処分に関する議案	事業計画・予算・決算に関する議案	重要な資産の取得または処分	剰余金又は損失金の処理に関する議案	幹部職員の人事に関する議案	法人の解散または他法人との合併に関する議案
7	1	21	2	5	6	1

図表Ⅲ-11 法人種別ごとの「持ち越された議案」「否決された議案」の件数①

	定款又は寄附行為の変更に関する議案		基本財産の設定及び処分に関する議案		事業計画・予算・決算に関する議案		重要な資産の取得または処分		剰余金又は損失金の処理に関する議案		幹部職員の人事に関する議案		法人の解散または他法人との合併に関する議案		回答数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
財団	0	0.0%	0	0.0%	2	3.8%	0	0.0%	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	52
社団(持分なし)	1	0.6%	0	0.0%	7	4.4%	1	0.6%	1	0.6%	1	0.6%	1	0.6%	307
社団(持分なし)	5	1.6%	1	0.3%	6	2.0%	1	0.3%	2	0.7%	2	0.7%	0	0.0%	160

図表Ⅲ-12 法人種別ごとの「持ち越された議案」「否決された議案」の件数②

	定款又は寄附行為の変更に関する議案		基本財産の設定及び処分に関する議案		事業計画・予算・決算に関する議案		重要な資産の取得または処分		剰余金又は損失金の処理に関する議案		幹部職員の人事に関する議案		法人の解散または他法人との合併に関する議案		回答数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
社会医療法人	0	0.0%	0	0.0%	3	2.9%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	104
特定医療法人	0	0.0%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	74
出資額限度法人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11
基金拋出型医療法人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	15
その他の医療法人	3	1.3%	1	0.4%	7	3.0%	0	0.0%	1	0.4%	4	1.7%	0	0.0%	232

(7) 合議体のメリット・デメリット

どの合議体においても建設的な意見や多様な意見が出ることをメリットにあげる回答が多い。一方で、反対意見やチェック漏れ防止等の機能に関しては理事会、社員総会または評議員会では10%前後と少なく、その他合議体ではそれぞれ21%、34%と多い。

また、少数意見ではあるが理事会・社員総会・評議員会のメリットとして、外部意見によるチェック、定期的・法人全体の運営状況の確認、最終的な意思決定があげられた。

一方、デメリットとしては準備に時間がかかることがどの合議体についても最も多く、理事会、社員総会・評議員会、その他合議体で68%前後に及ぶ。ただし、コストパフォーマンスが悪いと考えている法人は5%前後である。

また、表掲載外の少数意見として、意見が少ない・偏る、日程調整が難しい、意見を纏めるのに時間がかかる等があげられた。

また、法人種別で比較してもメリット、デメリットに大きな差は見られない。

図表Ⅲ-13 合議体のメリット

(回答数)	理事会		社員総会または 評議員会		その他合議体	
	589		544		56	
	数	割合	数	割合	数	割合
建設的な意見が出る	352	59.8%	299	55.0%	36	64.3%
多様な意見が出る	355	60.3%	317	58.3%	41	73.2%
反対意見が出る	64	10.9%	41	7.5%	12	21.4%
チェック漏れが見つかる	90	15.3%	60	11.0%	19	33.9%
専門家ならではの意見が出る	177	30.1%	143	26.3%	25	44.6%

図表Ⅲ-14 法人種別理事会のメリット

(施設数)	分類1				分類2					
	財団	社団(持分あり)	社団(持分なし)	未記入	社会医療法人	特定医療法人	出資額限度法人	基金拠出型医療法人	その他の医療法人	未記入
	45	238	122	184	89	66	10	8	170	246
建設的な意見が出る	21 46.7%	142 59.7%	72 59.0%	117 63.6%	53 59.6%	43 65.2%	6 60.0%	4 50.0%	106 62.4%	106 43.1%
多様な意見が出る	25 55.6%	137 57.6%	80 65.6%	113 61.4%	66 74.2%	41 62.1%	7 70.0%	6 75.0%	109 64.1%	109 44.3%
反対意見が出る	4 8.9%	22 9.2%	17 13.9%	21 11.4%	13 14.6%	12 18.2%	2 20.0%	2 25.0%	19 11.2%	19 7.7%
チェック漏れが見つかる	6 13.3%	34 14.3%	20 16.4%	30 16.3%	19 21.3%	12 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	22 12.9%	22 8.9%
専門家ならではの意見が出る	21 46.7%	60 25.2%	48 39.3%	48 26.1%	38 42.7%	24 36.4%	1 10.0%	2 25.0%	42 24.7%	42 17.1%

図表Ⅲ-15 法人種別社員総会・評議員会のメリット

	分類1				分類2					
	財団	社団(持分あり)	社団(持分なし)	未記入	社会医療法人	特定医療法人	出資額限度法人	基金拠出型医療法人	その他の医療法人	未記入
	45	221	118	160	84	66	10	7	160	217
建設的な意見が出る	15 33.3%	124 56.1%	64 54.2%	96 60.0%	48 57.1%	37 56.1%	5 50.0%	3 42.9%	91 56.9%	115 53.0%
多様な意見が出る	24 53.3%	117 52.9%	76 64.4%	100 62.5%	59 70.2%	44 66.7%	7 70.0%	2 28.6%	92 57.5%	113 52.1%
反対意見が出る	1 2.2%	15 6.8%	9 7.6%	16 10.0%	7 8.3%	6 9.1%	1 10.0%	0 0.0%	13 8.1%	14 6.5%
チェック漏れが見つかる	5 11.1%	19 8.6%	19 16.1%	17 10.6%	13 15.5%	13 19.7%	0 0.0%	0 0.0%	11 6.9%	23 10.6%
専門家ならではの意見が出る	15 33.3%	46 20.8%	41 34.7%	41 25.6%	27 32.1%	24 36.4%	1 10.0%	3 42.9%	34 21.3%	54 24.9%

図表Ⅲ-16 法人種別その他会議のメリット

	分類1				分類2					
	財団	社団(持分あり)	社団(持分なし)	未記入	社会医療法人	特定医療法人	出資額限度法人	基金拠出型医療法人	その他の医療法人	未記入
	7	17	13	19	9	15	1	1	8	22
建設的な意見が出る	5 71.4%	10 58.8%	10 76.9%	11 57.9%	5 55.6%	10 66.7%	0 0.0%	1 100.0%	7 87.5%	13 59.1%
多様な意見が出る	6 85.7%	12 70.6%	11 84.6%	12 63.2%	8 88.9%	11 73.3%	1 100.0%	1 100.0%	3 37.5%	17 77.3%
反対意見が出る	3 42.9%	4 23.5%	2 15.4%	3 15.8%	2 22.2%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	6 27.3%
チェック漏れが見つかる	4 57.1%	5 29.4%	6 46.2%	4 21.1%	4 44.4%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	8 36.4%
専門家ならではの意見が出る	5 71.4%	10 58.8%	6 46.2%	4 21.1%	3 33.3%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	15 68.2%

図表Ⅲ-17 合議体のデメリット

(回答数)	理事会		社員総会または評議員会		その他会議体	
	417		392		38	
	数	割合	数	割合	数	割合
準備に時間がかかる	282	67.6%	274	69.9%	26	68.4%
時間がかかる割には収穫が少ない	87	20.9%	82	20.9%	3	7.9%
内情を理解しない意見がある	68	16.3%	65	16.6%	5	13.2%
反対意見が出る	14	3.4%	12	3.1%	3	7.9%
コストパフォーマンスが悪い	31	7.4%	21	5.4%	2	5.3%
その他	28	6.7%	29	7.4%	2	5.3%

図表Ⅲ-18 法人種別理事会のデメリット

	分類1				分類2					
	財団	社団 (持分あり)	社団 (持分なし)	未記入	社会 医療人	特定 医療人	出資 限度人	基金 拠出 医療人	その他 医療人	未記入
	(回答数)	28	175	97	117	56	53	9	7	122
準備に時間がかかる	20 71.4%	108 61.7%	71 73.2%	83 70.9%	42 75.0%	38 71.7%	7 77.8%	6 85.7%	80 65.6%	109 64.1%
時間がかかる割には収穫が少ない	6 21.4%	39 22.3%	25 25.8%	17 14.5%	10 17.9%	13 24.5%	1 11.1%	2 28.6%	23 18.9%	38 22.4%
内情を理解しない意見がある	5 17.9%	27 15.4%	15 15.5%	21 17.9%	12 21.4%	9 17.0%	2 22.2%	0 0.0%	24 19.7%	21 12.4%
反対意見が出る	1 3.6%	7 4.0%	5 5.2%	1 0.9%	1 1.8%	4 7.5%	0 0.0%	2 28.6%	1 0.8%	6 3.5%
コストパフォーマンスが悪い	1 3.6%	14 8.0%	7 7.2%	9 7.7%	7 12.5%	5 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.3%	15 8.8%

図表Ⅲ-19 法人種別社員総会・評議員会のデメリット

	分類1				分類2					
	財団	社団 (持分あり)	社団 (持分なし)	未記入	社会 医療人	特定 医療人	出資 限度人	基金 拠出 医療人	その他 医療人	未記入
	(回答数)	29	165	94	104	58	55	8	5	110
準備に時間がかかる	18 62.1%	110 66.7%	68 72.3%	78 75.0%	44 75.9%	43 78.2%	7 87.5%	4 80.0%	69 62.7%	107 68.6%
時間がかかる割には収穫が少ない	8 27.6%	31 18.8%	26 27.7%	17 16.3%	10 17.2%	17 30.9%	1 12.5%	1 20.0%	23 20.9%	30 19.2%
内情を理解しない意見がある	6 20.7%	23 13.9%	18 19.1%	18 17.3%	13 22.4%	10 18.2%	1 12.5%	0 0.0%	24 21.8%	17 10.9%
反対意見が出る	0 0.0%	5 3.0%	6 6.4%	1 1.0%	3 5.2%	3 5.5%	0 0.0%	1 20.0%	1 0.9%	4 2.6%
コストパフォーマンスが悪い	2 6.9%	6 3.6%	4 4.3%	9 8.7%	7 12.1%	5 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%	7 4.5%

図表Ⅲ-20 法人種別その他会議のデメリット

	分類1				分類2					
	財団	社団 (持分あり)	社団 (持分なし)	未記入	社会 医療人	特定 医療人	出資 限度人	基金 拠出 医療人	その他 医療人	未記入
	(回答数)	4	11	9	14	6	13	0	1	4
準備に時間がかかる	2 50.0%	9 81.8%	8 88.9%	7 50.0%	3 50.0%	10 76.9%	0	0 0.0%	2 50.0%	10 71.4%
時間がかかる割には収穫が少ない	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	1 16.7%	0 0.0%	0	0 0.0%	1 25.0%	1 7.1%
内情を理解しない意見がある	1 25.0%	1 9.1%	2 22.2%	1 7.1%	0 0.0%	3 23.1%	0	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%
反対意見が出る	0 0.0%	1 9.1%	1 11.1%	1 7.1%	1 16.7%	1 7.7%	0	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
コストパフォーマンスが悪い	1 25.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%